

シラバス

リハビリテーション学科

視機能療法専攻

◎ リハビリテーション学科 視機能療法専攻

◆ 総合教育科目 ◆

科目区分	科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ	
教養教育科目	人間と科学	生物学	1年次前学期	東 華岳	28
		情報リテラシー	1年次後学期	福岡大輔	30
		物理学	1年次前学期	中村 琢	32
		化学	1年次前学期	武藤吉徳	34
		人間工学	1年次前学期	山田宏尚	36
		環境と人間	1年次後学期	大藪千徳	38
	人間と社会	社会学	1年次前学期	伊原亮司	40
		人間関係論	1年次前学期	益川優子	42
		ボランティア論	1年次前学期	後藤誠一	44
		哲学	1年次後学期	竹内章郎	46
		教育学	1年次後学期	益川浩一	48
		心理学	1年次後学期	益川優子	50
	生命倫理学	3年次前学期	谷口泰弘	52	
基礎教育科目	コミュニケーション	基礎演習	1年次前学期	野原尚美、國武実里、鷺見真里、羽賀弥生	54
		文章表現法	1年次前学期	田口正芳	56
		コミュニケーション学	1年次後学期	藤崎和彦、早川佳穂	58
	外国語	英語Ⅰ(教養英語)	1年次前学期	林 久人	60
		英語Ⅱ(日常英会話)C	1年次後学期	林 久人	62
		英語Ⅲ(専門英語)	1年次後学期	ミルボド・セイエド・モハマド	64
		ドイツ語	1年次後学期	安藤彰浩	66
		中国語	1年次後学期	東 華岳	68

◎ リハビリテーション学科 視機能療法専攻

◆ 専門教育科目 ◆

科目区分	科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ	
専門基礎科目	人体の構造	解剖学Ⅰ(骨・筋肉・循環・内分泌・消化器系)	1年次前学期	東 華岳	70
		解剖学Ⅱ(神経系)	2年次後学期	松井康樹	72
	人体の機能	生理学Ⅰ(動物的機能)	1年次後学期	佐竹裕孝	74
		生理学Ⅱ(植物的機能)	1年次後学期	佐竹裕孝	76
	心身の発達	人間発達学	1年次前学期	大森周太郎	78
		保育学	1年次前学期	今村光章	80
	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	病理学概論	1年次後学期	武内康雄	82
		健康と保健	1年次前学期	三品弘司、古田弥生、森岡菜穂子、林 宗典、田中季果	84
		医療安全管理論	1年次後学期	三品弘司、出口睦雄、林 宗典、三輪陽子	86
		医療統計学	1年次前学期	山田雅博	88
		一般臨床医学	2年次前学期	武内康雄、古松山建吾、松井永子、横井達夫、田辺久美子、林 将大	90
		神経内科学	2年次前学期	木村暁夫、下畑享良、山田 恵、吉倉延亮、竹腰 顕、下郷雅也、大野陽哉、森 泰子、山原直紀	92
		精神医学	2年次前学期	宮地幸雄	94
		臨床心理学	2年次前学期	高橋晋也	96
	視覚機能の基礎と検査機器	視器の解剖と生理学Ⅰ(眼球・眼球付属器他)	1年次前学期	丹沢慶一	98
		視器の解剖と生理学Ⅱ(視路・眼運動系他)	1年次前学期	丹沢慶一	100
		視器の病理学	2年次前学期	大庭紀雄	102
		視覚生理学Ⅰ(基礎)	1年次前学期	松井康樹	104
		生理光学Ⅰ(基礎)	1年次前学期	四之宮佑馬	106
		視機能検査学概論	1年次後学期	丹沢慶一、國武実里	108
		視機能検査学Ⅰ(眼科一般検査)	1年次後学期	丹沢慶一、國武実里	110
		視機能検査学Ⅱ(眼位検査)	1年次後学期	丹沢慶一、國武実里	112
		視機能検査学Ⅲ(両眼視機能検査)	2年次後学期	野原尚美、枝川 宏	114
	保健医療福祉と視能障害のリハビリテーションの理念	公衆衛生学	2年次後学期	岸田敏彦	116
		社会福祉学	1年次後学期	竹内章郎	118
		幾何光学	2年次後学期	仲澤和馬	120
		医学概論	1年次後学期	東 華岳	122
		障害者概論	1年次前学期	舟橋和宏	124
視覚障害リハビリテーション		2年次後学期	棚橋公郎、池谷尚剛、川瀬和秀	126	
多職種連携論		2年次後学期	野原尚美、熊田ますみ、亀山咲子	128	

◎ リハビリテーション学科 視機能療法専攻

◆ 専門科目 ◆

科目区分	科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ
基礎視能矯正学	視機能療法学概論	1年次前学期	野原尚美	130
	基礎視機能矯正学Ⅰ(眼球運動、他)	1年次後学期	丹沢慶一、國武実里	132
	基礎視機能矯正学Ⅱ(眼位、両眼視)	1年次後学期	丹沢慶一、國武実里	134
	視覚生理学Ⅱ(応用)	1年次前学期	松井康樹	136
	生理光学Ⅱ(眼球光学)	1年次前学期	四之宮佑馬	138
	生理光学Ⅲ(屈折・調節)	2年次前学期	磯谷尚輝、関戸昌論	140
	薬理学	2年次前学期	中村信介	142
	基礎視機能矯正学特論Ⅰ(解剖と生理、視覚生理)	3年次後学期	松井康樹、野原尚美、登澤達也	144
	基礎視機能矯正学特論Ⅱ(生理光学)	3年次後学期	丹沢慶一、國武実里、関戸昌論	146
	視機能療法学実験研究	2年次通年	丹沢慶一	148
	医療情報学	3年次後学期	大庭紀雄	150
視能検査学	視覚生理学演習Ⅰ(視野検査他)	1年次後学期	國武実里、丹沢慶一、野原尚美、松井康樹 羽賀弥生	152
	視覚生理学演習Ⅱ(電気生理)	2年次前学期	國武実里、四之宮佑馬、丹沢慶一、野原尚美 松井康樹、羽賀弥生	154
	生理光学演習Ⅰ(屈折検査)	1年次前学期	國武実里、四之宮佑馬、丹沢慶一、野原尚美 松井康樹、羽賀弥生	156
	生理光学演習Ⅱ(屈折矯正)	2年次後学期	國武実里、丹沢慶一、野原尚美、松井康樹 羽賀弥生	158
	眼薬理学	2年次前学期	大庭紀雄	160
	視機能検査学演習Ⅰ(眼科一般検査)	1年次後学期	國武実里、丹沢慶一、野原尚美、松井康樹 羽賀弥生	162
	視機能検査学演習Ⅱ(両眼視機能検査)	1年次後学期	國武実里、丹沢慶一、野原尚美、松井康樹 羽賀弥生	164
	視機能検査学演習Ⅲ(眼位検査)	2年次前学期	國武実里、四之宮佑馬、丹沢慶一、野原尚美 松井康樹、羽賀弥生	166
	視機能検査学演習Ⅳ(眼運動系検査)	2年次後学期	國武実里、丹沢慶一、野原尚美、松井康樹 羽賀弥生	168
画像診断学	2年次前学期	四之宮佑馬、田中健司	170	
視能障害学	眼疾病学Ⅰ(眼球、眼球付属器他)	2年次前学期	松井康樹、内田英哉、望月清文	172
	眼疾病学Ⅱ(遺伝性眼疾患、小児眼疾患他)	2年次後学期	松井康樹、内田英哉、澤田 明	174
	神経眼科学	2年次後学期	大庭紀雄	176
	視機能障害学Ⅰ(神経疾患、前眼部疾患他)	1年次後学期	松井康樹	178
	視機能障害学Ⅱ(網脈絡膜疾患、視路疾患他)	1年次後学期	丹沢慶一	180
	視機能障害学特論	3年次後学期	田中健司	182
視能訓練学	視機能療法関係法規	2年次前学期	大庭紀雄	184
	視機能訓練学概論	1年次後学期	野原尚美	186
	視機能訓練学Ⅰ(視機能訓練学、基礎)	1年次後学期	野原尚美	188
	視機能訓練学Ⅱ(視機能訓練学、斜視)	2年次前学期	丹沢慶一	190
	視機能訓練学Ⅲ(視機能訓練学、弱視)	2年次前学期	野原尚美	192
	視機能訓練学Ⅳ(視機能訓練学、ロービジョン)	2年次前学期	野原尚美	194
	視機能訓練学Ⅴ(視機能訓練学、総括)	3年次後学期	丹沢慶一、國武実里、羽賀弥生	196
	視機能訓練学演習	3年次前学期	野原尚美、丹沢慶一、四之宮佑馬、國武実里 松井康樹、羽賀弥生	198
	視機能訓練学特論Ⅰ(基礎)	2年次後学期	丹沢慶一、羽賀弥生	200
視機能訓練学特論Ⅱ(応用)	3年次前学期	野原尚美	202	
臨地実習	臨地実習Ⅰ	2年次後学期	國武実里、丹沢慶一、野原尚美、松井康樹 羽賀弥生	204
	臨地実習Ⅱ	3年次通年	野原尚美、丹沢慶一、四之宮佑馬、國武実里、 松井康樹、羽賀弥生	206

授業科目名		担当教員				
生物学		東 華岳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>人体の構造と機能を理解する上で不可欠な生物学的基礎知識を修得する。本授業では、生物の基本単位である「細胞」の構造と機能を学ぶとともに、遺伝・発生、個体の調節機構、さらには生命の進化と多様性について体系的に学習する。これらの学びを通じ、「生命とは何か」という根源的な問いについて考察し、理解を深める。</p>						
学修の到達目標						
<p>① 細胞・組織・器官・器官系について説明できる。 ② 遺伝・発生について説明できる。 ③ 生命の進化と多様性について説明できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	生物学総論	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
2	細胞の構造と機能	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
3	細胞の増殖とからだのなりたち	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
4	染色体と遺伝子	②	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
5	ヒトの遺伝と先天性異常	②	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
6	生殖と発生	②	東	講義	内容授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
7	個体の調節と呼吸系	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
8	消化系	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
9	循環系と免疫系	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	排出系、内分泌腺とホルモン	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
11	感覚受容と感覚情報の伝達	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
12	神経系の構造と機能	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
13	効果器のはたらきと行動	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
14	生命の進化と多様性	③	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
15	地球環境とヒトとの共存	③	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
知識の習得、理解度、および思考・判断力を総合的に評価する。 定期試験(100%)						
使用教科書						
系統看護学講座 生物学 / 高畑雅一ほか.--第10版--医学書院, 2022年, 978-4-260-03189-9						
参考図書						
適宜、参考資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	定期試験の模範解答を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
情報リテラシー		福岡大輔				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	LHC205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となる情報技術とデータ分析能力を身につけるために、その基礎的知識を獲得することを授業のねらいとしています。 デジタル社会の基礎的な素養としての初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する。						
学修の到達目標						
①データ表現やセキュリティ・情報倫理などコンピューターリテラシーについて説明できる。 ②情報技術にデータ分析能力の基礎となるやデータ可視化や統計処理などデータサイエンスについて説明できる。 ③人工知能(AI)のしくみを理解し、その利用にあたって留意事項を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	情報技術基礎(数と表現, コンピュータのしくみ)【4-3】	①	福岡	講義	高校情報の復習を行うこと(120分)	授業内容を復習する(120分)
2	社会で起きている変化, データと活用領域【1-1, 1-2, 1-3】	①	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	授業内容を復習する(120分)
3	統計分析(表計算ソフトの利用)【2-1, 2-2】	②	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	講義内容を復習し演習課題を行う(120分)
4	データ集計とデータ可視化(表計算ソフトの利用)【2-2, 2-3】	② ③	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	演習課題を行う(120分)
5	データ・AI活用のための技術(予測とシミュレーション)【1-4】	②	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	講義内容を復習し授業内容を復習する(120分)
6	情報倫理とセキュリティ【3-1, 3-2】	②	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	授業内容を復習する(120分)
7	医療におけるデータ・AI利活用【1-5, 3-2】	② ③	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	授業内容を復習する(120分)
8	AIのしくみと利活用と留意事項, データサイエンスの社会応用【1-6, 3-1】	② ③	福岡	講義	人工知能の仕組みについて事前調査を行う(120分)	専門用語の意味を説明できるようにまとめる(120分)
9	レポート					

評価基準・評価方法	
<p>評価基準は、知識理解、思考判断、授業への関わり方を総合して評価する。 評価方法は、レポート（50%）、平常点（小テスト30%、授業への関わり方20%）</p>	
使用教科書	
<p>データサイエンス入門 / 竹村彰通・姫野哲人・高田聖治 編。--学術図書出版社，978-4-7806-0729-1</p>	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	レポートのコメントや評価をを返却しフィードバックする。
実務経験をいかした教育内容	
備考	教員からの連絡・指示・相談はgoogle classroomを利用して行う。

授業科目名		担当教員				
物理学		中村 琢				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC103		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
この授業は物理学の様々な分野について短期間で概観的に学習するものである。特に看護やリハビリテーションなど医療・看護の職に就く際には物理学の知識は必須であり、本授業では現場で働く際に役に立つ物理学の法則、原則についても扱う。後半では放射線の性質を扱い、実習を含める。授業の形態は情報伝達でなく、簡単なグループワークなど、学習者の主体的な学び(アクティブラーニング)を取り入れる。高等学校で物理を履修していない学習者も本科目を履修できる。						
学修の到達目標						
①物理学の学習内容について理解し表現できる。 ②学習した内容を活用して計算し、思考し、探究に活かすことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	物理学の基礎知識 第1回と第2回はパワーポイントで説明します。	①	中村	講義	シラバスと教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
2	自然界の階層性	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
3	力学の基礎	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
4	速さと速度、加速度、等速直線運動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
5	等加速度運動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
6	力と等加速度運動・ニュートンの三法則	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
7	波動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
8	波の表し方	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
9	光と音	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	電気と磁気	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
11	電流と電圧	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
12	原子と原子核	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
13	放射線の特徴と性質	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
14	放射性崩壊	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
15	放射線被ばく防護	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
知識・理解、思考・判断・表現、技能、関心・意欲・態度の観点を総合的に判断する。 定期試験（50%）、時間内レポート・課題（30%）、授業参加態度（20%）						
使用教科書						
ここからスタート物理学 / 為近和彦、--裳華房、2018年、978-4-785322649 必ずしも教科書に沿って扱うわけではありません。学習者の実態に応じ授業中で使い方を説明します。						
参考図書						
自然科学の基礎としての物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 2014年, 体系看護学 基礎科目 物理学, 平田雅子, メヂカルフレンド社, 2006年						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	試験についての内容や勉強法については授業中に詳しく説明します。レポート課題を出す前に、評価指標について詳しく説明します。					
実務経験をいかした教育内容	担当教員は高等学校で理科・数学の指導歴を有し、また、大学において教員養成の10年以上の授業実践歴、現職教員の研修で講師を務めるなどの職歴がある。これらの実務経験を活かして、本授業においては、知識の伝達ではなく学習者の主体的な学びを促進させる学習法を取り入れている。					
備考	1. オフィスアワー：講義終了後20分程度。電子メールでの質問に随時対応します。 2. 質問等：講義時間中や授業終了後に受け付けます。受講者数が多い場合は電子メールで問い合わせてください。 3. 電子メールアドレス：nakamura.taku.a5@f.gifu-u.ac.jp					

授業科目名		担当教員				
化学		武藤吉徳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC104		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
化学は「物質」を理解することを目的とする。医療技術に関わる多くの装置や薬品、そして人体など全てのものが様々な物質で構成されているので、化学の知識は医療分野の基礎としても非常に重要である。この講義では、化学の基礎的な内容を無機化学、有機化学の全般に亘ってなるべくわかり易く解説するように努める。また、医療に関連する事項をできる限り多く取り上げて、専門科目への橋渡しとなるようにしたい。						
学修の到達目標						
①生体物質や医薬品を構成する元素や化学結合の特徴が理解できる。 ②主要な有機化合物について、その構造や性質を説明できる。 ③医療の場で出会う様々な物質、薬品について科学的特性を把握できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	物質の特性	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
2	原子と分子	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
3	化学結合	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
4	物質の三態・溶液とコロイド	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
5	塩化物	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
6	酸・アルカリ	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
7	無機化合物	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
8	放射性元素	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
9	有機化合物概要	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脂肪族炭化水素	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
11	酸素、窒素を含む有機化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
12	カルボン酸、その他	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
13	芳香族化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
14	脂環・複素環化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
15	生体物質	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
	定期試験 筆記					

評価基準・評価方法

評価基準：化学物質に関する知識・理解を重要視する。
 評価方法：定期試験 (100%)

使用教科書

系統看護学講座基礎分野「化学」 / 奈良雅之.--第8版--医学書院, 2026年, 978-4-260-06192-6

参考図書

若山信行・一國雅巳・大島泰郎 訳「ブラディ一般化学 上・下」東京化学同人 ISBN 9784807903474
 額綱 守 著「楽しく学ぶ 暮らしの化学」化学同人 ISBN 9784759820553

課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出されたレポートにコメントをつけて返却する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	授業中に質問の時間を取るほか、質問紙による質問には、次回の授業時に回答する。

授業科目名		担当教員				
人間工学		山田宏尚				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC106		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
人間が普段無意識に行っている身体運動や生命維持活動は、筋肉・骨格・内臓・血管など身体の各部位に働く力やモーメントをはじめとした物理学的メカニズムによって成立している。本講義では、医療行為の具体例に基づいて、身体活動の物理学的なメカニズムを学習する。						
学修の到達目標						
①人間の身体活動に関わる物理学の基礎を身につけることができる。 ②物理的根拠に基づく治療行為を実践するための基礎を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス・モーメントの定義と働き	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
2	重いものを持つにはどうしたらよいか	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
3	てこの原理と計算	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
4	看護ボディメカニクスの物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
5	看護の物理的重点事項	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
6	身近な圧力(1)	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
7	身近な圧力(2)	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
8	呼吸器と吸引の物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
9	チェストドレーンバックの原理	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	点滴静脈内注射の物理（1）	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
11	点滴静脈内注射の物理（2）	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
12	循環器の物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
13	血圧測定の物理	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
14	感覚器の物理	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
15	体温制御の物理，総復習	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準：知識の修得度と計算能力（目標①）、応用的思考能力（目標②） ・評価方法：定期試験（70%）、小テスト・宿題・授業態度（30%）で評価する。 						
使用教科書						
看護学生のための物理学 / 佐藤和良.--第6版--医学書院，2022年，978-4-260-04685-5						
参考図書						
適宜紹介する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	提出された課題について全体の総評コメントを口頭にて公開する					
実務経験をいかした教育内容						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で小テストを実施し、随時課題を課す。 ・オフィスアワー：講義前後の時間に非常勤講師室で待機する。 ・質問：講義中やオフィスアワーに直接、それ以外にメール（yamada.hironao.a5@f.gifu-u.ac.jp）で随時受け付ける。 					

授業科目名		担当教員				
環境と人間		大藪千穂				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LHC207		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
資源・環境問題を解決し、持続可能な社会を構築することが、21世紀最大の課題である。しかし、そのためのアプローチの方法は、まだ、見出されていない。この講義では、環境問題は人間の問題であるとの観点に立ち、環境と人間の関係を、生活と情報によってむすびつけ、環境問題を根本的にとらえなおし、環境問題の解決法を考え、持続可能な社会を展望する。また、人間の成長・発達や脳疾患のリハビリ等に対して、環境が果たす重要な役割を考察する。						
学修の到達目標						
①受講者ひとりひとりが、自分で問題解決の手がかりを、考え、見出すことができる。 ②既存の考え方や方法にとらわれることなく、自分自身の考え方をもち、発展させることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	環境問題とは何か？	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
2	環境問題の原点、水俣病の問題を、生産、消費、環境から考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
3	家庭生活から環境問題の本質を探る。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
4	衣生活から環境を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
5	食生活から環境を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
6	簡易生ゴミ分解器を製作し、その活用法を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
7	河川環境と人間の関係を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
8	情報から環境と人間を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
9	人間形成に対する情報と環境の意味を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳障害者の発達、脳疾患のリハビリを、環境と情報の観点から捉えなおす。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
11	環境教育のあり方を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
12	アーミッシュと現代社会を比較する。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
13	近代のライフスタイルを再考する。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
14	生態学の意味を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
15	環境と情報から、持続可能な社会を展望する。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
	定期試験 (レポート)					
評価基準・評価方法						
評価基準は、知識・理解、思考・判断、授業態度の総合であるが、特に、各自のオリジナルな思考を重視する。評価方法は、レポート (50%)、小レポート・小テスト (30%)、授業態度等 (20%) による。						
使用教科書						
21世紀の情報とライフスタイル / 杉原利治. --論創社, 2001年, 978-4-8460-0261-9 教科書はこちらで準備します。1回目に2000円をおつりがないように持参してください。						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	毎回の授業では、開始時に、先回の授業で提出された小レポートから紹介し、それぞれの論点を評価し、それらを生かして授業を展開する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	毎回の授業では、開始時に、先回の授業で提出された小レポート数編を紹介し、それぞれの論点を評価し、それらを生かして授業を展開する。					

授業科目名		担当教員				
社会学		伊原亮司				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		伊原亮司(企業勤務)				
授業概要						
この講義は、現代社会のあり方について学ぶ。なかでも、ほとんどの人にとって切実なテーマである「働くこと」に焦点をあてて、現代社会のあり方を理解する。わたしたちは、人生の早い段階から「働くこと」を意識させられ、その準備をするように囁かれている。しかし、働く場の実態については無知なまま、耳に優しい言葉ばかりを聞かされている。本講義は、現代社会における労働を取り巻く環境と労働の特徴を理解し、それを踏まえたうえで、自分たちの働き方を構想することを目的とする。医療関連の仕事に就く予定である受講者は、「就活」にはさほど困らないかもしれない。しかし、働き出してから、「いじめ」、「うつ病」、「過労死」といった様々な問題に直面する可能性がある。医療従事者は「感情労働者」ともいわれ、専門知識のみならず、コミュニケーションの仕方や感情の表出の仕方など、人格に関わる側面が重視される。本講義は、それらの能力の向上に注力するだけでなく、感情労働に付随する問題点を理解し、「うつ病」や「過労死」から自分の身を守る術(すべ)を習得して欲しい。						
学修の到達目標						
①現代社会における労働を取り巻く環境と労働現場の実態を理解できる ②その際に、いかなる視点から「現実」を切り取ればいいのか、分析枠組みを理解することができる ③自分自身で職場の実態を捉えられるようになる ④「働くこと」に対する自分のスタンスを考えることができる ⑤その際、狭義の「能力」の形成に励むだけでなく、自分の「身の守り方」にも留意することができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	イントロダクションー「働くこと」とは	②	伊原	講義	テキストの「はじめに」と「おわりに」を読み、概要を理解する(120分)	講義を踏まえた上で、テキストの全体像をイメージする(120分)
2	従来の社会と働き方ー「日本の経営」と「企業社会」	① ②	伊原	講義	テキストの第一章を読み、概要を理解する(120分)	第一章を読み直し、ドラッカーの経営思想を復習する(120分)
3	労働社会の変容ー学校、会社、家庭の関係	① ③	伊原	講義	テキストの第一章から、現代社会の変容の概要を理解する(120分)	戦後日本の労働社会の変容を自らたどる(120分)
4	働く場の実態Ⅰー過労死・過労自殺	① ③	伊原	講義	テキストの第四章を読み、概要を理解する(120分)	テキストの第四章から、過労死と過労自殺の違いを復習する(120分)
5	組織や役割への過剰適応	④	伊原	講義	テキストの第四章から、組織への「過剰適応」について頭に入れる(120分)	逸脱と過剰適応との違いを復習する(120分)
6	働く場の実態Ⅱー「うつ病」	① ③	伊原	講義	テキストの第三章を読み、概要を理解する(120分)	第三章を読み直し、精神疾患と労働との関係を復習する(120分)
7	感情労働の特質	④	伊原	講義	テキストの第三章から、「感情労働」の特徴をつかむ(120分)	肉体労働、知的労働との違いを理解する(120分)
8	働く場の実態Ⅲー「ハラスメント」	① ③	伊原	講義	テキストの第二章を読み、概要を理解する(120分)	日産の事例を追いながら、いじめとハラスメントとの違いを理解する(120分)
9	経営合理化と過度のプレッシャー	④	伊原	講義	テキストの第二章から、相互扶助と相互監視のメカニズムを理解する(120分)	職場における過度のプレッシャーが生じる理由を考える(120分)。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	働く場の実態Ⅳ－職場秩序の悪化	① ③	伊原	講義	職場秩序の悪化のメカニズムについて、概要を理解する (120分)	現在の職場における「秩序」の崩壊理由を整理する (120分)
11	非正規雇用の増大	① ③	伊原	講義	雇用規制の緩和と非正規雇用の増大の実態について理解する (120分)	非正規雇用が増大した契機・時期・理由を整理する (120分)
12	新しい働き方とは	① ④	伊原	講義	テキストの第六章を読み、概要を理解する (120分)	「日本的経営」から新自由主義に基づく経営への推移を整理する (120分)
13	社会貢献という働き方	① ④	伊原	講義	テキストの第七章を読み、概要を理解する (120分)	「社会貢献」の問題点について整理する (120分)
14	働くということを考え直す	④ ⑤	伊原	講義	テキストの第七章を読み、<働く>ということを考え直す (120分)	賃労働とは何かを考え直す (120分)
15	労働を規制する、勤勉さを相対化する	④ ⑤	伊原	講義	テキストの第八章を読み、概要を理解する (120分)	講義を踏まえた上で、自らの働き方を構想する (120分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
授業への参加態度 (20%)、レポート (20%)、テスト (60%) などから総合的に評価。						
使用教科書						
新版 私たちはどのように働かされるのか / 伊原亮司.--アトリエ花粉館, 2025年5月出版, 978-4911530016						
参考図書						
講義中に適宜紹介する。						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	次回の講義までに読んでおく「章」を事前に伝える。講義までに目を通しておくこと。講義ははじめに、予習時にわからなかったことをうかがい、補足説明を行う。					
実務経験をいかした教育内容	わたし自身、サラリーマン経験があり、また、調査手法として「参与観察」を取り入れているため、「現場の視点」から労働の実態を語る。もちろん、「現場」を捉える理論的なフレームは不可欠であるが、「現場感覚」も重要視し、受講者には「追体験」してもらいたい。					
備考	理解を補強する教材として、適宜、映像も活用する。					

授業科目名		担当教員				
人間関係論		益川優子				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0102		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では、日常生活や職場、家族、医療の現場などで起こる様々な人間関係について理解し、より良い人間関係を築くために人間関係の基本的な意義・視点、職場での人間関係、生涯にわたる人間発達と人間関係、人間関係を構成する自己と他者、人間関係の成立と維持、対立等の基礎知識を学びます。						
学修の到達目標						
①人間関係の意義・視点について考えることができる。 ②人間関係における自己について理解できる。 ③人間関係における他者について理解できる。 ④生涯の人間発達と人間関係の広がりについて理解できる。 ⑤人間関係が成立し、維持するルール、葛藤・対立への対処法を理解し、実践できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション：学習対策、成績評価 人間関係論とは：自己開示について	①	益川	講義	これまでの自身について振り返り800字程度にまとめておく。(120分)	学習した内容を基に改めて自身について振り返り1600字程度でまとめる。(120分)
2	第一印象：第一印象がその後の人間関係に与える影響	① ② ③	益川	講義	前回の学習内容を復習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活で使える可能性を考える。(120分)
3	自己呈示：印象管理と自己呈示の違い	① ② ③	益川	講義	前回の学習内容を復習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
4	コミュニケーションの種類：言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
5	非言語コミュニケーション①：対人態度	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
6	非言語的コミュニケーション②：承認欲求	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
7	非言語的コミュニケーション③：対人距離	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
8	非言語的コミュニケーション④：状況に応じた座席位置	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
9	言語的コミュニケーション：人間関係に影響を与える順番	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	援助行動①：傍観者効果	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
11	援助行動②：援助行動が開始されるまでの葛藤	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
12	援助行動③：援助行動をとる心理	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
13	援助要請④：社会的インパクト理論	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
14	集団心理：集団意思選択、集団浅慮、集団極性化	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
15	攻撃行動：フロイト、ローレンツ、ダラード、テダスキーの理論	② ③ ④ ⑤	益川	講義	①インターネットや②SNSの利用状況、③人間関係への影響について考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
16	レポート作成					
評価基準・評価方法						
レポート試験（60%）、平常点（40%）						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介いたします。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	※授業時間内で取り組んでいただいた小テストやレポートは、コメントをつけて返却いたします。 ※学期末試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	学科を越えたメンバー形成をし、グループワークを行うことがあります。グループワークには積極的に参加してください。					

授業科目名		担当教員				
ボランティア論		後藤誠一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0103		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		後藤誠一(ぎふ地域学校協働活動センター(岐阜県・岐阜大学共同設置)センター員(学生ボランティアマッチング・現場での指導助言担当))				
授業概要						
本講義では、ボランティアについて、その言葉が持つイメージから検討をはじめ、ボランティアの歴史、普及・定着の社会的背景、ボランティア活動の個人、組織、地域、社会にとっての意味・意義、そしてボランティア活動によって切り拓かれる可能性について基本的な知識を得るとともに、そうした知識を活用して現代社会の諸問題・課題の解決に主体的・能動的に参画しようとする、ボランティアとしての態度・心構えを形成することを目標とする。ディスカッション、グループワーク等の学び合いの機会も設ける。						
学修の到達目標						
①ボランティア活動の定義について歴史的背景を踏まえながら説明できる。 ②ボランティア活動の意義と社会的役割について説明できる。 ③ボランティア活動を支援する意味とボランティア活動支援機関の役割について理解し、説明することができる。 ④ボランティア活動を通じて社会に参画しようとする主体的・能動的な態度・心構えが形成されている。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ボランティアとは何か①(イメージを共有する)	① ②	後藤	講義	自身の持つ「ボランティア」という言葉に関するイメージをノートに列挙してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
2	ボランティアとは何か②(イメージを分析する)	① ②	後藤	講義	自身の持つ「ボランティア」という言葉に関するイメージを分析した結果をまとめる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
3	ボランティアの本質・特徴	① ②	後藤	講義	ボランティアにおいて大切なこと、特徴などをノートに書きだす。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
4	ボランティアにおける学び	① ②	後藤	講義	ボランティアにおける成長や学びにはどのようなものがあるかをノートに書きだす。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
5	ボランティアにかかわる思想と歴史	① ②	後藤	講義	ボランティアの歴史や福祉との関係について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
6	ボランティアの組織とマネジメント	① ②	後藤	講義	NPO・ボランティア団体の法制度、組織運営について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
7	ボランティアの情報提供や支援方策、コーディネーター	① ② ④	後藤	講義	自治体等のボランティア情報提供、中間支援について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
8	青少年教育とボランティア	① ② ③	後藤	講義	子ども・若者のためのボランティアについて調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
9	体験活動におけるボランティア	② ③ ④	後藤	講義	自然体験活動等の体験活動に関する事例や課題を調べる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	学校と地域の連携・協働とボランティア	② ③ ④	後藤	講義	学校と地域の連携協働、地域学校協働活動について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
11	地域学校協働活動におけるボランティア	② ③ ④	後藤	講義	地域学校協働活動の事例について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
12	社会教育・生涯学習とボランティア	② ③ ④	後藤	講義	社会教育・生涯学習におけるボランティアや学習成果の還元について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
13	社会教育・生涯学習におけるボランティア事例の検討	② ③ ④	後藤	講義	地域の課題、子ども食堂、学習支援の事例等について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
14	ボランティアの可能性と展望	④	後藤	講義	これからの社会におけるボランティア活動の意義や可能性について考察してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
15	ボランティア活動と自分	④	後藤	講義	これまでの学習を踏まえ、自身にとってのボランティアの意義と社会的役割、自分でできることや挑戦したいことについて考察してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
	定期試験					
評価基準・評価方法						
受講態度（グループワーク・発表含む）30%、授業時に書く振り返りシート30%、試験40%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	振り返りシートに書かれた内容や質問に対しては、次回授業時の冒頭にコメントや説明をする。					
実務経験をいかした教育内容	ボランティア活動そのものに加えて、ボランティア活動を支えるための人や組織、支援方法についても解説したい。					
備考	質問等ありましたら授業終了後、声をかけてください。					

授業科目名		担当教員				
哲学		竹内章郎				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0204		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1) 理学ディプロマポリシー(1)(3) 作業ディプロマポリシー(1)(3) 視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
自由・平等・友愛(共同性)は、近代社会全般の基礎とされるが、この講義では、自由と共同性との関連も重視しながら、平等とはいかなることかの解明を中心に、格差や不平等が広がる現実を根本から(ラディカルに)理解することを目指す。あわせて、平等ということが社会保障や社会福祉の実践において非常に大切であることが感得されるような講義としたいと考えている。近代思想史や哲学史の理解も、そうした本講義のための手段であるという位置づけで、講義をするつもりである。						
学修の到達目標						
①大きな問題を根本から考える姿勢を身に付けるために、抽象度の高い言葉を理解しこれがある程度使えるようにする。 ②近代思想・近代哲学の基本を一定程度理解できる。 ③現代社会の課題の基本を捉える姿勢を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス(全体の進行について、資料の使い方など)	①	竹内	講義	資料の前書きの熟読(120分)	講義内容の復習(120分)
2	現代において平等を問うことの意味<教科書iii~vii頁>	③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
3	平等はなぜ避難されることが多いのか? 平等の根本的定義(1)<教科書1~14頁>	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
4	平等はなぜ避難されることが多いのか? 平等の根本的定義(2)<教科書14~31頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
5	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(1)<教科書33~44頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
6	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(2)<教科書44~54頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
7	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(3)<教科書54~68頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
8	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(4)<教科書68~78頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
9	悪平等はなぜ生まれたのか? 伝統的平等論の意義と問題(1)<教科書69~93頁>	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	悪平等はなぜ生まれたのか？ 伝統的平等論の意義と問題(2) <教科書93～117頁>	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
11	新たな能力論的平等論と新たな機会平等論(1) <教科書119～143頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
12	新たな能力論的平等論と新たな機会平等論(2) <教科書143～166頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
13	新たな平等論の体系の構築に向けて(1) <教科書 167～185頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
14	新たな平等論の体系の構築に向けて(2) <教科書185～200頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
15	新たな平等論の体系の構築に向けて(3) <教科書200～215頁>	① ②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)

評価基準・評価方法

最終のレポートによって評価する。講義内容の正確な理解に加えて、内容を表現する文章力も評価の対象とする。

使用教科書

使用しない(講義に先立って、講義全体に関する資料を配布する。)

参考図書

必要に応じて講義中に紹介する。

課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法

講義について、適宜配布する質問用紙に記入してもらい、その都度応答する。

実務経験をいかした教育内容

備考

授業科目名		担当教員				
教育学		益川浩一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		益川浩一(児童福祉司)				
授業概要						
本講義は、人間が生き、成長・発達していく上で教育がどのような意義を持ち、社会においてどのような役割を果たすのかについて考察していきます。また、教育をとりまく現代の諸問題を多面的に捉えつつ、教育という営みの現代的意義についても考察していきます。						
学修の到達目標						
①教育の概念と機能、その役割について説明できる。 ②人間の生涯発達理論について説明できる。 ③他者とのかかわりを導く技法を使うことができる。 ④現代の教育と教育を取り巻く諸問題について自分の考えを持つことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	教育の概念	①	益川	講義	自身の持つ「教育」という言葉に関するイメージをノートに列挙してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
2	学ぶということ・教えるということ	①	益川	講義	第1回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
3	生涯発達理論①乳児期～幼児期	②	益川	講義	第2回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
4	生涯発達理論②児童期～青年期	②	益川	講義	第3回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
5	生涯発達理論③成人期～老年期	②	益川	講義	第4回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
6	教育の営みと教育を取り巻く諸問題	① ④	益川	講義	第5回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
7	他者とのかかわり	③	益川	講義	第6回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
8	他者とのかかわりを導く技法	③	益川	講義	第7回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
9	教育の目標と評価	①	益川	講義	第8回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	教育のデザイン	①	益川	講義	第9回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
11	キャリア教育	④	益川	講義	第10回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
12	ジェンダーとセクシュアリティ	④	益川	講義	第11回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
13	特別ニーズ教育・インクルーシブ教育	④	益川	講義	第12回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
14	生涯教育	④	益川	講義	第13回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
15	シティズンシップ教育	④	益川	講義	第14回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
	定期試験					
評価基準・評価方法						
受講態度30%、定期試験70%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介いたします。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	※定期試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。					
実務経験をいかした教育内容	児童相談所における児童福祉司としての経験を活かして、困難を抱える子ども・若者の実態を踏まえた上で、教育の意義・役割等について講義を行う。					
備考	質問等ございましたら授業終了後、気軽に声をかけてください。					

授業科目名		担当教員				
心理学		益川優子				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0206		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
心理学は人の行動から心の動きを科学的に推察する学問です。心理学についてそれぞれが抱くイメージは様々であると思いますが、本授業では、基礎心理学を中心に他者と自身の心の動きを客観的に理解し、医療現場で他者との関係をより良くするために必要な基礎知識を学びます。						
学修の到達目標						
①相手の「心」を直接把握することができないことを理解できる。 ②相手の「心」は推測でしか扱えないことを理解できる。 ③同じ状況でも人によって違う心が推測されうることを理解できる。 ④自分の心を相手にわかってもらうためには推測し易い情報を提供しなければならないことを理解できる。 ⑤上記の関する知識を実際の人間関係に活用することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション：授業の概要、評価の方法 心理学とは何か：心理学の種類について	① ②	益川	講義	心理学に抱くイメージを、レポート(1000字程度)にまとめてくる。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
2	社会心理学：パーソナルスペース	② ③	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
3	社会心理学：同調行動	② ③	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
4	社会心理学：初頭効果と光背効果	② ③ ④	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
5	人格心理学：類型論と特性論	② ③ ④	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
6	人格心理学：性格検査	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
7	認知心理学：錯覚	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
8	認知心理学：体制化	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
9	認知心理学：ストループ効果、選択的注意力	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	学習心理学：古典的条件づけ、道具的条件づけ	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
11	学習心理学：観察学習、学習性無力感	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
12	発達心理学：乳児期～児童期	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
13	発達心理学：青年期～老年期	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
14	産業心理学：二段階要請法	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
15	臨床心理学：発達障害、パーソナリティ障害	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
筆記試験70%、平常点（小テストを含む）30%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介いたします。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	※授業時間内で取り組んで頂いた小テストやレポートは、コメントをつけて返却いたします。 ※学期末試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
生命倫理学		谷口泰弘				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0707		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1) 理学ディプロマポリシー(1)(3) 作業ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>バイオエシックス(生命倫理学)の基礎的な事項を学ぶ。現代の医療においては医師だけではなく、多くの医療に関係する職種が協力し、チーム医療を担っている。それぞれの職種に高い倫理観が求められている。本講義では、バイオエシックスに係る歴史的背景から最新の医療に関する倫理的問題群にいたるまで、デジタル教材を活用しながら講義形式で分かり易く解説する。</p>						
学修の到達目標						
<p>医療専門職に不可欠な倫理観を身につけるため、バイオエシックスに係る問題群について、倫理的・法的・社会的問題として捉え、思考し行動に移せる能力を修得する。 ①バイオエシックスの歴史的背景等から、人間の尊厳を理解する。 ②講義の各論から、医療に係る倫理的問題の本質を見極め、立場の違いを理解したうえで、解決に向けた多角的な思考ができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	バイオエシックス総論①(ガイダンス、基礎概念)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第1章前半部分	復習(120分) 教科書第1章前半部分と配布資料
2	バイオエシックス総論②(歴史的背景WW II以前)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第1章後半部分	復習(120分) 教科書第1章後半部分と配布資料
3	バイオエシックス総論③(歴史的背景WW II以後)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第2章前半部分	復習(120分) 教科書第2章前半部分と配布資料
4	自己決定と人間の尊厳(インフォームド・コンセント)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第3章部分	復習(120分) 教科書第3章部分と配布資料
5	倫理理論の考え方(応用倫理学からのアプローチ)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第2章後半部分	復習(120分) 教科書第2章後半部分と配布資料
6	生殖補助医療の問題①(人工授精、体外受精、代理母)	②	谷口	講義	予習(120分) 教科書第4章前半部分	復習(120分) 教科書第4章前半部分と配布資料
7	生殖補助医療の問題②(出生前診断、着床前診断、人工妊娠中絶)	②	谷口	講義	予習(120分) 教科書第4章後半部分	復習(120分) 教科書第4章後半部分と配布資料
8	遺伝子をめぐる問題(ヒトゲノムの利用、遺伝子特許、個人情報、エンハンスメント)	②	谷口	講義	予習(120分) 教科書第5章部分	復習(120分) 教科書第5章部分と配布資料
9	ライフサイエンス研究をめぐる問題(再生医療、ヒトES細胞研究、ヒトiPS細胞研究)	②	谷口	講義	予習(120分) 再生医療に関する倫理的問題を調べる	復習(120分) 配布資料を復習する

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳死・臓器移植をめぐる問題（脳死の定義、臓器移植法、移植システム）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第6章部分	復習（120分） 教科書第6章部分と配布資料
11	終末期をめぐる問題①（尊厳死、安楽死）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第7章前半部分	復習（120分） 教科書第7章前半部分と配布資料
12	終末期をめぐる問題②（治療中止、鎮静、緩和医療）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第7章後半部分	復習（120分） 教科書第7章後半部分と配布資料
13	医療と法律（医療事故関係、医療契約）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第14章部分	復習（120分） 教科書第14章部分と配布資料
14	広義のバイオエシックス（医療と社会、動物倫理、環境倫理）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第10章部分	復習（120分） 教科書第10章部分と配布資料
15	研究をめぐる倫理（研究不正、倫理委員会、オーサーシップ、利益相反等）	②	谷口	講義	予習（120分） 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針を予め調べる	復習（120分） 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針を復習する
	定期試験（筆記）	① ②	谷口	試験		
評価基準・評価方法						
評価基準は、知識・理解および思考とする。その評価方法は、定期試験を実施して評価する（80%） ミニレポート等の提出物の内容も評価に入れる（20%）						
使用教科書						
第3版 生命倫理・医事法 / 塚田敬義ほか、--改訂版--医療科学社、2022年、978-4-86003-133-6						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	実施する定期試験および提出物について、総評を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	適宜、補足資料を配布し、理解が深まるよう講義する。 特段、オフィスアワーは設けないが、講義終了後に教室に残り質問等について対応する（この時間を活用してください）。					

授業科目名		担当教員				
基礎演習		野原尚美・國武実里・鷺見真里・羽賀弥生 (代表教員 野原尚美)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	LCM101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		野原尚美(視能訓練士)、國武実里(視能訓練士)、鷺見真里(図書館司書)、羽賀弥生(視能訓練士)				
授業概要						
高校と大学では学び方が大きく異なる。大学では一体どのように学んだらよいのであろうか。本講義では、大学で学習活動を始めようとしている新生が、最初に身に付けておくべきスキルから、将来社会人・医療人となった時に身に付けておくべき社会的マナーやルールをしっかりと理解することを目的とする。グループワークやプレゼンテーションを通して他者のものの見方、考え方、他者への伝え方を学び、コミュニケーション能力の向上も図る。						
学修の到達目標						
①大学生として常識をわきまえた行動をとることができる。 ②社会人としてのマナー、ルールが理解できる。 ③他人の考え方や意見に耳を傾け理解できる。 ④自分の考え方、意見を整理し発信していくことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	大学生とは：大学と高校の違いを知る	①	野原 國武	グループワーク	大学と高校の違いは何かを調べてみる30分	調べたことをまとめる30分
2	グループワークの発表	① ③ ④	野原 國武	プレゼンテーション	読み原稿を作成する30分	理解したことをまとめる30分
3	図書館について	①	鷺見	演習	図書館に行つてどのような参考書があるのか見ておく30分	講義を通して理解したことをまとめておく30分
4	文献検索について	①	鷺見	演習	文献とは何かを調べておく30分	文献検索を行つてみる30分
5	レポートの書き方について	①	野原 國武	講義	レポートの書き方について調べる30分	講義内容をまとめておく30分
6	レポート作成の実践	①	野原 國武	グループワーク	レポートの題材を考える30分	レポートを完成させ提出する30分
7	エクセルの使い方について	①	野原 國武	演習	エクセルについて調べる30分	講義内容をまとめておく30分
8	パワーポイントの使い方について	①	野原 國武	演習	パワーポイントについて調べる30分	課題を実施し提出する30分
9	幼児の視力検査について	① ②	野原 國武	演習	幼児の視力検査について調べておく30分	測定できるように練習する30分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	見学実習の心得	① ② ③	野原 國武	講義	配布された資料を読んでおく30分	内容をまとめておく30分
11	病院見学実習	① ② ③	野原 國武	演習	実習に対する目的を考える。実習の心得を再確認する30分	実習で学んだ内容をまとめておく30分
12	教員インタビュー	① ② ③	野原 國武	グループワーク	インタビューの内容を考えておく30分	内容をまとめて発表準備をしておく30分
13	眼科医療現場について	① ② ③	野原 國武	講義	眼科について調べる30分	講義内容をまとめておく30分
14	インタビューの発表①	③ ④	野原 國武	プレゼンテーション	発表原稿・スライド作成30分	発表内容をまとめる30分
15	インタビューの発表②各自が目指す視能訓練士像やゴールを明確にする	③ ④	野原 國武	プレゼンテーション	発表原稿・スライド作成30分	将来像を描き、今後の目標を立てる30分
評価基準・評価方法						
課題作成 (50%)、病院見学実習 (20%)、インタビュー発表 (20%)、グループ討議への積極性 (10%) により評価する。						
使用教科書						
参考図書						
図書館で様々な専門書に触れ、自身で必要な参考図書を見つける						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	発表時の質疑応答を設けてフィードバックする。					
実務経験をいかした教育内容	視能訓練士として臨床現場で経験した事をいかして、視能訓練士として必要なスキルやそのスキルを得るために本学で身に付けていかなければならない能力について演習やグループワーク、実習を取り入れながら講義を展開する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
文章表現法		田口正芳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	LCM102		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1) 理学ディプロマポリシー(1)(3) 作業ディプロマポリシー(1)(3) 視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>将来医療や介護等の現場で働く者にとっては、患者や患者の家族・同僚スタッフ・福祉関係者等とのコミュニケーション力や文章作成力が必要である。授業を通して自身の国語力を知り基礎力を高めると共に、授業以外の日常生活の様々な場面でも意識して適切な言葉を遣うことをめざす。テキストとトレーニングシートを活用し、説明する力・聴く力を養うと共に、手紙文や公用メールのマナー・レポート等の書き方の実践を通して文章表現力を身に付ける。回によって、ペアワークやグループワークの授業をしたり、トレーニングシートや適宜課題の提出を求めることがある。</p>						
学修の到達目標						
<p>①正しく適切な日本語について学び、正確に情報や意見交換を行う力を身に付け、現場で生かせるようになる。 ②自分の感情がコントロールでき、相手に配慮した言葉で良好な人間関係を築くことによって問題解決ができる。 ③日々の生活において、メモをとったり書いたりすることを習慣にする。 ④専門科目で求められるレポートや、社会人・職業人に必要な様々な文章を作成することができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	授業の進め方やテキストとトレーニングシートの活用についての説明。	①	田口	講義	シラバスとテキスト、トレーニングシートに目を通し、学習の目標を理解する。(30分)	授業で学んだ内容を現場で生かせることを意識し、言葉に対する関心知識を高める。(30分)
2	テキスト(スタディスキル編)第1章「正しい日本語を使うー正確で豊かに表現する」トレーニングシート1の解説と自己採点。	①	田口	講義	テキストP4~7を読み、トレーニングシート1を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート1の内容を確かなものにする。(30分)
3	テキスト(スタディスキル編)第2章「敬語を使うー相手を尊重する気持ちを伝える」トレーニングシート2の解説と自己採点。	① ②	田口	講義	テキストP8~12を読み、トレーニングシート2を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート2の内容を確かなものにする。(30分)
4	テキスト(スタディスキル編)第3章「メモをとるー要点をおさえて記録する、伝える」トレーニングシート3の解説と自己採点。	① ③	田口	講義	テキストP14~17を読み、トレーニングシート3を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート3の内容を確かなものにする。(30分)
5	テキスト(スタディスキル編)第4章「説明する・発表するー相手がわかる説明をする」トレーニングシート4の解説と自己採点。	① ②	田口	講義	テキストP18~21を読み、トレーニングシート4を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート4の内容を確かなものにする。(30分)
6	テキスト(スタディスキル編)第5章「電話をするーその場でのやり取りに対応する」トレーニングシート5の解説と自己採点。	① ②	田口	講義	テキストP22~25を読み、トレーニングシート5を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート5の内容を確かなものにする。(30分)
7	テキスト(スタディスキル編)第6章「メールを書くー学生生活でメールを使う」トレーニングシート6の解説と自己採点。	① ② ③ ④	田口	講義	テキストP26~29を読み、トレーニングシート6を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート6の内容を確かなものにする。(30分)
8	テキスト(スタディスキル編)第7章「手紙を書くー病院・施設に宛てて書く手紙のマナー」トレーニングシート7の解説と自己採点。時候の挨拶を知る。時候の挨拶を知る。	① ② ③ ④	田口	講義	テキストP30~33を読み、トレーニングシート7を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート7の内容を確かなものにする。(30分)
9	テキスト(スタディスキル編)第8章「レポートを書く(1)：内容編ーレポートに何を書くのか」トレーニングシート8(裏表2枚)の解説と自己採点。	① ③ ④	田口	講義	テキストP34~37を読み、トレーニングシート8を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート8の内容を確かなものにする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	テキスト（スタディスキル編）第9章「レポートを書く（2）：表現編—レポートをどう書くのか」トレーニングシート9（裏表2枚）の解説と自己採点。文章の基本を知る。	① ③ ④	田口	講義	テキストP38～42を読み、トレーニングシート9を解く。（30分）	授業を振り返り、トレーニングシート9の内容を確かなものにする。（30分）
11	テキスト（ソーシャルスキル編）「ソーシャルスキルの学び方」第1章「挨拶をする、自己紹介をする—さわやかな印象を」トレーニングシート1（P23, 24）を実践する。	① ②	田口	講義	テキストP44～49を読み、自分の特徴・長所・短所、会話のネタ等の準備。（30分）	授業を振り返り、場面に応じた自己紹介のスキルを身に付け、良好な人間関係に繋げる。（30分）
12	テキスト（ソーシャルスキル編）第2章「話すスキルと聴くスキル—互いにつながるために」トレーニングシート2（P25, 26）を実践・発表する。	① ②	田口	講義	テキストP51話すスキルとP53聴くスキルのモデリングで練習しておく。（30分）	実際の生活の場で試してみる。誤解や思い込みのないコミュニケーション力を身に付ける。（30分）
13	テキスト（ソーシャルスキル編）第3章「上手に断る—相手を傷つけないように」トレーニングシート3（P27, 28）を実践・発表する。	① ② ③	田口	講義	テキストP56～59を読み、トレーニングシート27の課題1, 2に意見を書く。（30分）	相手の期待に応えられず上手に断るポイントを学び、応用してみる。（30分）
14	テキスト（ソーシャルスキル編）第4章「感情をコントロールするスキル—さまざまな感情を感じ、ともに生きていく」トレーニングシート4（P29, 30）を実践・発表する。	① ② ③	田口	講義	テキストP60～63を読み、トレーニングシート29, 30に意見や考えを書く。（30分）	自分の苦手な場面で冷静に感情をコントロールする方法を学び、応用してみる。（30分）
15	テキスト（ソーシャルスキル編）第5章「うまく問題を解決するスキル—対人葛藤と向き合い、主張的に解決する」のモデル（例題）について、国語力・文章表現力を生かし論文を作成し、提出する。	① ② ③	田口	講義	テキストP65のモデルについて、解決策を400字程度にまとめておく。（30分）	事前学習の下書きを参考に、自身の問題解決のスキルと文章表現力を自己評価する。（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

- ①テキストとトレーニングシートに基づき必ず事前学習を行い、授業に臨むこと【授業に対する意欲】
 ②トレーニングシートの他に適宜与えられた課題に取り組み、提出すること【課題提出の厳守】
 ③定期試験【日本語表現力、ソーシャルスキルの習得と定着】

使用教科書

看護系学生のための日本語表現トレーニング / 野呂幾久子/渡辺弥生/味木由佳〔編著〕. --三省堂, 2013年, 978-4-385-36328-8

参考図書

必要に応じて授業中に紹介する。

課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法

- ①トレーニングシートの提出→完成度（授業に対する意欲・知識の定着）の確認
 ②課題文の提出→問題解決のスキルと文章力の確認

実務経験をいかした教育内容

備考

質問は随時受け付けます。学習相談等があれば、授業時間の前後に対応したいと思います。時間を要する内容については口頭ではなく文章にして渡してください。次の授業で極力回答したいと思います。

授業科目名		担当教員				
コミュニケーション学		早川佳穂・藤崎和彦 (代表教員 早川佳穂)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LCM203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの重要性を理解する。 ・自分自身のコミュニケーションのスキルについて深く振り返り、医療現場において、患者さん・医療スタッフとの間でよりよい人間関係を構築するための具体的なコミュニケーション能力を身につける。 ・グループディスカッション、ペアワークなど体験、実践を中心とした講義を行う。 						
学修の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ①非言語コミュニケーションの重要性を理解し、実践できる ②年代が違う人への挨拶、返事など、日常的なコミュニケーションができる ③自分の気持ち・考えなどを明確に相手に伝えることができる ④相手の言葉の背景にある気持ちや考えを想像しコミュニケーションすることができる ⑤医療現場におけるコミュニケーションの重要性と求められているスキルを学ぶ 						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	・この授業の目的・到達目標について知る ・コミュニケーションの重要性とトレーニング方法について学ぶ	① ② ③ ④ ⑤	藤崎	講義		授業で習得したスキルを日常生活で実践する(60分)
2	・医療コミュニケーションの特徴とポイントを学ぶ	① ② ③ ④ ⑤	藤崎	講義	医療コミュニケーションの特徴について考えてみる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
3	・相手の本当に伝えたいことを受けとめるための聴き方について学ぶ	② ④ ⑤	藤崎	講義	自分は普段どのような聴き方をしているか考える(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
4	・ロールプレイを通して医療コミュニケーションのポイントについて学ぶ	① ② ③ ④ ⑤	藤崎	講義	初対面の人と会話するときに困っていることを考える(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
5	・ロールプレイを通して医療コミュニケーションのポイントについて学ぶ	② ④ ⑤	藤崎	講義	クライアントとどんな話し方が相応しいかを考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
6	・コミュニケーションの基本スキル① 日常生活におけるコミュニケーションの基本概念を学ぶ	① ②	早川	講義	日常生活において自身のコミュニケーションを振り返る(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
7	・コミュニケーションの基本スキル② 相手との信頼関係をつくるコミュニケーションについて学ぶ	① ② ④	早川	講義	信頼関係をつくるために自身が実践していることを考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
8	・コミュニケーションの基本スキル③ 話すこと・受け止めることについて学ぶ	③ ④	早川	講義	相手の気持ちを理解するためにどうしたらよいか考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
9	・コミュニケーションの基本スキル④ 聴くこと・共感について学ぶ	① ④	早川	講義	共感について調べてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	・コミュニケーションスキルを高める ワークをとおしてスキルを高める	① ③ ④	早川	講義	これまで講義学んだ ことを振り返る (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
11	・患者を理解する① 患者の様々な背景に関してワークを通して学ぶ	④ ⑤	早川	講義	患者さんの様々な背 景に関して考えてく る (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
12	・患者を理解する② 解釈モデルに関してワークを通して学ぶ	④ ⑤	早川	講義	解釈モデルに関して 調べてくる (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
13	・医療コミュニケーションのスキル① 様々な背景の患者や患者家族に対してわかりや すく且つ正しく伝える説明をワークを通して学 ぶ	③ ⑤	早川	講義	わかりやすく説明す るために重要なこと を考えてくる (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
14	・医療コミュニケーションのスキル② 行動変容に関してワークを通して学ぶ 多職種連携におけるコミュニケーションを学ぶ	④ ⑤	早川	講義	行動変容とは何か調 べてくる (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
15	・まとめ	① ② ③ ④ ⑤	早川	講義	医療現場でどのよう な職種とのコミュニ ケーションが必要か 考えてくる (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
	定期試験 無し					
評価基準・評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 (授業への関わり方) 60% ・レポートの内容 (複数回レポート提出) 40% 						
使用教科書						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進行に伴って、その都度紹介する。 ・適宜、教材として使用するプリントなども配付する。 						
課題 (試験やレポート) に 対するフィードバック方法	・コメント、口頭でフィードバック					
実務経験をいかした 教育内容						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のコミュニケーションの問題・悩みなどなんでもいので課題をもって授業に臨んでください。 ・担当教員への連絡方法は、初回講義時間内にお知らせします。 					

授業科目名		担当教員				
英語 I (教養英語)		林 久人				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	LFL101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では英語の読解能力を向上させることをねらいとする。身近なトピックスを題材を使ったテキストを使用し、英語の語彙、語法、表現等を学ぶことにより大学レベルの読解力を養うことを目指します。						
学修の到達目標						
辞書を引くことにより ①インターネットなどで英語検索をした文章が読める ②自分の分野の論文が読めるようになる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション		林	講義		
2	Weather	① ②	林	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
3	The Internet	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
4	Animals	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
5	Friends	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
6	Helping Others	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
7	Traveling	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
8	Collections and Gifts	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
9	Careers	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	European Cultures	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
11	Gifted Children	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
12	Restaurants	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
13	Transportation	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
14	Homes	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
15	Space	① ②	林	講義	小テストの準備 前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	定期試験の準備 今までに学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
小テスト・授業参加度など30%、筆記試験70%を総合的に判断する						
使用教科書						
Reading Links 2 / Andrew E. Bennett.--南雲堂, 978-4-523-17923-8						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	課題に関して、授業の中で教員と学生がディスカッションを行う。試験に関しても質問に応じる。					
実務経験をいかした教育内容	リスニング、ディクテーションを取り入れる。					
備考						

授業科目名		担当教員				
英語Ⅱ（日常英会話）C		林 久人				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義は英語のコミュニケーション能力を高めるための授業で、英会話能力を養うことを目的とする。身近で起こることを英語で表現したり、ペアで会話練習をしたりすることにより、英語で話すことの楽しさを味わえるようにしたいと思います。						
学修の到達目標						
①友達と簡単な会話が英語のできる ②英語の質問に即答できるようになる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション Introductions	① ②	林	講義	教科書の内容を理解し音読すること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
2	What Do You Do?	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
3	I'm Busy!	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
4	Review Units 1-3	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
5	What Does She Look like?	① ②	林	講義	教科書の内容を理解し音読すること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
6	People and Places	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
7	Likes and Dislikes	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
8	Review Units 4-6	① ②	林	講義	小テストの準備教科書の内容を理解し音読すること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
9	Personality	① ②	林	講義	教科書の内容を理解し音読すること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Tell Me About Your Family	① ②	林	講義	小テストの準備 教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
11	Feelings	① ②	林	講義	小テストの準備 教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
12	Review Units 7-9	① ②	林	講義	小テストの準備 教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
13	Communication	① ②	林	講義	教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
14	Memories	① ②	林	講義	小テストの準備 教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
15	Into the Future Review	① ②	林	講義	小テストの準備 教科書の内容を理解 し音読すること (30分)	学習したことを復習 し、会話練習をする (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
小テスト・授業中の応答30%、筆記試験70%を総合的に判断する						
使用教科書						
Speaking of People Intro / Peter Vincent, Alan Meadows, Naoko Nakazato. --南雲堂, 978-4-523-17962-7 C0082						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	課題に関して、授業の中で教員と学生がディスカッションを行う。試験に関しても質問に応じる。					
実務経験をいかした教育内容	ペアワークを各ユニットで多く取り入れる。					
備考						

授業科目名		担当教員				
英語Ⅲ（専門英語）		ミルボト セイト モハマト				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では、ホスピタル・イングリッシュによるコミュニケーション能力を総合的に向上させることをねらいとする。発音や聞き取りの練習により、スピーキングやリスニングの能力を育成する。「読む」「聞く」「話す」という3つの技能を育て、英語の運用能力を総合的に養う。						
学修の到達目標						
毎回さまざまな医療に関する言語活動を行い、英語の持つ多様な機能や働きを考えることを目指す。 ①正しい発音と適切なパターンで発話することができる。 ②医療英語によるコミュニケーションに必要なリスニング力を身につけ、状況の聞き取りができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション	①	ミルボト	講義		その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(60分)
2	Lesson 1: Reception Desk (救急外来受付)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
3	Lesson 2: Examination Room (診察室)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
4	Lesson 3: Giving Injection (注射をする)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
5	Lesson 4: Explanation to a Family Member (患者の家族への説明)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
6	Lesson 5: Self-Introduction and First Meal (自己紹介と初めての食事)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
7	Lesson 6: Orientation to the Ward (入院病棟を案内する)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
8	Lesson 7: Asking Height, Weight, and Temperature (身長、体重、体温を尋ねる)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
9	Lesson 8: Obtaining the Patient's History (患者歴をとる) 小テスト	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Lesson 9: Checking the Patient's Condition (患者の状態をチェックする)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
11	Lesson 10: Blood Test Explanation (血液検査の説明)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
12	Lesson 11: Drawing a Blood Sample (採血)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
13	Lesson 12: Explaining about the Operation: Basic Procedures (手術についての説明: 基本的手順)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
14	Lesson 13: Explaining about the Operation: Anesthesia (手術についての説明: 麻酔)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
15	Lesson 14: Taking the Patient into Surgery (手術室への搬送)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
授業参加態度・小テスト・・・40%, 理解度判定・・・60%						
使用教科書						
Essential English For Nurses 5th Edition (学生版) / Paul Zito & Masako Hayano. --日総研, 978-4-7760-1861-2						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	授業内でフィードバックする。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	皆さんの英語力とテキストの難易度をすり合わせ、無理のない進み方で行う。学生がテキストの内容をよく理解するために各ユニットをスライドプレゼンテーションで説明する。					

授業科目名		担当教員				
ドイツ語		安藤彰浩				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL204		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ドイツ語ポリシー(1)看護ドイツ語ポリシー(1)理学ドイツ語ポリシー(1)(3)作業ドイツ語ポリシー(1)(3)視機能ドイツ語ポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		安藤彰浩(ドイツ語通訳)				
授業概要						
ドイツ語における初級の基礎知識の習得を目指す。インターネット(動画サイトYou Tube等でニュース放送を見る)を活用して、ドイツ人の話す生のドイツ語に触れる機会を設ける。ドイツ社会における時事的、文化的話題を提供して、ドイツの歴史や文化に対する興味を喚起する。						
学修の到達目標						
①ドイツ語の基本的な表現に親しむ。 ②ドイツ語学習を通じて言葉の感覚を磨き、自分をより正確に表現する力を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	発音。数字0~12。挨拶	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
2	自己紹介。 - 動詞の現在人称変化 ich/Sie	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
3	自己紹介。 - 動詞の現在人称変化 du	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
4	第三者の紹介。 - 動詞の現在人称変化 三人称単数 er/sie	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
5	身の回りのもの。 - 格変化:主格(1格)。複数形	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
6	買い物・家族。直接目的格(4格)。 - 所有冠詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
7	お土産。間接目的語(3格)。 - 人称代名詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
8	趣味。時間表現。曜日 - 不規則動詞の現在人称変化	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
9	道をたずねる。 - 前置詞の格支配1、命令形	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Eメール。月と季節 - 前置詞の格支配2	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
11	手紙。時間表現2 - イントネーションと文アクセント	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
12	料理・レストラン - 会話表現	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
13	ドイツ鉄道 - 分離動詞・非分離動詞、zu不定詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
14	ベルリンへの旅 - 話法の助動詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
15	ドイツの歴史、文化について。 - 文法のおさらい	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
理解度、積極参加を重視 定期試験 (60%)、小試験 (20%)、授業への取り組み (20%)						
使用教科書						
シュピッツェ I コミュニケーションで学ぶドイツ語 / 朝日出版社, 978-4-255-25422-7						
参考図書						
必要に応じて紹介						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	課題の習得を総合的に評価してコメントする。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	毎回、動画サイトを使って、ドイツ人の生活や文化を紹介する。					

授業科目名		担当教員				
中国語		東 華岳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本授業では中国語の初歩を学ぶ。基礎的な中国語の習得を通じて、言語としての特徴を理解するとともに、中国人とのコミュニケーションに必要な知識や背景にある中国の文化や社会についても理解を深める。これらを通じて、将来医療従事者となった際にも役立つ教養を身につけることを目的とする。						
学修の到達目標						
①発音記号(ピンイン)を正しく理解し、中国語の正確な発音を身につける。 ②基礎的な文法を習得し、基礎的な日常会話能力を養う。 ③医療現場で用いられる基礎的な語彙および表現を習得する。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	中国語の概要と声調	①	東	講義	テレビやラジオ、インターネットなどで、中国語の音を聞いてみる。(30分)	声調練習を行い、マスターする(30分)
2	単母音、子音	①	東	講義	声調の復習をする。(30分)	単母音と子音の発音練習を行い、マスターする。(30分)
3	人称代名詞、自己紹介、「是」を用いた文、挨拶表現①	① ②	東	講義	単母音と子音の復習をする。(30分)	挨拶言葉を覚え、自分の名前の言い方をマスターする。(30分)
4	複母音、数字、挨拶表現②	① ②	東	講義	挨拶表現、自分の名前の言い方を復習する(30分)	複母音、挨拶表現、数字の発音練習を行い、マスターする。(30分)
5	番号や症状(具合)を聞くフレーズ	① ② ③	東	講義	複母音、挨拶表現、数字の復習をする。(30分)	数字や症状に関する表現の発音練習をする。(30分)
6	鼻母音、診察時の会話テンプレート	① ② ③	東	講義	数字や症状に関する表現の復習をする。(30分)	鼻母音を練習しマスターする。診察時の会話を音読する(30分)
7	指示代名詞、「的」と「怎么」の使い方	① ② ③	東	講義	鼻母音と診察時の会話を復習する(30分)	指示代名詞、「的」と「怎么」を用いた文の発音練習を行う。(30分)
8	声調の変調、アール化、場所の尋ね方	① ② ③	東	講義	指示代名詞、「的」と「怎么」を用いた文の復習をする。(30分)	声調の変調とアール化音の発音練習をし、場所を尋ねる会話の発音練習をする。(30分)
9	場所代名詞、方向表現、存在を表す「在・有・是」の使い分け	① ② ③	東	講義	声調の変調とアール化音の発音練習をし、場所を尋ねる会話を復習する。(30分)	場所代名詞、方向表現、存在を表す表現の発音練習をする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	「あまり～ない」、「もうすぐ～だ」、「～だろう/～しよう」、「～するのが～だ」の表現	① ② ③	東	講義	場所代名詞、方向表現、存在を表す表現を復習する。(30分)	「あまり～ない」、「もうすぐ～だ」、「～だろう/～しよう」、「～するのが～だ」の表現の発音練習をする(30分)
11	入院時の症状・状況に関する表現	① ② ③	東	講義	「あまり～ない」、「もうすぐ～だ」、「～だろう/～しよう」、「～するのが～だ」の表現の復習をする。(30分)	教科書第5課の会話文の発音練習を行う。(30分)
12	「～する必要はない」、「主述述語文」、「ずっと～だ」の各表現	① ② ③	東	講義	教科書第5課の会話文の発音練習を行う。(30分)	「～する必要はない」、「主述述語文」、「ずっと～だ」の各表現の発音練習を行う。(30分)
13	患者さんを励ます会話テンプレート	① ② ③	東	講義	「～する必要はない」、「主述述語文」、「ずっと～だ」の各表現の復習をする。(30分)	教科書第6課本文の発音練習を行う。(30分)
14	「～してもいい」と「～しなければならない」の表現	① ② ③	東	講義	教科書第6課本文の発音練習を行い、練習問題を解く。(30分)	「～してもいい」と「～しなければならない」の表現を復習する。(30分)
15	退院の際の会話テンプレート	① ② ③	東	講義	「～してもいい」と「～しなければならない」の表現を復習する。(30分)	教科書第7課本文の発音練習を行う。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
成績評価は以下の項目から総合的に行う。 受講態度・発音習得度(10%)、小テスト(20%)、定期試験(70%)						
使用教科書						
協同学習で学ぶ 医療系中国語会話 / 李偉・管虹.--白帝社, 9784863983335						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストの解答を返却するとともに、正解例の解説を行う。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
解剖学Ⅰ（骨・筋肉・循環・内分泌・消化器系等）		東 華岳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	RBS101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では、人体の基本構造を包括的に理解し、専門分野の学習における強固な基盤を構築することを目的とする。具体的には、細胞と組織、運動器（骨・関節・筋）、ならびに内臓諸器官（消化器・呼吸器・泌尿生殖器・内分泌・循環器）の正常構造を体系的に学習し、医学の根幹をなす人体解剖学の知識を修得する。						
学修の到達目標						
①細胞と組織、および運動器、内臓諸器官（消化器・呼吸器・泌尿生殖器・内分泌腺）、循環器系の各器官における正常構造について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	解剖学総論	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
2	運動器総論	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
3	脊柱と胸郭	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
4	上肢の骨格	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
5	下肢の骨格	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
6	頭蓋と頭頸部の筋	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
7	背部と胸・腹部の筋	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
8	上肢と下肢の筋	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
9	消化器	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	呼吸器	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
11	泌尿・生殖器	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
12	内分泌腺	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
13	循環器総論と心臓	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
14	動脈、静脈とリンパ系	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
15	期間中解剖見学実習	①	東	講義	事前に人体の各器官の位置関係を学習しておく。(120分)	見学実習で学んだことを教科書で確認しておく。(120分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
専門知識の修得状況、理解度、およびそれらに基づく思考力・判断力を総合的に評価する。 ミニテスト(30%)、定期試験(70%)						
使用教科書						
イラストで学ぶ骨・関節・筋の解剖学 運動器症候群・ロコモの基礎知識 / 東 華岳・林 春樹 著。--アドスリ, 2023年, 978-4-910513-17-1 系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能(1)解剖生理学 / 坂井建雄・岡田隆夫 著。--第11版--医学書院, 2022年, 978-4-260-04687-9						
参考図書						
適宜、参考資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	ミニテストの解答を返却するとともに、正解例の解説を行う。定期試験の模範解答を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
解剖学Ⅱ（神経系）		松井康樹				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(15時間)	講義	RBS502		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		松井康樹（視能訓練士）				
授業概要						
解剖学Ⅱ（神経系）では、神経系を中心に学習する。神経系は脳（大脳、小脳、脳幹）と脊髄からなる中枢神経系と中枢からの指令を筋肉などの臓器に伝えたり、末梢からの情報（視覚、聴覚）を中枢に伝える末梢神経系（脳神経、脊髄神経）に分けられる。視能訓練士は、視覚システムの障害を検査する仕事であり、神経系について理解をすることが必要である。この科目では、脳と神経、視覚系のシステムについて学ぶ。						
学修の到達目標						
①脳（大脳、小脳、脳幹）の構造と機能についてわかる。 ②12神経について知っている。 ③中枢神経と末梢神経についてわかる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	神経細胞の種類、構造、機能 ニューロンとグリア、中枢神経系、末梢神経系 P1-P9	①	松井	講義	図を理解する(120分)	用語を覚える(120分)
2	中枢神経系、末梢神経系、脊髄、脳幹、小脳、間脳、大脳基底核、大脳皮質、辺縁系、脳室、髄膜、神経解剖学用語 P10-P23	② ③	松井	講義	図を理解する(30分)	用語を覚える(120分)
3	中枢神経系の構造的・機能的構成 P24-48	① ③	松井	講義	図を理解する(120分)	用語を覚える(120分)
4	中枢神経系の血管と脳脊髄液 P49-69	①	松井	講義	図を理解する(30分)	用語を覚える(120分)
5	体性感覚 脊髄の機械受容感覚 体性感覚 脊髄の痛覚、温度覚、かゆみ 三叉神経系 P70-125	①	松井	講義	図を理解する(120分)	用語を覚える(120分)
6	聴覚系 味覚と臭覚 P146-180 下行性運動路と脊髄運動機能 P182-202 脳神経運動核 P205-220	① ② ③	松井	講義	図を理解する(120分)	用語を覚える(120分)
7	前庭系と動眼系 P221-P238 小脳P240-261	① ② ③	松井	講義	図を理解する(120分)	用語を覚える(120分)
8	大脳基底核 P262-283 視床下部と生体機能調節、辺縁系と大脳神経回路 P284-334	①	松井	講義	図を理解する(120分)	用語を覚える(120分)
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法	
定期試験60%、小テスト40%	
使用教科書	
マーティン カラー神経解剖学 テキストとアトラス 第4版 / ジョン・H・マーティン著. --野村巖 /金子武嗣 監訳--西村書店, 978-4-89013-460-1	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テスト、課題を返却しフィードバックする
実務経験をいかした教育内容	視能訓練士として必要な脳および脳神経について講義する
備考	2024年度以降入学生対象

授業科目名		担当教員				
生理学Ⅰ（動物的機能）		佐竹裕孝				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	RBF201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。						
授業概要						
視機能専攻課程において必要な全身生理の基礎として、視覚系を除いた人体の正常な生理機能を生理学Ⅰ・Ⅱで体系的に学ぶ。生理学Ⅰ（動物的機能）では、細胞・組織、筋生理、神経生理、および感覚生理の生理機能とその調節機構を理解し、生命維持の仕組みを説明できることを目標とする。得られた知識を、視機能検査・評価および臨床実習における全身状態の理解の基礎として活用する。						
学修の到達目標						
視機能検査および視能訓練を安全に実施するために必要な、視覚系を除く人体の正常な生理機能とその調節機構を理解し、全身状態の変化が視機能および検査に及ぼす影響を説明できる基礎的能力を身につける。生理学Ⅰではとくに人体を構成する細胞の基礎（①細胞生理）、続いて動物的機能、すなわち②筋生理、③神経生理、④感覚生理について、基礎的な知識の獲得と理解を目標とする。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	細胞生理：細胞と組織の働き	①	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第1章と第2章を事前に読んでおく（120分）	講義内容の理解とノートの整理（120分）
2	筋生理：骨格筋の構造、神経筋接合部、骨格筋の収縮（筋収縮のメカニズム、収縮の種類、長さ-張力曲線、筋線維）	②	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第5章を通読（120分）	講義内容の理解とノートの整理（120分）
3	神経生理Ⅰ：神経の機能（神経生理、興奮の伝導・伝達、神経伝達物質）	③	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第3章A・B・Eを通読（120分）	講義内容の理解とノートの整理（120分）
4	神経生理Ⅱ：中枢神経（脳と脊髄）	③	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第4章A・B・C・D・Eを通読（120分）	講義内容の理解とノートの整理（120分）
5	神経生理Ⅲ：末梢神経（脳神経、脊髄神経）、自律神経（交感・副交感神経）	③	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第3章C・Dを通読（120分）	講義内容の理解とノートの整理（120分）
6	神経生理Ⅳ：大脳	③	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第4章F・G・H・I・Jを通読（120分）	講義内容の理解とノートの整理（120分）
7	感覚生理Ⅰ：感覚総論、体性感覚、深部感覚	④	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第6章A・B・Cを通読（120分）	講義内容の理解とノートの整理（120分）
8	感覚生理Ⅱ：特殊感覚（化学覚、聴覚、平衡覚）	④	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第6章Dを通読（120分）	講義内容の理解とノートの整理（120分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法	
評価は講義内容の理解度を確保するための定期試験（100%）により行う。定期試験では生理機能の理解と統合的把握を評価する。	
使用教科書	
標準理学療法学・作業療法学 [専門基礎分野] 生理学（第6版） / 岡田隆夫, 鈴木敦子, 渡邊マキノ, 村松憲, 兼重美希. --岡田隆夫, 鈴木敦子, 渡邊マキノ--医学書院, 2023年, 978-4-260-05318-1 教科書や参考図書から作成した資料（レジメ）を配布し、この資料を基本にして講義する。	
参考図書	
精解 生理学, 桑名俊一（編・著）, 2025, 理工図書, ISBN 978-4-8446-0972-8 シンプル生理学（改訂8版）, 紀邑富久子・根来英雄（著）, 2021, 南江堂, ISBN 978-4-524-22655-9 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学（12版）, 酒井建雄・宇賀貴紀・小野富三人（編）, 2026, 医学書院, ISBN 978-4-260-06184-1	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	提出された課題に対してコメントを付して回答・返却する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	講義時間中や授業終了後に、講義内容に関する質問などを受け付けます。

授業科目名		担当教員				
生理学Ⅱ（植物的機能）		佐竹裕孝				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	RBF202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。						
授業概要						
視機能療法専攻課程において必要な全身生理の基礎として、視覚系を除いた人体の正常な生理機能を生理学Ⅰ・Ⅱで体系的に学ぶ。生理学Ⅱ（植物的機能）では、循環系、呼吸系、消化・吸収、内分泌系、腎・泌尿器系、血液などの生理機能とその調節機構を理解し、得られた知識を視機能検査・評価および臨床実習における全身状態の理解の基礎として活用する。						
学修の到達目標						
視機能検査および視能訓練を安全に実施するために必要な、視覚系を除く人体の正常な生理機能とその調節機構を理解し、全身状態の変化が視機能および検査に及ぼす影響を説明できる基礎的能力を身につける。生理学Ⅱでは、とくに生命維持に不可欠な機能（植物的機能）、すなわち①血液、②心循環器系、③呼吸器系、④消化器系、⑤内分泌器系、⑥腎泌尿器系について、基礎的な知識の獲得と理解を目標とする。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	血液：血液の機能，免疫機能	①	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第7章を読んでおく(120分)	講義内容の理解とノートの整理(120分)
2	心循環生理Ⅰ：心臓の機能	②	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第8章を読んでおく(120分)	講義内容の理解とノートの整理(120分)
3	心循環生理Ⅱ：血管の機能	②	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第8章を読んでおく(120分)	講義内容の理解とノートの整理(120分)
4	呼吸生理：気道の機能，肺の機能	③	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第9章を読んでおく(120分)	講義内容の理解とノートの整理(120分)
5	消化吸収Ⅰ：口腔・喉頭の機能，消化管の機能	④	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第11章を読んでおく(120分)	講義内容の理解とノートの整理(120分)
6	消化吸収Ⅱ：栄養の消化・吸収，肝臓・胆嚢・膵臓	④	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第11章を読んでおく(120分)	講義内容の理解とノートの整理(120分)
7	内分泌系：ホルモンの種類と作用	⑤	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第13章を読んでおく(120分)	講義内容の理解とノートの整理(120分)
8	腎泌尿器系：腎・尿路の機能	⑥	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第10章を読んでおく(120分)	講義内容の理解とノートの整理(120分)
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法	
評価は講義内容の理解度を確保するための定期試験（100%）により行う。定期試験では生理機能の理解と統合的把握を評価する。	
使用教科書	
標準理学療法学・作業療法学 [専門基礎分野] 生理学（第6版） / 岡田隆夫，鈴木敦子，渡邊マキノ，村松憲，兼重美希。--岡田隆夫，鈴木敦子，渡邊マキノ--医学書院，2023年，978-4-260-05318-1 教科書や参考図書から作成した資料（レジメ）を配布し，この資料を基本にして講義する。	
参考図書	
精解 生理学，桑名俊一（編・著），2025，理工図書，ISBN 978-4-8446-0972-8 シンプル生理学（改訂8版），貴邑富久子・根来英雄（著），2021，南江堂，ISBN 978-4-524-22655-9 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学（12版），酒井建雄・宇賀貴紀・小野富三人（編），2026，医学書院，ISBN 978-4-260-06184-1	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	提出された課題に対してコメントを付して回答・返却する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	講義時間中や授業終了後に，講義内容に関する質問などを受け付けます，

授業科目名		担当教員				
人間発達学		大森周太郎				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	RDM101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。						
授業概要						
人間の胎生期から老年期までの身体的発達と心理的発達の主要な現象を取り上げ講義する。新生児期、乳児期、幼児期、児童期、青年期、中年期、老年期の基本的な特徴について、生物学的な面のみならず社会とのかかわりの中で複雑に発達していく過程に関する理解を深め、医療関係者として必要な知識、応用技術を学ぶ。						
学修の到達目標						
①人間の発達段階の特徴を理解する ②小児期の重要性を広く理解する ③発達と環境、文化との関連を正しく認識する ④青年期の特徴と重要性について理解を深める ⑤中年期～老年期の変化の実態を把握する ⑥学んだ知識を実生活ならびに医療関連の仕事に生かす						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	人間の発達の特徴	① ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
2	人間の本能と行動	① ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
3	胎生期から誕生へ	① ②	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
4	乳幼児の発育と発達	① ② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
5	子どもの身体発育発達に影響する因子	② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
6	身体発育の指標	① ② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
7	子どもの心の発達	① ② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
8	幼児～学童の運動機能	① ②	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
9	小児栄養	① ② ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	小児期の発達障害、疾病	① ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
11	青年期の身体的、心理的発達	① ④	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
12	中年期における心身の変化と人間としての成長、発達	① ⑤	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
13	老年期における心身の変化と日常生活	⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
14	老化の進展と健康	① ⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
15	超高齢社会の人間発達学	① ⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法

評価基準：専門的な知識の修得と講義内容の理解を重視。専門用語を用いて現象を理解し、説明する能力を評価する。従って、試験問題には、記述問題を半数出題する。
 評価方法：筆記試験ならびに適時提出を求める課題(レポート)によって行う。評価割合はそれぞれ90%、10%

使用教科書

人間発達学 ヒトはどう育つのか / 竹下研三 著。--中央法規出版, 2009年, 978-4-8058-3096-3

参考図書

その都度、講義時間に紹介する。

課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	試験についての内容や勉強法については、授業中に詳しく説明します。
実務経験をいかした教育内容	
備考	修得すべき知識が多いので、個々の知識を体系化し、相互に関連づけて記憶するように努めること。課題や試験問題に対する解説はその都度行う。在学時の質問は随時、受け付ける。メール等による質問も歓迎するが、学務課経由でお願いしたい。

授業科目名		担当教員				
保育学		今村光章				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	2単位(30時間)	講義・演習	RDM102		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>テーマ：乳幼児の発達過程や幼児や児童や生徒を取り巻く現代社会の状況について理解する。乳幼児の心身の発達の過程について総合的体系的に学ぶとともに、子どもとのコミュニケーションの取り方を学ぶ。また、現代社会に特有の子どもを巡る様々な問題についても理解する。とくに、将来、医療関係者となり、それぞれの困難さを抱えた親子に対応するという立場で、子ども自身の姿を理解し、その困難さに対応していくための基礎知識と態度を身につける。子どもの理解だけではなく、子どもの生活そのものに関わる全ての領域について理解するために視野を広げていく。本授業では子どもを取り巻く様々な領域の学びから子どもとその保護者を温かいまなざしで包みこみながら治療していける医療人になることを視野に入れながら、子ども学を総合的に学んでいく。</p>						
学修の到達目標						
<p>①子どもの心と体や健康、それらの発達・発育の過程について理解を深める。就学前教育機関の意義と歴史、幼児教育・保育の思想についての知識を得る。 ②一人ひとりの子どもや保護者などの心に寄り添った対応ができるコミュニケーション・スキルを学び実践する。 ③子どもに関わる現場で、実地に視能訓練に関わる実習を体験し、早期発見・治療・予防の観点からの視機能スクリーニングの在り方を学び実践できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	はじめに (オリエンテーション) 育てていただいたことを振り返る	① ②	今村	演習	自分が育ててもらった人や環境について振り返る (120分)	グループワークを通じて、自分が育ててもらった人や環境について振り返る (120分)
2	子ども概念と保育の語義、子どもとのコミュニケーションのとりかたについて	① ②	今村	講義	子どもとは何かを辞書や事典で調べるとともに、概念規定を書く。(120分)	授業で学んだ子ども概念と保育の語義について、その他の異説を調べ保育の理念についてまとめる。(120分)
3	子どもの基本的人権と保育の理念:エラスムス、エレン・ケイ、子どもの権利条約に至る過程をめぐって	①	今村	講義	高等学校家庭科で学習した子どもの権利条約について調べる (120分)	授業で学んだ保育の理念がどのように保育所で生かされているか、保育所の理念等を検討する (120分)
4	保育学という学問の性格:保育の哲学・科学・実践学について	①	今村	講義	フレーベルとペスタロッチについて調べる (120分)	保育の哲学、保育の科学、保育の実践学で説明した内容をノートで復習し、反省的実践家という概念について調べる (120分)
5	家庭教育と就学前教育施設での集団保育および、フレーベルを中心とした保育思想について	②	今村	講義	自分が通園した保育所・幼稚園等の就学前教育施設について、その概要をまとめる。(120分)	授業で説明した保育所・幼稚園のほかに、認定こども園について調べる (120分)
6	乳児期の子どもの認知・思考の発達・情緒の発達・対人関係の形成などについて:アタッチメントを中心として	① ②	今村	講義	事前に配布したプリントで0歳から3歳までの発達の特徴を学ぶ。(120分)	授業で説明した0歳から3歳までの発達の特徴を復習する。(120分)
7	幼児期の子どもの認知・思考の発達・情緒の発達・社会性の発達などについて:ピアジェを中心として	① ②	今村	講義	事前に配布したプリントで3歳から6歳までの発達の特徴を学ぶ。(120分)	授業で説明した3歳から6歳までの発達の特徴を復習する。(120分)
8	学童期の子ども(思考の発達・学童期ならではの発達課題など)について:小1プロブレムを取り上げながら就学前教育機関と小学校の接続を考える	① ②	今村	講義	事前に配布したプリントで6歳から12歳までの発達の特徴を学ぶ。(120分)	授業で説明した7歳から12歳までの発達の特徴を復習する。(120分)
9	遊びとはなにか:ホイジンガとカイヨワを中心として	②	今村	GWT講義	子ども時代にした遊びについてノートにまとめる。(120分)	遊びの変化について学んだことをまとめる。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	「遊びこむ」とはどのようなことか：教育的意義と有用性に還元されない遊びをめぐって	②	今村	講義	中学校・高等学校で学んだ遊びの教育的意義についてまとめる。(120分)	授業で取り上げた有用性に還元されない遊びについてのプリントを読み、要約するとともに感想を書いて提出する。(120分)
11	子どもが育つ自然環境とその変化	②	今村	講義	子ども時代の自然体験についてまとめる。(120分)	授業で紹介した幼児期の自然体験活動について、その内容をまとめる。(120分)
12	保育現場での実習計画の立案	③	今村	講義	事前配布したプリントに基づき、保育計画について予習をする。(120分)	保育実習計画を立案する。(120分)
13	保育現場での実地実習(A班・B班に分かれて実施)視機能スクリーニングの在り方を学び実践する。	① ② ③	今村	実習	保育計画を丹念に読み、当日の行動について予習する。(120分)	保育実習の感想と反省を書く。(120分)
14	実習でのふりかえり	① ③	今村	演習	保育実習のなかで、自分が学んだことを書く。(120分)	グループ交流をする中で学んだことを書く。(120分)
15	保育者になるために	③	今村	講義 演習	将来、子どもを持つ親になった場合、どのような子育てをしたいか書く。(120分)	グループ交流を踏まえて、どのような子育てが理想的であるかをまとめ、提出する。(120分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験(70%)・レポート(20%)・授業の取り組み(10%)などを総合的に評価する。						
使用教科書						
使用しない。その都度、プリント等を配布する。						
参考図書						
今村光章、『ディープ・コミュニケーション』、行路社、2004.						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	レポート課題については、コメントを記して返却する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
病理学概論		武内康雄				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	RDR201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		武内康雄(医師)				
授業概要						
病気を引き起こす原因を、病気の捉え方の歴史的移り変わりとともに概論で解説する。次いで、病気の状態を大きく、代謝異常、循環障害、炎症と免疫、進行性病変、腫瘍、老化、先天異常と奇形に分類し、それぞれの病的状態に見られる変化を分かりやすく解説する。						
学修の到達目標						
①変性と化生、炎症と免疫、循環障害の病態病理の概要を説明できる。 ②代謝障害、遺伝子異常、先天異常、老化の概要を説明できる。 ③腫瘍の病理学的分類を説明でき、腫瘍発生のメカニズムや治療法を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	病気と病理学	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
2	細胞の異常(変性、化生、細胞死)、組織の再生と修復	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
3	先天異常	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
4	循環障害(1)循環系の働き、浮腫、出血、血液凝固	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
5	循環障害(2)虚血と梗塞、血圧異常	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
6	循環障害による疾患と病態	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
7	代謝異常(1)糖尿病、糖原病	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
8	代謝異常(2)脂質代謝異常、その他	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
9	老化、老年症候群	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	感染症（1）炎症、感染症と病原体	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
11	感染症（2）感染症の発症と免疫・防御機構	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
12	自己免疫疾患	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
13	腫瘍（1）腫瘍の分類	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
14	腫瘍（2）癌の特性、診断	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
15	腫瘍の治療	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
期末試験（100％）で成績評価を行う。						
使用教科書						
なるほど なっとく！ 病理学病態形成の基本的なしくみ / 小林正伸 著、--第2版--南山堂、2019年、978-4-525-15162-1						
参考図書						
大橋健一、谷澤 徹、藤原正親、柴原純二著 「系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病のなりたちと回復の促進①」（医学書院）						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	試験解答の一部を公開する。					
実務経験をいかした教育内容	法医学での経験をもとに、病気の成り立ちについて講義を展開する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
健康と保健		三品弘司・古田弥生・森岡菜穂子・林 宗典・田中季果 (代表教員 三品弘司)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義		RDR102	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		三品(看護師・保健師) 古田(看護師) 森岡(看護師) 林(看護師) 田中(看護師・助産師)				
授業概要						
<p>学生が自身の“からだ”と“こころ”に関心を持ち、健康的な学生生活を送るための具体的方法を学習する。さらには、大学生が罹患しやすい疾患について学ぶことで、医療人を目指す者に必要な基礎的知識を身に着ける。</p>						
学修の到達目標						
<p>①日頃の生活習慣を見直し、健康管理の具体的方法について説明できる。 ②心身の健康に影響を及ぼす諸要因について説明できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	健康について 日本の医療制度	① ②	古田	講義	テキスト第1章「健診について」、第6章「日本の医療制度」を読むこと(120分)	テキストの該当範囲および配布資料を見直し、講義内容を理解すること。(120分)
2	健康的な生活習慣について(生活習慣と病気)	① ②	古田	講義	テキスト第2章「健診的な生活習慣」を読むこと(120分)	テキストの該当範囲および配布資料を見直し、講義内容を理解すること。(120分)
3	大学生のための病気の知識①(肺・心臓・腎臓・血液・消化器)	① ②	林	講義	テキスト第5章「大学生のための病気の知識」の第1節～第5節を読むこと(120分)	テキストの該当範囲および配布資料を見直し、講義内容を理解すること。(120分)
4	大学生のための病気の知識②(内分泌・神経・膠原病・アレルギー・皮膚・口腔)	① ②	森岡	講義	テキスト第5章「大学生のための病気の知識」の第6節～第11節を読むこと(120分)	テキストの該当範囲および配布資料を見直し、講義内容を理解すること。(120分)
5	大学生のための病気の知識③(感染症・LGBT)	① ②	田中	講義	テキスト第5章「大学生のための病気の知識」の第12節、第15節を読むこと(120分)	テキストの該当範囲および配布資料を見直し、講義内容を理解すること。(120分)
6	大学生のための病気の知識④(性感染症・月経トラブル)	① ②	田中	講義	テキスト第5章「大学生のための病気の知識」の第13節、第14節を読むこと(120分)	テキストの該当範囲および配布資料を見直し、講義内容を理解すること。(120分)
7	大学生のこころの健康①(ストレスとストレス反応、発達危機)	① ②	三品	講義	テキスト第4章「大学生のこころの健康」の第1節～第3節、第5節を読むこと(120分)	テキストの該当範囲および配布資料を見直し、講義内容を理解すること。(120分)
8	大学生のこころの健康②(摂食障害、不安障害、境界性パーソナリティ障害、物質関連障害)	① ②	三品	講義	テキスト第4章「大学生のこころの健康」の第4節、第6節～第8節を読むこと(120分)	テキストの該当範囲および配布資料を見直し、講義内容を理解すること。(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
筆記試験（100％）で評価します。	
使用教科書	
大学生の健康ナビ―キャンパスライフの健康管理 / 山本真由美監修. ―岐阜新聞社, 2025年,	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	この講義は、オムニバスになります。質問等は、授業終了後もしくはメールにて受け付けております。
実務経験をいかした教育内容	専門の診療科で実務経験のある看護師がその専門性を生かした講義を行うことで、学生は健康について正しい知識を身に付けることができ、さらには日常生活におけるヘルスケア、疾病予防、ヘルスプロモーションについて判断したり意思決定をするための基礎的能力を身に付けられる。
備考	

授業科目名		担当教員				
医療安全管理論		三品弘司・出口陸雄・林 宗典・三輪陽子 (代表教員 三品弘司)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	RDR203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5)の達成に寄与している。		三品弘司(看護師・保健師)、出口陸雄(看護師)、林宗典(看護師) 三輪陽子(看護師)				
授業概要						
医療の質と安全の確保は、患者、医療従事者をはじめとする多くの国民が願っていることである。近年、医療の安全確保に対する人々の関心が高くなり、医療安全は医療界の最優先課題となっている。視機能療法の主要な業務である治療や指導及び援助は、障がいのある対象が主体的な生活の獲得の為に重要である一方、医療事故を起こすリスクを持ちながらの業務でもある。視能訓練士にとって、医療安全や医療事故防止について修得することは必須である。まず医療安全管理を学ぶ意義を理解し、そのうえで人間がおこすエラーについての理解し、視機能療法と医療事故との関連を学び、国、組織、個人における医療事故防止対策について学ぶ。医療事故やインシデントの分析手法を理解し、視機能療法におけるKYTを行うことで、医療事故防止の感性を養う。また、多くの視機能療法に関連した医療事故やインシデントを知ることで、臨場感のある医療事故防止について学ぶ。また、感染防止対策も医療事故防止の一つとして学ぶ。						
学修の到達目標						
知識：①医療安全の基本的考え方と医療事故防止について述べるができる。 技術：②医療事故の分析手法やKYTを活用し、安全について考察することができる。 態度：③医療安全に興味を持ち、積極的に演習に取り組むことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	医療事故と医療安全の定義	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
2	日本の医療安全対策	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
① ③	組織的な安全管理体制	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
4	法的責任と賠償責任 実際に起こっている医療事故	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
5	リスクの種類による医療安全対策 (患者誤認・薬剤関連・転倒など)	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
6	ヒューマンエラーについて	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
7	多職種連携と安全管理 事故要因分析	① ②	三輪	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
8	医療現場におけるマネジメントの実践	① ②	林	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
9	医療安全とコミュニケーション	① ②	出口	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	多職種連携	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること (60分)
11	KYTについて	② ③	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること (60分)
12	医療安全-演習①	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
13	医療安全-演習②	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
14	医療安全-演習③	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
15	医療安全-演習④	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
提出レポート (20%)、履修態度 (10%)、筆記試験 (70%) での総合評価						
使用教科書						
なし						
参考図書						
系統看護学講座 総合分野 医療安全 (医学書院) 医療安全とリスクマネジメント (ヌーヴェルヒロカワ)						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	レポートは、次回講義にて返却します。 質問等は、講義中や講義後にするようにしてください。					
実務経験をいかした教育内容	看護学科の教員がその実務経験を活かし、医療安全に必要な知識および技術を体験的に学修する授業を行うことで、受講学生は既知の危険要因とその対策に関する基礎的知識および未知の危険要因とそれが引き起こす事故を予測する力を身に付けることができる。					
備考	教科書は特別使用しないが、必要時書籍紹介する。授業は毎回、パワーポイント使用して進める。関連する教科と結び付けて学習し、単に知識に止まらず実践的能力として身につけてほしい。よって、積極的に学び取る姿勢で臨んでほしい。グループワークなどの演習も取り入れ出来るだけ参加型授業形態をとる。					

授業科目名		担当教員				
医療統計学		山田雅博				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義・演習	RDR104		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。						
授業概要						
この授業では、資料の整理や読み、分析などの初歩から学習を行う。後半は、具体的事例をもとに推定や幾つかの検定について学ぶ。毎回、毎時間においてプリントを配布し、前半は講義形式で、後半はプリントを用いた問題演習を行う。資料を分析しやすく整理して、代表値を用いて吟味する方法について学ぶ。また、一部のサンプルをもとに全体の状況を推測する方法についても学ぶ。						
学修の到達目標						
まず、様々な統計用語の意味について、着実に理解することを目標とする。また、授業ノートを見ながら、実践において活用出来る技術が身に付くことを目指す。 知識：①統計用語について理解している。 技術：②代表値や統計量を求めることが出来る。また、それらを用いて資料を分析できる。 技術：③具体的な推定や検定が出来る。 態度：④主体的に参加し、対話的な協働学習を行い、深い学びを追究する態度を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	統計学の概要、度数分布表	① ④	山田	講義 演習	シラバスを事前に確認し、教科書の該当箇所を熟読する。(120分)	授業ノートとプリントを用いて、プリントの問題に取り組む(120分)
2	代表値、平均値	① ② ④	山田	講義 演習	シラバスを事前に確認し、教科書の該当箇所を熟読する。(120分)	授業ノートとプリントを用いて、プリントの問題に取り組む(120分)
3	標準偏差	① ② ④	山田	講義 演習	シラバスを事前に確認し、教科書の該当箇所を熟読する。(120分)	授業ノートとプリントを用いて、プリントの問題に取り組む(120分)
4	平均の推定	① ③ ④	山田	講義 演習	シラバスを事前に確認し、教科書の該当箇所を熟読する。(120分)	授業ノートとプリントを用いて、プリントの問題に取り組む(120分)
5	比率の推定、標準偏差の推定	① ③ ④	山田	講義 演習	シラバスを事前に確認し、教科書の該当箇所を熟読する。(120分)	授業ノートとプリントを用いて、プリントの問題に取り組む(120分)
6	平均の検定、比率の検定	① ③ ④	山田	講義 演習	シラバスを事前に確認し、教科書の該当箇所を熟読する。(120分)	授業ノートとプリントを用いて、プリントの問題に取り組む(120分)
7	片側検定による平均の検定	① ③ ④	山田	講義 演習	シラバスを事前に確認し、教科書の該当箇所を熟読する。(120分)	授業ノートとプリントを用いて、プリントの問題に取り組む(120分)
8	等平均の検定	① ③ ④	山田	講義 演習	シラバスを事前に確認し、教科書の該当箇所を熟読する。(120分)	授業ノートとプリントを用いて、プリントの問題に取り組む(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
授業中の演習問題における習熟の状態（30%），期末試験結果（70%）をもって総合的に判断する。知識・理解，試行・判断を特に重要視し，態度については「授業中の演習問題における習熟の状態」において見届ける。	
使用教科書	
新統計入門 / 小寺平治 著.--裳華房，1996年，978-4-7853-1099-8	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	レポートや小テストは，課さない。
実務経験をいかした教育内容	実務家教員では無いが，授業者は高等学校における数学科の指導経験を有する（非常勤講師として勤務した経験がある）。この経験を活かし，講義形式のみの授業では無く，プリントを用いた問題演習を毎回の授業において取り入れ，学生との対話的な学びを行っていく。
備考	メールによる質問は，yamada.masahiro.f9@f.gifu-u.ac.jp へお願いします。 また，対面での質問等を希望する場合は，先のアドレスへ連絡を下さい。時間を調整します。 授業中に電卓を使用させるが，どのような物を用意するかは，第1回目の授業において指示します。

授業科目名		担当教員				
一般臨床医学		武内康雄・松井永子・横井達夫・五島隆之介・田辺久美子・林 将大・古松山建吾 (代表教員 武内康雄)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	RDR405		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		武内康雄(医師)、松井永子(医師)、横井達夫(医師)、田辺久美子(医師)、五島隆之介(医師)、古松山建吾(作業療法士)				
授業概要						
一般臨床医学の学習では、眼科領域以外で眼科に関係する他科の疾患や診療について最新のアプローチを学ぶ。						
学修の到達目標						
①授業で修得した疾患と病態に関して理解し、病状・診断・治療等に関して具体的に説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	内科学 内科学総論、眼に関する全身疾患について	①	武内	講義	該当分野について予習を行う。解らない点をピックアップしておく(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する(120分)
2	小児病学 小児病学総論	①	松井	講義	該当分野について予習を行う。解らない点をピックアップしておく(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する(120分)
3	整形外科学 整形基礎、斜頸について	①	横井	講義	該当分野について予習を行う。解らない点をピックアップしておく(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する(120分)
4	耳鼻咽喉科学 眼科との境界領域、頭頸部外科総論	①	五島	講義	該当分野について予習を行う。解らない点をピックアップしておく(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する(120分)
5	麻酔科学 麻酔の基礎、全身麻酔、局所麻酔、ショック	①	田辺	講義	該当分野について予習を行う。解らない点をピックアップしておく(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する(120分)
6	感染症及び感染対策 感染症の発症と防御機構、感染対策	①	林	講義	該当分野について予習を行う。解らない点をピックアップしておく(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する(120分)
7	高次脳機能障害と発達障害	①	古松山	講義	該当分野について予習を行う。解らない点をピックアップしておく(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する(120分)
8	高次脳機能障害と発達障害	①	古松山	講義	該当分野について予習を行う。解らない点をピックアップしておく(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
定期試験（100%）	
使用教科書	
参考図書	
現代の眼科学 第13版 金原出版 ISBN978-4-307-35168-3 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 小児科学 第6版 ISBN978-4-260-05013-5	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	この講義はオムニバスになります。質問等は授業終了後に受付ます。
実務経験をいかした教育内容	各分野の専門医や作業療法士により、実務経験を生かした具体的な症例提示などを交えて講義をおこなう。
備考	

授業科目名		担当教員				
神経内科学		木村暁夫・下畑享良・山田 恵・吉倉延亮・竹腰 顕・下郷雅也・大野陽哉・森 泰子・山原直紀 (代表教員 木村暁夫)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	RDR406		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5)の達成に寄与している。		下畑享良(医師)、木村暁夫(医師)、山田恵(医師)、吉倉延亮(医師)、竹腰顕(医師)、下郷雅也(医師)、大野陽哉(医師)、森泰子(医師)、山原直紀(医師)				
授業概要						
①神経内科で扱う神経疾患の病態・診断・治療法について学び、理解を深める。 ②個々の神経疾患における障害部位・認められる神経学的異常所見・異常検査所見に関し理解を深める。 ③個々の神経疾患の治療の現状およびリハビリテーションの意義・注意点を理解する。						
学修の到達目標						
①個々の神経疾患の疾患名と病態に関し理解し、診断・治療法に関して具体的に説明できる。 ②個々の神経疾患におけるリハビリテーションの必要性和施行時の注意点を理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	神経変性疾患Ⅰ(パーキンソン病)	① ②	下畑	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
2	神経変性疾患Ⅳ(運動ニューロン疾患)	① ②	下畑	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
3	神経変性疾患Ⅱ(パーキンソン関連疾患)	① ②	山田	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
4	神経変性疾患Ⅲ(脊髄小脳変性症)	① ②	山田	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
5	認知症(アルツハイマー型認知症)	① ②	吉倉	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
6	認知症(非アルツハイマー型認知症)	① ②	吉倉	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
7	免疫性神経疾患(重症筋無力症など)	① ②	木村	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
8	免疫性神経疾患(多発性硬化症など)	① ②	木村	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)
9	末梢神経障害Ⅰ	① ②	竹腰	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	末梢神経障害Ⅱ	① ②	竹腰	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
11	筋疾患Ⅰ	① ②	下郷	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
12	筋疾患Ⅱ	① ②	下郷	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
13	頭部外傷・脊髄損傷	① ②	大野	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
14	脳腫瘍	① ②	山原	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
15	脳炎・脳症	① ②	森	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
	定期試験 筆記		木村			
評価基準・評価方法						
定期試験 (80%)、授業への取り組み姿勢 (20%) など総合的に判断						
使用教科書						
標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 / 鎌倉矩子ほか編集。--第6版--医学書院, 2024年, 978-4-260-05667-0						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> 臨床のための脳局所解剖学 (中外医学社) 神経内科ハンドブック 鑑別診断と治療第5版 (医学書院) 全ての内科医が知っておきたい神経疾患の診かた、考え方とその対応 (羊土社) 						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	試験について過去問題等の資料を配布					
実務経験をいかした教育内容	神経内科の臨床現場で扱う疾患の病態・診断・治療法等について、脳神経内科医師らにより解説を行う					
備考	理学療法士 作業療法士国家試験問題解答と解説 (医師薬出版編)					

授業科目名		担当教員				
精神医学		宮地幸雄				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	2単位(30時間)	講義	RDR407		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		宮地幸雄(臨床心理士)				
授業概要						
精神疾患についての基本的知識並びに精神疾患を罹患した人との基本的な援助方法を学ぶ。						
学修の到達目標						
①精神医学の基礎的な部分について理解を深める。 ②精神疾患の症例を理解することができる。 ③臨床場面で援助方法の基本が活用できるようになる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	人が生きるということについてを考える。	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
2	自殺について	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
3	精神医学の歴史について	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
4	こころの発達と防衛機制について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
5	臨床心理検査について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
6	よくみられる精神症状についてーその1	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
7	よくみられる精神症状についてーその2	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
8	統合失調症についてーその1	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
9	統合失調症についてーその2	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	感情障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
11	心因性精神障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
12	知的障害・発達障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
13	心理療法について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
14	チームアプローチについて	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
15	医療従事者の姿勢について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験(100%)で評価する						
使用教科書						
精神医学テキスト-精神障害の理解と治療のために / 上島国利ほか.--改訂第5版--南江堂, 2023, 978-4-524-22866-9						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	随時質問を受け付け回答及びコメントをする。					
実務経験をいかした教育内容	講師は臨床心理士。非医師であるが、臨床現場の話として精神科病院での事例を提示し授業を展開する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
臨床心理学		高橋晋也				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	RDR408		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。						
授業概要						
臨床心理学とは、精神疾患をはじめとする心理的問題やその結果としての不適応行動の予防・改善・援助、あるいはより一般的に人々の精神的健康の増進を追求する応用心理学の一領域であるが、本科目では、とくに視能訓練医療に関わりの深い諸問題に焦点を絞り、将来的に医療現場での実践に役立つ知識の習得と人間の理解を目指す。医療従事者と患者の関係に加え、視能訓練医療で頻出する患児とその親を含めた三者間関係に適切に向き合うために理解しておくべき基礎的問題を中心に学習する。						
学修の到達目標						
①他の動物と異なる人間の発達の特徴についての確に説明することができる。 ②乳幼児期を中心とした人間の発達の諸側面について理解し、相互に関連づけることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	導入ならびに発達(1)：発達の定義、発達段階区分、人間の発達の特徴	① ②	高橋	講義	資料に当たらず、自分なりに発達の定義を考えてみる。(100分)	学修内容の要点を自分の言葉200字程度でまとめてみる。(130分)
2	発達(2)：認知発達	① ②	高橋	講義	「ピアジェの認知発達説」について調べておく。(100分)	学修内容の要点を自分の言葉200字程度でまとめてみる。(130分)
3	発達(3)：運動機能の発達、言語発達	① ②	高橋	講義	「原始反射」、「初語」について調べておく。(100分)	学修内容の要点を自分の言葉200字程度でまとめてみる。(130分)
4	発達(4)：感情の発達、遊びの発達、親子関係の発達	① ②	高橋	講義	「社会的微笑」、「人見知り」について調べておく。(100分)	学修内容の要点を自分の言葉200字程度でまとめてみる。(130分)
5	発達(5)：視覚発達の理論(乳幼児の視覚能力測定法)	① ②	高橋	講義	「選好注視法」の実施方法について調べておく。(100分)	学修内容の要点を自分の言葉200字程度でまとめてみる。(130分)
6	発達(6)：視覚発達の実際(空間分解能・コントラスト感度・分光感度・調節機能)	① ②	高橋	講義	乳幼児の視覚発達に関する資料(データ)を探してみる。(100分)	学修内容の要点を自分の言葉200字程度でまとめてみる。(130分)
7	発達(7)：高齢者の精神的特徴と診療時の留意点	① ②	高橋	講義	臨床現場で高齢者と接した場面を想定し、その際の留意点を考える。(100分)	学修内容の要点を自分の言葉200字程度でまとめてみる。(130分)
8	発達(8)：過去の国家試験における発達心理学関連の出題	① ②	高橋	講義	前回までの学習内容を振り返ってしておく。(100分)	配付資料中の、授業時間内に取り組みなかった問題を解く。(130分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
講義内容の理解度を測定する期末試験の成績（100%）により評価する。期末試験では一切の持ち込みを認めない。	
使用教科書	
使用しない。（プリント資料を配付する。）	
参考図書	
授業中に適宜紹介する。	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	期末試験の評価について質問があれば、個別に対応する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	

授業科目名		担当教員				
視器の解剖と生理学Ⅰ（眼球・眼球付属器他）		丹沢慶一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	RBI101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一（視能訓練士）				
授業概要						
<p>眼球、その付属器および視覚伝導路の構造と機能に関する視覚器の構造と機能について学ぶ。本科目で学習した知識は、後発して開講される視機能療法学分野の科目の理解に必要である。</p> <p>講義は教科書に沿って進行し、重要なポイントを図説・解説し、必要だと思われる情報を適宜加える。</p> <p>講義後は教科書を精読し、関連する事柄について成書等で調べ、その中から情報を拾い上げ整理するといった復習が必須である。この復習のプロセスは、知識の定着とともに、論理的思考力の育成を目的としている。復習実施の程度を測るために、小試験を適宜行う。</p>						
学修の到達目標						
<p>①眼球、眼球付属器の構造と機能について、理解し、説明することができる。</p> <p>②視覚伝導路について、理解し、説明することができる。</p> <p>③視覚に関わる脳と神経について、理解し、説明することができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	眼球および眼球外膜（角膜、強膜）の構造と機能 視能学P2～P4	①	丹沢	講義	該当ページを読む。(60分)	眼球外膜（角膜、強膜）の構造と機能を理解する。(180分)
2	眼球中膜（虹彩、毛様体、脈絡膜）の構造と機能 視能学P4～P7	①	丹沢	講義	該当ページを読む。(60分)	眼球中膜（虹彩、毛様体、脈絡膜）の構造と機能を理解する。(180分)
3	眼球内膜（網膜）の構造と機能 視能学P7～P11	① ②	丹沢	講義	該当ページを読む。(60分)	眼球内膜（網膜）の構造と機能を理解する。(180分)
4	眼球内容（硝子体、水晶体、眼房、隅角）の構造と機能 視能学P11～P14	①	丹沢	講義	該当ページを読む。(60分)	眼球内容（硝子体、水晶体、眼房、隅角）の構造と機能を理解する。(180分)
5	眼球付属器（眼瞼、眉毛、結膜、涙器）の構造と機能 視能学P14～P17	①	丹沢	講義	該当ページを読む。(60分)	眼球付属器（眼瞼、眉毛、結膜、涙器）の構造と機能を理解する。(180分)
6	眼球付属器（外眼筋、眼窩）の構造と機能 視能学P17～P19	① ③	丹沢	講義	該当ページを読む。(60分)	眼球付属器（外眼筋、眼窩）の構造と機能を理解する。(180分)
7	視覚伝導路 視能学P19～P20、P25～P29	②	丹沢	講義	該当ページを読む。(60分)	視覚伝導路について理解する。(180分)
8	眼の血管系、眼の発生、脳と神経 視能学P21～P24、P28～P30	① ③	丹沢	講義	該当ページを読む。(60分)	眼の血管系、眼の発生、脳と神経を理解する。(180分)
	定期試験 筆記					

評価基準・評価方法	
講義主体となるため知識の理解、定着を測定するため、小テスト、筆記試験にて判定する。 定期試験60%、小テスト40%にて総合評価とする。	
使用教科書	
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 現代の眼科学 第13版 / 所敬監修.--吉田晃敏、谷原秀信--金原出版, 2018年, 978-4-307-35168-3	
参考図書	
適宜紹介する。 必要時にはプリントを配布する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストを行い知識の定着度を確認し、講義時に総評を口頭にて行う。
実務経験をいかした教育内容	それぞれの知識が、視能訓練士として眼科外来でどのように役立つのかといった事柄を含めて説明する。
備考	講義主体で行う。毎回の講義の復習を欠かすことなく着実に自分の知識にしていくこと。 質問は、オフィスアワーを活用し、自主的に学ぶこと。

授業科目名		担当教員				
視器の解剖と生理学Ⅱ（視路・眼運動系他）		丹沢慶一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	RBI102		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一（視能訓練士）				
授業概要						
<p>眼球運動系、眼の自律神経・瞳孔・調節・輻輳、眼圧・房水 および 涙液 に係る視覚器の構造と機能について学ぶ。本科目で学習した知識は、後発して開講される視機能療法学分野の科目の理解に必要である。</p> <p>授業は講義形式で、教科書に沿って進行する。講義中は重要なポイントを図説・解説し、必要だと思われる情報を適宜加える。授業後は自身でも教科書を精読し、関連する事柄について成書等で調べ、その中から情報を拾い上げ整理するといった復習が必須である。この復習のプロセスは、知識の定着とともに、論理的思考力の育成を目的としている。復習実施の程度を測るために、小試験を適宜行う。</p>						
学修の到達目標						
<p>①各眼球運動が発現するために必要な神経機構について論理的に述べることができる。</p> <p>②大脳皮質、大脳辺縁系から眼球効果器に至る自律神経系の機構について論理的に述べることができる。</p> <p>③瞳孔・調節・輻輳の機構について論理的に述べることができる。</p> <p>④眼圧・房水・涙液の機能および特性について論理的に述べることができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	眼球運動系における核上性中枢の神経機構 【教科書pp30-35】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
2	眼球運動系における眼球運動神経の機構 【教科書pp35-36】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
3	眼球運動系における末梢神経および開眼・閉眼運動の機構 【教科書pp37】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
4	眼効果器に至る自律神経の機構 【教科書pp38-40】	②	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
5	瞳孔・調節・輻輳の機構と機能(1) 【教科書pp40-44】	③	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
6	瞳孔・調節・輻輳の機構と機能(2) 【教科書pp40-44】	③	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
7	眼圧の機能および特性、房水の機能および特性 【教科書pp45-46】	④	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
8	涙液の構造、性状および機能 【教科書pp47-49】	④	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法	
【定期試験】60% 【小試験】40%	
使用教科書	
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8	
参考図書	
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の眼科学 改訂第13版 ・図書館で最適な成書を探して参考図書として用いること. 	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	各小試験の実施後に解答・解説をおこなう.
実務経験をいかした教育内容	それぞれの知識が、視能訓練士として眼科外来でどのように役立つのかといった事柄を含めて説明する。
備考	

授業科目名		担当教員				
視器の病理学		大庭紀雄				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	RBI403		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		大庭紀雄(医師)				
授業概要						
視機能矯正や視機能訓練を遂行するために必要な眼疾患の病理や病態の基本知識を身につける。重要な疾病の病的成因を学ぶ。「眼疾病学」や「神経眼科学」や「眼薬理学」を(学習するための基盤となる知識を学ぶ。						
学修の到達目標						
①眼疾患の病因、成因、病態の特徴点を説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	眼の器官発生 P21-P25 眼瞼の病理・生理 P84-P91	①	大庭	講義	範囲を目を通しておくこと(120分)	発生段階ごとの疾患について判る(120分)
2	涙器の病理・生理 P94-P99 結膜の病理・生理 P102-P111	①	大庭	講義	範囲を目を通しておくこと(120分)	各疾患について判る(120分)
3	角膜と強膜の病理・生理 P114-P133	①	大庭	講義	範囲を目を通しておくこと(120分)	各疾患について判る(120分)
4	ぶどう膜の病理・生理 P136-P163	①	大庭	講義	範囲を目を通しておくこと(120分)	各疾患について判る(120分)
5	網膜硝子体の病理・生理 P168-P218	①	大庭	講義	範囲を目を通しておくこと(120分)	各疾患について判る(120分)
6	水晶体の病理・生理 P228-P242 緑内障の病理 P244-P258	①	大庭	講義	範囲を目を通しておくこと(120分)	各疾患について判る(120分)
7	視神経の病理・生理 P264-P281 眼窩疾患の病理 P322-P334	①	大庭	講義	範囲を目を通しておくこと(120分)	各疾患について判る(120分)
8	全身疾患の病理 P338-P350 外傷の病理 P354-P366 主訴から考える眼疾患と検査 P28-P37	①	大庭	講義	範囲を目を通しておくこと(120分)	疾患ごとの検査と結果について判る(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
定期試験の成績（60％）、小テスト（40％）	
使用教科書	
現代の眼科学 改定第13版 / 所 敬.--金原出版株式会社, 2018年, 978-4-307-35168-3 視能学 第3版 / 丸尾 敏夫、久保田 伸枝、深井小久子.--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストを返却しフィードバックする
実務経験をいかした教育内容	
備考	2024年度以降入学生対象

授業科目名		担当教員				
視覚生理学Ⅰ（基礎）		松井康樹				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	RBI104		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		松井康樹（視能訓練士）				
授業概要						
ヒトが外界から得る情報の80%は視覚から得ていると言われている。「視覚生理学」では、視覚、つまり「見る」システムの基本的な知識を学ぶ。眼球の中の網膜にうつった光が電気信号に変換され、大脳の視中枢に至る視覚伝導路の生理、網膜と視覚中枢内での階層的な構造と機能に基づく形態覚、色覚、光覚、立体視、運動視といった各種属性の神経機構に加えて、視野、電気生理学の基本的なことについて学ぶ。「視覚生理学Ⅰ」では、視覚生理の基礎について学び、形態覚と視野についてディスカッションしながら学ぶ。						
学修の到達目標						
①光と光の明るさの単位が判る ②明るさの感覚に関する閾値と感度について判る ③視覚心理について判る ④眼運動系について判る ⑤見るシステムについて判る ⑥視力（形態覚）について視力の種類や測定方法について判る ⑦視野の概念や測定方法についてわかる ⑧視野異常について判る						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	視覚生理の基礎 視能学P52-54	① ② ③ ④	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
2	視覚の成り立ち 視能学P54	⑤	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
3	視力（形態覚） 評価法、種類、影響する因子、視能学P55, 56, 61-63	⑥	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
4	視力（形態覚） 網膜部位と視力、コントラスト感度 視能学P63	⑥	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
5	視力（形態覚） 視力検査法、視能学P57-61	⑥	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
6	視野 概念、動的と静的測定、中心暗点検査、対座検査、閾値 視能学P64-68	⑦	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
7	視野 視野異常1 視能学P68-71	⑧	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
8	視野 視野異常2 視野影響する因子 視能学P71-73	⑧	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
	筆記試験					

評価基準・評価方法	
定期試験60%、小テスト40%	
使用教科書	
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 現代の眼科学 第13版 / 所 敬監修.--金原出版, 2018年, 978-4-307-35168-3 プリントも配布します	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テスト実施
実務経験をいかした教育内容	視能訓練士としての実務経験を生かした視覚生理学について講義する
備考	予習復習をしてください。そして不明な点は質問しなくすこと。 休み時間やオフィスアワーを活用し、自主学習にも力を注いで理解してください。

授業科目名		担当教員				
生理光学Ⅰ（基礎）		四之宮佑馬				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	RBI105		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		四之宮佑馬（視能訓練士）				
授業概要						
視能訓練士として必要な光学の基礎を学ぶ。眼科臨床で扱うレンズとプリズムの物理的な原理と知識とともに、眼球光学の基礎知識を獲得する。 本科目は生理光学Ⅱ、生理光学Ⅲ、幾何光学、生理光学演習Ⅰ、生理光学演習Ⅱの基礎となる科目である。担当教員は実務経験とopticsの原理に基づき、講義形式で教授する。						
学修の到達目標						
①光の性質・幾何光学の概要、レンズの定義を説明できる。 ②レンズの収差、プリズムフィルタ、ミラー、波動光学の定義を説明できる。 ③眼光学系の特徴を説明できる。 ④屈折調節の光学の定義を説明と関連する計算ができる。 ⑤屈折調節に関連する計算式を用いて、屈折調節を正確にすることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	光の性質、幾何光学、波動光学、符号の約束、屈折の法則と反射の法則、パーゼンス【教科書106-108, 159-162】	①	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
2	球面レンズ、円柱レンズ、波長と収差・光学距離、パーゼンスによるレンズの屈折力と結像式、面屈折力【教科書106-109, 163】	②	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
3	レンズの収差、プリズム、プリズム偏角、プリズムジオプトリ、レンズのプリズム効果、厚いレンズの主要点【教科書108-109, 160-162】	③	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
4	ミラー、眼球光学の特徴、模型眼とその名称、反射鏡の屈折力【教科書109-113, 167-168】	③ ④	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
5	屈折の光学（正視、近視、遠視）、眼鏡レンズと眼の光学、乱視とトーリックレンズ、度数変換【教科書113-116, 164-166, 168】	④	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
6	調節の光学、調節力【教科書116, 166】	⑤	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
7	倍率、眼鏡レンズによる拡大と縮小【教科書166-167】	⑤	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
8	視力とlogMAR【教科書168】	⑤	四之宮	講義	教科書を一読：30分	配布問題集の沿って総復習：300分
	試験					

評価基準・評価方法	
【定期試験】100%、小テストの結果に基づき最大±10点を加減する。	
使用教科書	
視能学第3版 / 小林義治 他.--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8	
参考図書	
眼光学の基礎、西信元嗣、金原出版、1990年 新しい眼光学の基礎、西信元嗣、金原出版、2008年 屈折異常とその矯正改訂第7版、所敬、金原出版、2019年	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストの実施後に解答・解説をおこなう。
実務経験をいかした教育内容	担当教員は視能訓練士(2003年免許取得)として眼科臨床業務経験を有し、眼科臨床での重要度に基づき効率的に専門性の高い講義を展開する。
備考	生理光学は理解の積み重ねが大切です。講義欠席者はその内容について、必要に応じて確認に来てください。

授業科目名		担当教員				
視機能検査学概論		丹沢慶一・國武実里 (代表教員 丹沢慶一)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	RBI206		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一(視能訓練士)・國武実里(視能訓練士)				
授業概要						
視能訓練士の業務の中で視機能検査は重要な位置を占める。医学の進歩とともに眼科領域でもさまざまな疾患の治療が可能となって来た。早期発見早期治療には視能訓練士の精度の高い検査結果が不可欠である。この講義では多岐にわたる視機能検査の種類とその内容、視機能検査をするための機器について知っておくべきことを学ぶ。						
学修の到達目標						
①視機能検査の概要が判る。 ②視機能検査機器の規格が判る。 ③データ処理と管理の仕方が判る。 ④機器の安全管理、メンテナンス等が判る。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	視機能検査機器について P258-261	② ③ ④	丹沢 國武	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
2	光学系検査の種類と概要	①	丹沢 國武	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
3	光覚・色覚・視野検査の種類と概要	①	丹沢 國武	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
4	電気生理学検査の種類と概要	①	丹沢 國武	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
5	角膜・涙液・超音波・眼底検査の種類と概要	①	丹沢 國武	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
6	症例検討Ⅰ	①	丹沢 國武	講義	配布問題集に沿って自己学習：200分	復習15分
7	症例検討Ⅱ	①	丹沢 國武	講義	配布問題集に沿って自己学習：200分	復習15分
8	症例検討Ⅲ	①	丹沢 國武	講義	配布問題集に沿って自己学習：200分	定期試験に向けて総復習120分
	筆記試験					

評価基準・評価方法	
定期試験(100%)	
使用教科書	
視能学第3版 / 小林義治 他.--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 現代の眼科学 / 所 敬監修.--第13版--金原出版, 2018年, 978-4-307-35168-3	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	授業時間内に口頭にてフィードバックする
実務経験をいかした教育内容	それぞれの知識が、視能訓練士として眼科外来でどのように役立つのかといった事柄を含めて説明する。
備考	講義主体で行う。毎回の講義の復習を欠かすことなく着実に自分の知識にしていくこと。 質問は、オフィスアワーを活用し、自主的に学ぶこと。

授業科目名		担当教員				
視機能検査学Ⅰ（眼科一般検査）		丹沢慶一・國武実里（代表教員 丹沢慶一）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	RBI207		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一（視能訓練士）・國武実里（視能訓練士）				
授業概要						
眼科検査で一般的に実施される各種検査の目的、原理、検査法、疾病への適応を学び、視機能検査の基礎知識を修得することを目的とする。医学の発展に伴い、眼科領域においても多種多様な検査が実施され、診断や治療方針決定のための重要な役割を果たしている。精度の高い検査を行うためには、正しい知識を身につけ、検査に臨む必要がある。						
学修の到達目標						
①視機能検査の基礎知識を修得し、実践に活用することができる。 ②視機能検査の目的、原理、限界、方法を理解し、説明することができる。 ③測定手順、測定上の注意点を理解し、活用することができる。 ④視機能検査の疾病への適応を理解し、測定結果について説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	外眼部検査：視能学P216～P217	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	眼瞼の構造について復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
2	細隙灯顕微鏡：視能学P217～P220	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	前眼部の構造について復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
3	角膜検査、涙液検査：視能学P221～P223	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	角膜、涙器の構造について復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
4	眼圧検査、隅角検査：視能学P223～P229	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	隅角の構造、房水流出路について復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
5	眼底検査（倒像鏡、直像鏡、細隙灯顕微鏡検査）：視能学P229～P231	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	眼底の構造について復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
6	眼底画像検査（FA、IA）：視能学P231～P234	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	眼底の構造について復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
7	眼底画像検査（光干渉断層計）：視能学P234～P238	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	網膜の構造、神経線維の走行について復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
8	中心暗点計（Amsler Charts・M-CHARTS）、臨界融合頻度検査：視能検査学P154～P157、P160～P164	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	網膜の構造について復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
	定期試験 筆記					

評価基準・評価方法	
【定期試験】100%、小テストの結果に基づき最大±10点を加減する。	
使用教科書	
視能学第3版 / 小林義治 他.--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 眼科検査ガイド 第3版 / 根木昭監修.--飯田知弘、近藤峰生、中村誠、山田昌和--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5609-5 視能学エキスパート 視能検査学 第2版 / 和田 直子、小林 昭子、中川 真紀、若山 暁美--医学書院, 2023年, 978-4-260-05043-2	
参考図書	
適宜紹介する。 また、必要時にはプリントを配布する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストの実施後に解答・解説をおこなう。
実務経験をいかした教育内容	それぞれの知識が、視能訓練士として眼科外来でどのように役立つのかといった事柄を含めて説明する。
備考	講義主体で行う。毎回の講義の復習を欠かすことなく着実に自分の知識にしていくこと。 質問は、オフィスアワーを活用し、自主的に学ぶこと。

授業科目名		担当教員				
視機能検査学Ⅱ（眼位検査）		丹沢慶一・國武実里（代表教員 丹沢慶一）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	RBI208		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一（視能訓練士）・國武実里（視能訓練士）				
授業概要						
眼科検査で一般的に実施される各種検査の目的、原理、検査法、疾病への適応を学び、視機能検査の基礎知識を修得することを目的とする。医学の発展に伴い、眼科領域においても多種多様な検査が実施され、診断や治療方針決定のための重要な役割を果たしている。精度の高い検査を行うためには、正しい知識を身につけ、検査に臨む必要がある。						
学修の到達目標						
①視機能検査の基礎知識を修得し、実践に活用することができる。 ②視機能検査の目的、原理、限界、方法を理解し、説明することができる。 ③測定手順、測定上の注意点を理解し、活用することができる。 ④視機能検査の疾病への適応を理解し、測定結果について説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	超音波検査：視能学P238～P242	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
2	眼軸長検査、眼窩画像検査：視能学P243～P244	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
3	静的視野検査 1：視能検査学P128～P138	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	前期開講の視覚生理学で学んだ視野の範囲を復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
4	静的視野検査2：視能検査学P148～P150	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	前期開講の視覚生理学で学んだ視野の範囲を復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
5	動的視野検査 1：視能検査学P139～P144	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	前期開講の視覚生理学で学んだ視野の範囲を復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
6	動的視野検査2：視能検査学P139～P144	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	前期開講の視覚生理学で学んだ視野の範囲を復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
7	色覚検査：視能検査学P189～P194	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	前期開講の視覚生理学で学んだ色覚の範囲を復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
8	網膜電図（ERG）：視能検査学P201～P205	① ② ③ ④	丹沢 國武	講義	前期開講の視覚生理学で学んだ網膜電図（ERG）の範囲を復習しておくこと。検査の目的・原理・検査機器・検査方法について予習しておくこと。(120分)	修得した知識を演習に活用できるように復習しておくこと。(120分)
	定期試験 筆記					

評価基準・評価方法	
【定期試験】100%、小テストの結果に基づき最大±10点を加減する。	
使用教科書	
視能学第3版 / 小林義治 他.--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 眼科検査ガイド 第3版 / 根木昭監修.--飯田知弘、近藤峰生、中村誠、山田昌和--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5609-5 視能学エキスパート 視能検査学 第2版 / 和田 直子、小林 昭子、中川 真紀、若山 暁美--医学書院, 2023年, 978-4-260-05043-2	
参考図書	
適宜紹介する。 必要時にはプリントを配布する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストの実施後に解答・解説をおこなう。
実務経験をいかした教育内容	それぞれの知識が、視能訓練士として眼科外来でどのように役立つのかといった事柄を含めて説明する。
備考	講義主体で行う。毎回の講義の復習を欠かすことなく着実に自分の知識にしていくこと。 質問は、オフィスアワーを活用し、自主的に学ぶこと。

授業科目名		担当教員				
視機能検査学Ⅲ（両眼視機能検査）		野原尚美・枝川 宏（代表教員 野原尚美）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義	RBI509		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美（視能訓練士）、枝川宏（医師）				
授業概要						
<p>視能訓練士が最も理解しておかなければならないことは、斜視弱視の各型に対して、どのような検査をし、どう治療をしていくのかである。ここでは、患者の主訴から何を考え、どのような検査をし、どのような斜視・弱視なのかを判断し、どのような治療をする必要があるのかを模擬症例を提示しながら、理解を深める。つまり、視能矯正分野で学んだ内容を、症例を通じて関連付けて考えることが出来ることを目的とする。</p> <p>まず、患者の主訴から、考えられる斜視・弱視の各型を列挙する。各型を判断するために必要な視力・屈折・眼位・両眼視機能検査を選択する。それらの結果を分析し、斜視・弱視の各型を正しく判断する。そして、治療として観血療法・非観血療法・視能訓練の方法を考えることが出来るようにする。「思考力」、「判断力」を育成するために、グループワークやディスカッション形式の講義も取り入れる。</p> <p>また、過去よりスポーツと視覚に関する研究がおこなわれている。アスリート以外に、スポーツを行う子供は多く、視能訓練士として今後この分野についての知識は必要となる。そこでスポーツ眼科で豊富な経験を持つ眼科専門医が、最新の研究に触れながらより確かなスポーツと視覚について講義を展開する。</p>						
学修の到達目標						
<p>①斜視の各型の特徴・治療法が理解できる。 ②主訴から斜視弱視の各型を判定するために適切な検査を選択することが出来る。 ③眼科カルテ上に記載されている視能矯正分野での英語表記が理解できる。 ④検査結果から斜視弱視の各型の判定ができる。 ⑤斜視弱視の各型によって、適切な治療法、訓練方法が選択できる。 ⑥スポーツ眼科について理解できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	斜視・弱視の各型と治療法について	①	野原	講義	斜視・弱視の分類・屈折異常並びに調節と斜視・治療法について復習しておくこと30分	次回講義の模擬症例についての課題に取り組む30分
2	斜視の模擬症例①（検査と結果について）	① ② ③	野原	講義	必要な検査について検査法・正常値など理解しなおす30分	模擬症例について課題に取り組む30分
3	斜視の模擬症例①（診断・今後の経過・治療）	① ② ③ ④ ⑤	野原	講義	斜視の診断と治療について見直す30分	模擬症例について課題に取り組む30分
4	斜視の模擬症例②（検査と結果について）	① ② ③	野原	講義	必要な検査について検査法・正常値など30分	模擬症例について課題に取り組む30分
5	斜視の模擬症例②（診断・今後の経過・治療）	① ② ③ ④ ⑤	野原	講義	斜視の診断と治療について見直す30分	模擬症例について課題に取り組む30分
6	斜視の模擬症例③（検査と結果について）	① ② ③	野原	講義	必要な検査について検査法・正常値など30分	模擬症例について課題に取り組む30分
7	斜視の模擬症例③（診断・今後の経過・治療）	① ② ③ ④ ⑤	野原	講義	斜視の診断と治療について見直す30分	模擬症例について課題に取り組む30分
8	弱視の模擬症例①（検査と結果について）	① ② ③	野原	講義	必要な検査について検査法・正常値など30分	模擬症例について課題に取り組む30分
9	弱視の模擬症例①（診断・今後の経過・治療）	① ② ③ ④ ⑤	野原	講義	斜視の診断と治療について見直す30分	模擬症例について課題に取り組む30分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	麻痺性斜視の模擬症例①（検査と結果について）	① ② ③	野原	講義	必要な検査について検査法・正常値など 30分	模擬症例について課題に取り組む30分
11	麻痺性斜視の模擬症例①（診断・今後の経過・治療）	① ② ③ ④ ⑤	野原	講義	麻痺性斜視の診断と治療について見直す 30分	模擬症例について課題に取り組む30分
12	動体視力	⑥	枝川	講義	指定教科書や、専門図書を使用して動体視力について調べる 30分	講義の内容をまとめる30分
13	視機能とスポーツ選手	⑥	枝川	講義	指定教科書を読む。疑問点を挙げ講義の際に質問できるように準備をしておく30分	講義内容をまとめる30分
14	スポーツ眼科1	⑥	枝川	講義	指定教科書を読む。疑問点を挙げ講義の際に質問できるように準備をしておく30分	講義内容をまとめる30分
15	スポーツ眼科2	⑥	枝川	講義	指定教科書を読む。疑問点を挙げ講義の際に質問できるように準備をしておく30分	講義内容をまとめる30分
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
筆記試験にて判定する。 定期試験80%、課題の取り組み20%にて総合評価とする。						
使用教科書						
視能学 第3版 / 小林義治他, --文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 スポーツパフォーマンスと視覚—競技力と眼の関係を理解する— / 日本スポーツ視覚研究会, --ナッパ, 978-4-905168-60-7						
参考図書						
視能学エキスパート視能訓練学 日本視能訓練士協会, 医学書院 ISBN978-4-260-03223-0 必要時にはプリントを配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	毎回の講義開始時に課題の解説を加えフィードバックする					
実務経験をいかした教育内容	大学病院、総合病院での弱視斜視外来での経験をいかして、患者の主訴から何を考え、どのような検査をし、どのような斜視・弱視なのかを判断し、どのような治療をする必要があるのかを模擬症例を提示しながら授業を展開する。					
備考	図書館を利用し多くの参考図書で調べる事が望ましい。必要に応じて文献検索などできるとより理解が深まる。課題担当となった学生は、講義が始まる前に、課題の解答を黒板（ホワイトボード）に記載して説明ができるように準備を整えておくこと。					

授業科目名		担当教員				
公衆衛生学		岸田敏彦				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(15時間)	講義	RHR501		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)(4)視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5)の達成に寄与している。		岸田敏彦(元・北保健センター長)				
授業概要						
公衆衛生学は社会や集団を対象とした医学であり、個人の心身の疾病予防、健康の保持増進に止まらず、高齢社会対策、社会福祉、環境保全ならびに環境汚染防止など、社会全体、時に全地球をも対象とした多岐にわたる内容から構成されている。個人の健康を対象とした臨床医学とは異なる面からも人間及び社会と健康との関わりについて考えるとともに、その実践に必要な知識と技術を学ぶ。						
学修の到達目標						
①公衆衛生学とは何か。公衆衛生学の内容と適応範囲について理解する。 ②公衆衛生学の必要性についてが理解する。 ③日本の健康の現状を知り、公衆衛生学が時代とともに変化、発展していくことを学ぶ。 ④疾病の予防について公衆衛生学の面から考える。 ⑤環境問題について環境衛生学の立場から理解を深める。 ⑥健康増進活動の実態と効果について公衆衛生学的な視野からの考え方を身に付ける。 ⑦公衆衛生学で学んだことを実生活や実務に役立てる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	公衆衛生学概要 公衆衛生学とは 健康とは	①	岸田	講義		授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
2	我が国の健康レベルの現状(1) 人口、人口動態統計等	① ②	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
3	我が国の健康レベルの現状(2) 小児高齢化、平均寿命、健康寿命	② ③	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
4	疾病の原因を探る 疫学(1) 疫学の基礎、手法、疾病予防と疫学	② ③ ④	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
5	疫学(2) 感染症の疫学とその予防対策	② ③ ④	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
6	環境と人 大気、水、環境汚染、食環境など、環境と健康の関り	⑤ ⑥	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
7	健康管理・健康増進活動の展開	④ ⑥ ⑦	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
8	社会保障のシステム 社会保障、社会福祉、医療制度 社会を支える各制度について	③ ④ ⑦	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
<p>評価基準：公衆衛生学に関する基礎知識、理解度及び公衆衛生的思考法の確立の度合いを評価する 評価方法：筆記試験ならびに課題(小テストまたはレポート)による。割合はそれぞれ90%,10%</p>	
使用教科書	
イラスト公衆衛生学 / 石川哲也.--第6版--東京教学社, 2023年, 978-4-808-26089-7	
参考図書	
国民衛生の動向 2025/2026 雑誌コード03854-08 厚生指針 8月号増刊(厚生労働統計協会)、その他随時紹介する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	授業中に提出を求める小テストやレポートに関して、授業の最後に理解しているか回答やレポートの論点を確認する。
実務経験をいかした教育内容	大学での衛生、公衆衛生研究に加えて、長年の衛生行政の関わりから 保健衛生統計、地域保健活動、健康増進計画の企画立案及び調査など、現場における公衆衛生全般の経験をいかし、授業を進めていく。
備考	

授業科目名		担当教員				
社会福祉学		竹内章郎				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	RHR202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5)の達成に寄与している。						
授業概要						
現在、社会福祉を含む社会保障全体が、大きな転換点にある。それは、社会保障を支える福祉国家体制それ自体の「危機」という大きな問題からくるものであるが、同時に、社会保障の基盤である社会権（法）の基本的理解の問題や資本主義市場と社会保障との関係などにも及ぶ問題から生じていることもある。この講義ではそうした大きな問題を、社会福祉の現場実践と関係づけて捉えることを通じて、社会福祉・社会保障の本質を解明したい。事前学習については、毎回、次回講義のための事前学習の範囲を指定する。						
学修の到達目標						
①社会福祉を含む社会保障の現実を、その基礎に立ち返って理解する。 ②大きな制度的問題と社会福祉実践の現実とを結び付けて理解する。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス（全体の進行について）、社会福祉と社会保障との関連について（善き生存としての福祉を中心に）、翻訳の問題など	①	竹内	講義	既配布の資料全体に目を通しておく（120分）	左記の講義内容とこれに関わる資料の再読（120分）
2	日本の社会保障・社会福祉の基礎：憲法25条（13条との関連）：プログラム規定・義務規定/行政裁量の理解、措置と契約、福祉の民営化・市場化など	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
3	権利としての社会保障（1）：権利理解の初発、市民権と社会権との相違、私的所有と市民権、社会保障の権利としての社会権など	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
4	権利としての社会保障（2）：社会権の基礎、憲法14条との関連、社会権実現のための市民権の一定の制限など	①	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
5	優生思想・優生学と社会保障・社会福祉との関連：社会保障制度の中に優生思想、社会福祉創始達の優生思想など	①	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
6	貧困問題の大きさと生活保護制度、社会保障・社会福祉の財源問題	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
7	障がい者福祉（障害者総合支援法を中心に、障害者差別解消法等との関連させて）、社会福祉事業法の「改正」としての社会福祉法	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
8	高齢者「福祉」（公的介護保険法を中心に、老人福祉法及び高齢者雇用促進法などとも関連させて）	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）

評価基準・評価方法	
最終のレポートによって評価する。講義内容の正確な理解に加えて、内容を表現する文章力も評価の対象とする。	
使用教科書	
教科書は使用せず、竹内が作成したレジюме及び資料にそって講義を行う。	
参考図書	
必要に応じて、講義中に紹介する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義中に、適宜、質疑応答を行う。
実務経験をいかした教育内容	
備考	資料及びレジюмеは、すべて、最初の講義時に配布する。

授業科目名		担当教員				
幾何光学		仲澤和馬				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(15時間)	講義・演習	RHR503		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。						
授業概要						
近視や乱視の検査や、緑内障や白内障などの眼疾患に接し、眼底の写真を撮影する際に、光(目に見える可視光)がどのように振る舞うかについての知見は、大きな強みになる。講義では、まず光の反射・屈折の基本を理解し、鏡や球面レンズ、また複数枚重ねたレンズのできる像の位置を知る方法を修得する。その後、乱視の原因でもある収差について学修します。						
学修の到達目標						
①光の特徴・性質を理解できる。 ②反射・屈折の性質を述べることができる。 ③鏡、球面レンズや複数枚重ねたレンズを通してできる像の位置を求めることができる。 ④収差の性質について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	光の色と明るさ(波動光学との相違・波長/振幅)、単位の乗数、平面角、立体角	①	仲澤	講義 演習	配布資料の関連するところを読み、疑問点を明らかにする(60分)	復習レポートを準備しながら、関連事項や講義の復習をする(120分)
2	片対数・両対数グラフの読み方、光の反射・屈折・全反射	① ②	仲澤	講義 演習	配布資料の関連するところを読み、疑問点を明らかにする(60分)	復習レポートを準備しながら、関連事項や講義の復習をする(120分)
3	プリズム、点光源、屈折による結像(実光源、虚光源、実像、虚像)、凸球面および凹球面による屈折・結像、第1・第2焦点、レンズの公式	② ③	仲澤	講義 演習	配布資料の関連するところを読み、疑問点を明らかにする(60分)	復習レポートを準備しながら、関連事項や講義の復習をする(120分)
4	作図方法、凹球面による屈折・結像	③	仲澤	講義 演習	配布資料の関連するところを読み、疑問点を明らかにする(60分)	復習レポートを準備しながら、関連事項や講義の復習をする(180分)
5	Vergenceの基本式と演習	③	仲澤	講義 演習	配布資料の関連するところを読み、疑問点を明らかにする(60分)	復習レポートを準備しながら、関連事項や講義の復習をする(180分)
6	薄いレンズの組合せによる屈折と結像Ⅰ(凸レンズ+凸レンズ)	③	仲澤	講義 演習	配布資料の関連するところを読み、疑問点を明らかにする(60分)	復習レポートを準備しながら、関連事項や講義の復習をする(180分)
7	薄いレンズの組合せによる屈折と結像Ⅱ(凸レンズ+凹レンズ)	③	仲澤	講義 演習	配布資料の関連するところを読み、疑問点を明らかにする(60分)	定期試験に備え、復習レポートや講義の関連部分を復習する(180分)
8	六主要点、レンズの倍率、ザイデル5収差、色収差、顕微鏡・望遠鏡の構造	④	仲澤	講義 演習	配布資料の関連するところを読み、疑問点を明らかにする(60分)	定期試験に備え、復習レポートや講義の関連部分を復習する(240分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
講義内容を復習するためのレポート（復習レポート）の理解度を重視する。定期試験（60%）、復習レポート（40%）の成績で判断して評価する。	
使用教科書	
予習・復習に関連する資料を、教科書代わりに事前に配布する。	
参考図書	
随時、提示します。	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	2回目の講義以降に提出される復習レポートで課題が見られた場合には、随時講義で解説する。また基本的に復習レポート提出時に解答例を配布するので、さらなる復習に役立つこと。質問等は、講義中あるいは終了後に受け付ける。また、講義内容に関する質問・要望を記入する用紙を配布するので、講義終了時に提出すること。次回の講義開始前に回答する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	※2024年度以降入学生対象 事前学習では、新しく出てくる単語などを、教科書代わりに配布する資料、書籍やインターネットで調べる。覚えることの多くは、文章ではなく図に描いて説明できるようにすること。 電子メールアドレス：nakazawa.kz@gmail.com

授業科目名		担当教員				
医学概論		東 華岳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	RHR204		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。						
授業概要						
医学概論は医学の基礎をなす諸領域を横断的に理解し、医療人としての根幹を築くことを目的とする。医学の歴史的歩みから、生体の正常・異常の概念、さらには生命倫理や現代の保健医療制度に至るまでを包括的に学習する。これらの知見を通じて、単なる知識の習得に留まらず、社会における医学の役割と使命を考察する力を養う。						
学修の到達目標						
① 医学・医療の歴史の変遷および現代における現状と課題について説明できる。 ② 健康と疾病の定義、正常と異常の概念、生命倫理の基本原則、日本の医療制度の仕組みを説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	医学の定義	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
2	医学の歴史	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
3	人体の成り立ち	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
4	健康と病気	②	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
5	疾患の分類	②	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
6	主要な疾患	②	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
7	医学倫理と医療制度	②	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
8	医学・医療の現状と問題点	①	東	講義	授業計画に沿って教科書の内容を予習する。(120分)	講義内容を復習し、その要点を整理してまとめる。(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
知識の修得状況、理解度、およびそれらに基づく思考力・判断力を総合的に評価する。 定期試験（100%）	
使用教科書	
コメディカルのための専門基礎分野テキスト 医学概論 改訂8版 / 北村 諭. --中外医学社, 2023年, 978-4-498-07919-9	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	定期試験の模範解答を掲示する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	

授業科目名		担当教員				
障害者概論		舟橋和宏				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義・実習	RHR105		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		舟橋和宏(小・中・特別支援学校教員)				
授業概要						
障がいのある人々について最小限知っておくべき障がいの種別と程度、ライフサイクルに応じた支援の概要を知る。障がい児の療育や教育の現場を見学し、障がい児の実情を肌で感じレポートにまとめる。具体例を通して考え、交流することで、障がいのある人々の問題を自分とのかかわりでもとらえる。						
学修の到達目標						
障がいの種別や特性についての理解を深めるとともに、障がいのある人々への適切な支援や対応を心がけることができる。 知識：①障がいの種別や特性について理解を深めることができる。 技能：②考えをまとめ、発表することができる。周りの考えを知ること、考えを深めることができる。 態度：③障がいのある人との適切な対応を心がけることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	障がいについて 「障害」と「障がい」を考える、用語から	①	舟橋	講義		・授業のまとめを読む。 ・キーワードを文章にまとめる。(30分)
2	障がい理解の動向 障がい種別と程度、A校長の対応を考える、「障害者分類」から「生活機能分類」に	① ②	舟橋	講義	配付の新聞記事(2008.10)を読み、感想(気付いたこと、疑問等)をまとめる。(30分)	・授業のまとめを読む。 ・キーワードを文章にまとめる。(30分)
3	身体障がい① Aさんが通う学校について考える、視覚障がいと聴覚障がいの基礎知識、理解と支援	① ②	舟橋	講義	配付資料①②③を読み、感想をまとめる。(30分)	・授業のまとめを読む。 ・キーワードを文章にまとめる。(30分)
4	身体障がい② 池江さんのツイート文から考える、肢体不自由と病弱の基礎知識、理解と支援	① ②	舟橋	講義	配付資料①を読み、感想をまとめる。(30分)	・授業のまとめを読む。 ・キーワードを文章にまとめる。(30分)
5	知的障がい 知的障がいの基礎知識、知的障がい児の教科書を考える、指導の具体から、理解と支援	① ②	舟橋	講義	知的障がい特別支援学校・特別支援学級の教科書について調べる。(30分)	・授業のまとめを読む。 ・キーワードを文章にまとめる。(30分)
6	精神障がい・発達障がい 手帳交付状況より、女子大生殺人事件を考える、精神障がい及び発達障がいの基礎知識、理解と支援	① ②	舟橋	講義	配付の新聞記事(2015.5)を読み、感想(気付いたこと、疑問等)をまとめる。(30分)	・授業のまとめを読む。 ・キーワードを文章にまとめる。(30分)
7	障がい者に関わる福祉関連法 障がいのモデルの変遷、現福祉関連法の背景を考える、「障害者差別解消法」について、主な福祉関連法の概要	① ②	舟橋	講義	配付資料「障害者の権利に関する条約」を読み、感想をまとめる。(30分)	・授業のまとめを読む。 ・キーワードを文章にまとめる。(30分)
8	障がい児・者と人権 人権とは、障がい者に関する人権問題、Aさんについて考える(岐阜市人権啓発Cの出前講座を含む)	① ②	舟橋	講義	配付の新聞記事(2020.7)を読み、感想(気付いたこと、疑問等)をまとめる。(30分)	・授業のまとめを読む。 ・キーワードを文章にまとめる。(30分)
9	合理的配慮と基礎的環境整備 A議員の国会初質問から考える、合理的配慮とは、合理的配慮の背景	① ②	舟橋	講義	配付の新聞記事(2019.11)を読み、感想(気付いたこと、疑問等)をまとめる。(30分)	・授業のまとめを読む。 ・キーワードを文章にまとめる。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	施設見学・障がい者の就労と高齢化に対する支援 施設見学の注意事項、ライフサイクルとは、障がい者雇用問題を考える、就労者支援、生涯学習推進、高齢化問題	① ②	舟橋	講義	配付の新聞記事(2018.10)を読み、感想(気付いたこと、疑問等)をまとめる。(30分)	・授業のまとめを読む。 ・キーワードを文章にまとめる。(30分)
11	施設見学① 岐阜県立岐阜盲学校 見学レポート	② ③	舟橋	実習	「施設見学の注意事項」に目を通し、見学に必要なものを準備する。(60分)	
12	施設見学① 岐阜県立岐阜盲学校 見学レポート	② ③	舟橋	実習		・施設見学を終えてのレポートを書く。(90分)
13	施設見学② 岐阜市立岐阜特別支援学校 見学レポート	② ③	舟橋	実習	「施設見学の注意事項」に目を通し、見学に必要なものを準備する。(60分)	
14	施設見学② 岐阜市立岐阜特別支援学校 見学レポート	② ③	舟橋	実習		・施設見学を終えてのレポートを書く。(90分)
15	医療従事者論 山本おさむ「どんぐりの家」から、障がい者大量殺害を考える、バーンアウトとその対応	① ②	舟橋	講義	回覧の「どんぐりの家」を読み、気付いたことや疑問点をメモする。(90分)	・授業のまとめを読む。 ・キーワードを文章にまとめる。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
筆記試験(80%)と施設見学のレポート(20%)で評価する。						
使用教科書						
教科書 なし 毎回レジュメを配布						
参考図書						
全国特別支援学校長会編著「フィリア」 ジアース教育新社2020 宮本信也他監修「特別支援教育の基礎」(改訂版) 東京書籍2017 山本おさむ「どんぐりの家」 小学館1993 「どんぐりの家」のデッサン 岩波書店2018						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	個々のレポートの誤りの訂正、疑問への回答などを添削し、4段階評価し返却する。 各回の授業終了時に、本時のキーワードを使用した箇条書きのまとめの発表を取り入れる。					
実務経験をいかした教育内容	小・中学校や特別支援学校等での教員経験(38年)から障がいのある児童生徒や保護者の理解や支援の在り方等、また人権擁護に関する活動(12年目)から学んだ障がいのある方の現状と課題等を踏まえ、支援者に必要な思考力・実践力が身に付けられるよう授業を展開していく。					
備考						

授業科目名		担当教員				
視覚障害リハビリテーション		棚橋公郎・池谷尚剛・川瀬和秀 (代表教員 棚橋公郎)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義	RHR506		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		棚橋公郎(視覚障害リハビリテーション指導者)、池谷尚剛(視覚障害リハビリテーション指導者)、川瀬和秀(医師)				
授業概要						
医療の発達により高齢社会となっている現在、生活習慣病や疾病により、中途視覚障害が増加している。そのため、眼科においてこの視覚障害者(ロービジョン)に対するケアの重要度も増している。この視覚障害リハビリテーションでは、視覚入力系のしくみや視覚以外の情報の取り入れを理解し、視覚障害者(全盲・弱視)のリハビリテーション、ロービジョンケアのあり方、眼鏡の基礎と支援の在り方を学習する。						
学修の到達目標						
①視覚障害者・児の現状を理解し、医学的見地から視覚障害の課題を理解できる。 ②重複障害における検査の留意点を理解できる。 ③点字を学習することにより視覚障害の理解を深められる。 ④視覚障害者・児を取り巻く福祉・教育の制度について理解し、医学リハの基本を習得できる。 ⑤制度における補装具や日常生活用具について理解できる。 ⑥視覚障害(弱視)疑似体験を通じて、医療現場における視覚障害当事者への支援の在り方を理解できる。 ⑦視覚障害に関係する施設の見学と視覚障害当事者の心理を理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ロービジョンケアの実際①	①	川瀬	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
2	ロービジョンケアの実際②	②	川瀬	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
3	点字学習①	③	棚橋	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
4	点字学習②	③	棚橋	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
5	視覚障害の制度①	④	池谷	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
6	視覚障害の制度②	④	池谷	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
7	視覚障害の制度③	⑤	棚橋	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
8	視覚障害の制度④	⑤	棚橋	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
9	視覚障害者・児の支援法①	⑥	池谷	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	視覚障害者・児の支援法②	⑥	池谷	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
11	視覚障害者・児の支援法③	⑥	池谷	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
12	視覚障害者・児の支援法④	⑥	池谷	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
13	社会資源の理解①	⑦	棚橋	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
14	社会資源の理解②	⑦	棚橋	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
15	社会資源の理解③	⑦	棚橋	講義	新聞等で、視覚障害者の記事に注意を配ること。(30分)	配付資料の理解に努めるとともに、課題レポートを作成する。(30分)
	課題提出					
評価基準・評価方法						
課題提出（50%）、レポート及び小テスト（50%）で総合的に評価する。						
使用教科書						
講師が適宜配布する。						
参考図書						
同行援護従業者養成研修テキスト（中央法規出版）						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法						
実務経験をいかした教育内容	病院、視覚障害者生活情報センター勤務の実務経験により、医療職における現場での実際を想定し、施設見学を含む講義を展開する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
多職種連携論		野原尚美・熊田ますみ・亀山咲子 (代表教員 野原尚美)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(15時間)	講義・演習	RHR507		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美(視能訓練士)熊田ますみ(看護師)亀山咲子(理学療法士)) 盲学校教員				
授業概要						
地域包括ケアを実践する上では、医学的な視点のみならず、対象者の心理的・社会的側面にも配慮した医療が求められる。そのため、チーム医療は不可欠な手段であり、より質の高いサービスを提供するためには、多職種との有機的な連携と協働が重要となる。本授業では、専門職間の連携と協働に関する基礎知識や理論、連携を推進するためのマネジメントの実際について、それぞれの専門的立場から考察し、多職種連携が果たす役割や機能について学ぶ。さらに、模擬患者を用いた演習を通して、多職種が連携して退院時カンファレンスを実施するプロセスを体験し、各職種の役割理解や効果的なコミュニケーションの在り方について実践的に学ぶ。						
学修の到達目標						
①眼科における多職種連携について理解できる。 ②看護師の職種について理解できる。 ③理学療法士の職種について理解できる。 ④盲学校との連携について考えることができる。 ⑤多職種連携の必要性を、具体的に述べるができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	眼科における多職種連携①	①	野原	講義	多職種連携とは何か調べる(120分)	講義内容の振り返り(120分)
2	看護師の仕事と他職種連携①		熊田	講義	看護師の仕事について調べる(120分)	講義内容について振り返る(120分)
3	理学療法士の仕事と他職種連携①	③	亀山	講義	理学療法士の仕事について調べる(120分)	講義内容を振り返る(120分)
4	多職種連携の実際	⑤	野原	グループワーク	事前に配布される資料を読み、目的・内容・スケジュールを把握する(120分)	グループワークの振り返りをし、視能訓練士は多職種連携にどのように関わることができるのか考える(120分)
5	多職種連携の実際	⑤	野原	講義	事前に配布される資料を読み、目的・内容・スケジュールを把握する(120分)	グループワークの振り返りをし、視能訓練士は多職種連携にどのように関わることができるのか考える(120分)
6	看護師の仕事と他職種連携②	② ⑤	熊田	講義	看護師は多職種連携にどのように関わることができるのか考える(120分)	講義後に出題された課題について期限までに提出する(120分)
7	理学療法士の仕事と他職種連携②	③ ⑤	亀山	講義	理学療法士は多職種連携にどのように関わることができるのか考える(120分)	講義後に出題された課題について期限までに提出する(120分)
8	眼科と盲学校との連携	④	野原・盲学校教員	講義	盲学校について調べる(120分)	盲学校とどのように連携をとることができるのかを考える(120分)

評価基準・評価方法	
各講師に出題された課題で評価する（1講師あたり25%とする）	
使用教科書	
参考図書	
講義内で紹介する	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	課題を返却しフィードバックする
実務経験をいかした教育内容	病院で勤務した経験を活かし、現場を想定しながら授業を展開する
備考	

授業科目名		担当教員				
視機能療法学概論		野原尚美				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	RB0101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美(視能訓練士)				
授業概要						
視機能療法学(視能矯正学)の学問体系と視能訓練士の倫理・教育・資質についての知識の修得をおこなう。講義は指定教科書に沿っておこなう。						
学修の到達目標						
①視能矯正の理念について理解できる ②視能矯正の歴史が理解できる ③視能訓練士の定義、位置づけ、業務について説明することができる ④視能訓練士の倫理・教育・資質について理解することができる ⑤視能訓練士になるために必要な人間性とは何かを述べるすることができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	視能矯正の理念 P198-201	①	野原	講義	教科書の該当ページを読み内容をまとめること 120分	講義後に与えられた課題を次回の講義までに実施すること 120分
2	視能矯正の歴史 P201-204	②	野原	講義	教科書の該当ページを読み内容をまとめること 120分	講義後に与えられた課題を次回の講義までに実施すること 120分
3	視能矯正の展開1 P204-209	③	野原	講義	教科書の該当ページを読み内容をまとめること 120分	講義後に与えられた課題を次回の講義までに実施すること 120分
4	視能矯正の展開2 P204-209	③	野原	講義	教科書の該当ページを読み内容をまとめること 120分	講義後に与えられた課題を次回の講義までに実施すること 120分
5	視能訓練士の倫理 P209-212	④	野原	講義	教科書の該当ページを読み内容をまとめること 120分	講義後に与えられた課題を次回の講義までに実施すること 120分
6	視能訓練士の教育、資質と適正 P212-214	④	野原	講義	教科書の該当ページを読み内容をまとめること 120分	講義後に与えられた課題を次回の講義までに実施すること 120分
7	視能訓練士の活躍の場	⑤	野原	講義	授業計画の内容について調べ学習すること120分	講義後に与えられた課題を次回の講義までに実施すること 120分
8	診療報酬と保険点数について	⑤	野原	講義	授業計画内容について調べ学習をする 120分	講義後に与えられた課題を実施すること 120分
	定期試験					

評価基準・評価方法	
レポート100%	
使用教科書	
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8	
参考図書	
適宜紹介する。 必要時にはプリントを配布する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	課題を通してフィードバックを行う
実務経験をいかした教育内容	大学病院や総合病院で臨床経験を重ねた経験により、視能矯正の歴史的背景に触れながら、これから求められる視能訓練士像とは何かを考えるように授業を展開する。
備考	

授業科目名		担当教員				
基礎視機能矯正学Ⅰ（眼球運動、他）		丹沢慶一・國武実里（代表教員 丹沢慶一）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	RB0202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一（視能訓練士）・國武実里（視能訓練士）				
授業概要						
<p>外眼筋の作用と眼球運動、および開散輻輳と屈折、調節、AC/A比に係る機構機能について学ぶ。本科目で学習した知識は、後発して開講される視機能療法学分野の科目の理解に必要である。</p> <p>授業は講義形式で、教科書に沿って進行する。講義中は重要なポイントを図説・解説し、必要だと思われる情報を適宜加える。授業後は自身でも教科書を精読し、関連する事柄について成書等で調べ、その中から情報を拾い上げ整理するといった復習が必須である。この復習のプロセスは、知識の定着とともに、論理的思考力の育成を目的としている。復習実施の程度を測るために、小試験を適宜行う。</p>						
学修の到達目標						
<p>①外眼筋の作用と眼球運動の機構機能について、論理的に述べることができる。</p> <p>②輻輳・開散と屈折、調節、AC/A比の機構機能について、論理的に述べるができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	外眼筋の単独作用（眼球模型作成）【教科書pp179】	①	丹沢 國武	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
2	単眼運動とその法則、両眼共同運動（眼球模型作成）【教科書pp182】	①	丹沢 國武	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
3	共同筋と拮抗筋【教科書pp183】	①	丹沢 國武	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
4	外眼筋の神経支配、固視微動、自己受容器、筋の興奮と収縮【教科書pp184-187】	①	丹沢 國武	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
5	輻輳開散、調節の種類【教科書pp188-192】	②	丹沢 國武	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
6	輻輳開散、調節の測定【教科書pp192-193】	②	丹沢 國武	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
7	輻輳開散、調節の障害【教科書pp194-195】	②	丹沢 國武	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
8	AC/A比【教科書pp195-197】	②	丹沢 國武	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
	定期試験（筆記試験）					

評価基準・評価方法	
【定期試験】60% 【小試験】40%	
使用教科書	
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8	
参考図書	
<ul style="list-style-type: none"> ・視能学エキスパート 視能訓練学 ・図書館で適切な成書を探し, 参考書として用いること. 	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小試験の実施後に解答解説をおこなう.
実務経験をいかした教育内容	それぞれの知識が、視能訓練士として眼科外来でどのように役立つのかといった事柄を含めて説明する。
備考	

授業科目名		担当教員				
基礎視機能矯正学Ⅱ（眼位、両眼視）		丹沢慶一・國武実里（代表教員 丹沢慶一）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	RB0203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一（視能訓練士）・國武実里（視能訓練士）				
授業概要						
<p>両眼視機能に関わる機構機能について学ぶ。本科目で学習した知識は、後発して開講される視機能療法学分野の科目の理解に必要である。</p> <p>授業は講義形式で、教科書に沿って進行する。講義中は重要なポイントを図説・解説し、必要だと思われる情報を適宜加える。</p> <p>授業後は自身でも教科書を精読し、関連する事柄について成書等で調べ、その中から情報を拾い上げ整理するといった復習が必須である。この復習のプロセスは、知識の定着とともに、論理的思考力の育成を目的としている。復習実施の程度を測るために、小試験を適宜行う。</p>						
学修の到達目標						
<p>① 正常両眼視機能について説明することができる</p> <p>② 両眼視機能の異常について考えることができる</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	両眼視の定義、正常両眼視機能 視能学ページ：171-172	①	丹沢 國武	講義	教科書の該当ページを読んで理解できない用語の意味を調べておくこと (120分)	講義内容を見直し分からない問題について解決しておくこと (120分)
2	ホロプタ円、Panum融像圏 視能学ページ：172-173	①	丹沢 國武	講義	教科書の該当ページを読んで理解できない用語の意味を調べておくこと (120分)	講義内容を見直し分からない問題について解決しておくこと (120分)
3	同時視、融像、深径覚 視能学ページ：173-174	①	丹沢 國武	講義	教科書の該当ページを読んで理解できない用語の意味を調べておくこと (120分)	講義内容を見直し分からない問題について解決しておくこと (120分)
4	両眼視機能の発達、両眼視機能成立のための条件 視能学ページ：174	①	丹沢 國武	講義	教科書の該当ページを読んで理解できない用語の意味を調べておくこと (120分)	講義内容を見直し分からない問題について解決しておくこと (120分)
5	眼位、複視の種類 視能学ページ：169-170、175	②	丹沢 國武	講義	教科書の該当ページを読んで理解できない用語の意味を調べておくこと (120分)	講義内容を見直し分からない問題について解決しておくこと (120分)
6	眼位と複視の起こり方 視能学ページ：174-176	②	丹沢 國武	講義	教科書の該当ページを読んで理解できない用語の意味を調べておくこと (120分)	講義内容を見直し分からない問題について解決しておくこと (120分)
7	斜視における両眼視機能の異常 視能学ページ：177	②	丹沢 國武	講義	教科書の該当ページを読んで理解できない用語の意味を調べておくこと (120分)	講義内容を見直し分からない問題について解決しておくこと (120分)
8	網膜対応異常 視能学ページ：177-178	②	丹沢 國武	講義	教科書の該当ページを読んで理解できない用語の意味を調べておくこと (120分)	講義内容を見直し分からない問題について解決しておくこと (120分)
	定期試験（筆記試験）					

評価基準・評価方法	
講義主体となるため知識の理解、定着を測定するための小テスト、筆記試験にて判定する。 定期試験（筆記）60%、小テスト40%にて総合評価とする。	
使用教科書	
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8	
参考図書	
適宜紹介するが、自身でも図書館で探し参考にすること。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義の中で課題の開設を加えたり、小試験の解説を加えフィードバックする。
実務経験をいかした教育内容	それぞれの知識が、視能訓練士として眼科外来でどのように役立つのかといった事柄を含めて説明する。
備考	

授業科目名		担当教員				
視覚生理学Ⅱ（応用）		松井康樹				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	RB0104		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		松井康樹（視能訓練士）				
授業概要						
ヒトが外界から得る情報の80%は視覚から得ていると言われている。「視覚生理学」では、視覚、つまり「見る」システムの基本的な知識を学ぶ。眼球の中の網膜にうつった光が電気信号に変換され、大脳の視中枢に至る視覚伝導路の生理、網膜と視覚中枢内での階層的な構造と機能に基づく形態覚、色覚、光覚、立体視、運動視といった各種属性の神経機構に加えて、視野、電気生理学の基本的なことについて学ぶ。「視覚生理学Ⅱ」では、色覚、光覚、電気生理について発展的にディスカッションしながら学ぶ。						
学修の到達目標						
①色の特性について判る ②色覚異常の種類と特徴について判る ③色覚検査について判る ④光覚について判る ⑤暗順応検査と夜盲症について判る ⑥眼科の電気生理学的検査の種類と適応等が判る ⑦ERGの種類と測定方法、異常波形と疾患が判る ⑧VEPの種類と測定方法、結果について判る ⑨EOGの種類と測定方法、異常の種類と疾患について判る ⑩ENGの種類と測定方法、異常の種類と疾患について判る ⑪EMGの種類と測定方法、異常の種類と疾患について判る						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	限界フリッカ値、色覚、色についての基礎知識、メカニズムと生理、P74-78	① ②	松井	講義	熟読すること(120分)	必要事項を覚え理解すること(120分)
2	色覚異常 P78-82	③	松井	講義	熟読すること(120分)	必要事項を覚え理解すること(120分)
3	色覚検査法 P82-85	③	松井	講義	熟読すること(120分)	必要事項を覚え理解すること(120分)
4	光覚 網膜の光化学、分光視感度 明順応、昼盲、暗順応、夜盲、P86-89	④ ⑤	松井	講義	熟読すること(120分)	必要事項を覚え理解すること(120分)
5	電気生理学 必要な基礎知識 P90-91	⑥	松井	講義	熟読すること(120分)	必要事項を覚え理解すること(120分)
6	電気生理学 ERG P91-98	⑦	松井	講義	熟読すること(120分)	必要事項を覚え理解すること(120分)
7	電気生理学 VEP 視能学P98-101	⑧	松井	講義	熟読すること(120分)	必要事項を覚え理解すること(120分)
8	電気生理 EOG、ENG、EMG P101-105	⑨ ⑩ ⑪	松井	講義	熟読すること(120分)	必要事項を覚え理解すること(120分)
	筆記試験					

評価基準・評価方法	
筆記試験60% 小テスト40%	
使用教科書	
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 現代の眼科学 / 所 敬監修.--金原出版, 978-4-307-35168-3	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テスト実施
実務経験をいかした教育内容	視能訓練士としての実務経験を生かした視覚生理学について講義する
備考	

授業科目名		担当教員				
生理光学Ⅱ（眼球光学）		四之宮佑馬				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	RB0105		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		四之宮佑馬（視能訓練士）				
授業概要						
視能訓練士として必要な屈折・調節異常とその矯正について学ぶ。屈折異常に関連する検査の原理について理解し、検査手順と留意点について基本的な知識を獲得する。 本科目は生理光学演習Ⅰ、生理光学演習Ⅱの内容に直接関係する科目である。担当教員は実務経験とopticsの原理に基づき、講義形式で教授する。						
学修の到達目標						
<学修の到達目標> ①屈折・調節の異常について論理的に述べることができる。 ②屈折・調節の検査について論理的に述べるができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	近視，遠視，乱視 【(1)教科書pp117-122】	①	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
2	不同視・不等像視，老視 【(1)教科書pp122-125】	①	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
3	オートレフラクトメーター，検影法 【(1)教科書pp126-130，(2)80-88，(3)54-67】	②	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
4	自覚的屈折検査・レンズ交換法（雲霧法）【(2)教科書57-61，(3)74-79】	②	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
5	自覚的屈折検査・レンズ交換法（クロスシリンダー法）【(2)教科書pp61-62，(3)82-87】	②	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
6	オフサルモメーター，角膜形状解析，調節検査【(1)教科書pp131-140，(2)135-143，(3)89-93】	②	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
7	レンズメーター，眼鏡【(1)教科書pp141-147，(2)106-108】	②	四之宮	講義	教科書を一読：30分	小テスト予告に沿って復習：180分
8	コンタクトレンズ，眼内レンズ，屈折矯正手術【教科書pp147-158】	①	四之宮	講義	教科書を一読：30分	配布問題集の沿って総復習：300分
	定期試験					

評価基準・評価方法	
【定期試験】100%、小テストの結果に基づき最大±10点を加減する。	
使用教科書	
視能学第3版 / 小林義治 他. --文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 視能学エキスパート 視能検査学 第2版 / 公益財団法人 日本視能訓練士協会 (監修). --和田直子他--医学書院, 2023年, 978-4-260-05043-2 眼科検査ガイド 第3版 / 根木昭 (監修). --飯田知弘他--文光堂, 978-4-8306-5609-5	
参考図書	
眼光学の基礎、西信元嗣、金原出版、1990年 新しい眼光学の基礎、西信元嗣、金原出版、2008年 屈折異常とその矯正改訂第7版、所敬、金原出版、2019年	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストの実施後に解答・解説をおこなう。
実務経験をいかした教育内容	担当教員は視能訓練士(2003年免許取得)として眼科臨床業務経験を有し、眼科臨床での重要度に基づき効率的に専門性の高い講義を展開する。
備考	生理光学は理解の積み重ねが大切です。講義欠席者はその内容について、必要に応じて確認に来てください。

授業科目名		担当教員				
生理光学Ⅲ（屈折・調節）		磯谷尚輝・関戸昌論（代表教員 磯谷尚輝）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	2単位(30時間)	講義	RB0406		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		磯谷尚輝（視能訓練士）、関戸昌論（視能訓練士、眼鏡作成技能士）				
授業概要						
視能訓練士の外来業務の遂行に必要な光学・眼光学の知識を修得する。講義は指定教科書に沿ったスライドを作成し、問題形式で講義を進める。また講義後にスライド資料の配布を行う。						
学修の到達目標						
①視能訓練士の業務遂行に必要な光学・眼光学に関して、解説することができる。 ②視能訓練士の業務遂行に必要な光学・眼光学の計算を正確におこなうことができる。 ③視能訓練士の業務遂行に必要な眼鏡光学について理解することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	眼光学検査機器①	① ②	磯谷	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し(180分)
2	眼光学検査機器②	① ②	磯谷	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し(180分)
3	収差①	① ②	磯谷	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し(180分)
4	収差②	① ②	磯谷	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し(180分)
5	調節検査	① ②	磯谷	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し(180分)
6	近視進行抑制治療	① ②	磯谷	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し(180分)
7	屈折矯正手術	① ②	磯谷	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し(180分)
8	コンタクトレンズ	① ②	磯谷	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し(180分)
9	眼内レンズ度数計算①	① ②	磯谷	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し(180分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	眼内レンズ度数計算②	① ②	磯谷	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し (180分)
11	眼内レンズ	① ②	磯谷	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し (180分)
12	眼鏡の特性理解と処方①	③	関戸	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し (180分)
13	眼鏡の特性理解と処方②	③	関戸	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し (180分)
14	眼鏡の特性理解と処方③	③	関戸	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し (180分)
15	眼鏡の特性理解と処方④	③	関戸	講義	教科書の該当箇所 (60分)	教科書及び講義資料 の見返し (180分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
〔定期試験〕90%, 〔各講義問題〕10%						
使用教科書						
視能学エキスパート 光学・眼鏡 / 日本視能訓練士協会監修.--医学書院, 2023年, 978-4-260-05044-9						
参考図書						
屈折異常とその矯正 (金原出版) 第7版 2019/1/29 ISBN4307351703 978-4307351706 必要時にはプリントを配布する。						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	毎講義の前に前回の講義について質問の時間を設け、各講義においては十分な解説時間を設ける。講義のスライドについては各生徒に回答させるような問題形式で作成し知識の定着を図る。					
実務経験をいかした教育内容	角膜専門、屈折矯正専門の施設での実務経験を活かし、最新の検査機器や治療について実技における注意点も踏まえたスライドを作成し講義を行う。					
備考						

授業科目名		担当教員				
薬理学		中村信介				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	RB0407		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		中村 信介				
授業概要						
薬理学は、薬がどこに作用してどのようなメカニズムで効果を発揮するかを研究する学問であり、生理学、解剖学、生化学などの基礎的な知識とともに病態生理、薬物治療に関連する重要な科目である。まずは体の仕組み、各臓器や器官の働きを理解し、その上で生体内のホルモン・神経伝達物質・オータコイドなどの物質の働き、それらの刺激を受容する受容体を理解し、薬物による作用・拮抗作用について学ぶ。						
学修の到達目標						
①薬の基本的な性質、作用、概念を説明できる ②自律神経系・感覚神経系による神経支配が説明できる。 ③免疫とアレルギーについてが説明できる。 ④生体の恒常性(ホメオスタシス)ならびにそれを維持するための薬物療法が説明できる。 ⑤眼科領域で使用される薬の作用機序ならびに副作用が説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	薬理学の基礎： 薬物療法の基本、受容体について	①	中村	講義	教科書の該当箇所を事前に目を通しておくこと。(60分)	教科書およびプリント記載内容を復習すること。記述式テスト用に対策ノートを作ると良い。(90分)
2	薬理学の基礎： 用量反応曲線、作用薬と拮抗薬の作用点・作用機序	①	中村	講義	教科書の該当箇所を事前に目を通しておくこと。(60分)	教科書およびプリント記載内容を復習すること。記述式テスト用に対策ノートを作ると良い。(90分)
3	薬理学の基礎： 神経伝達物質、体内動態、薬物の効果に影響を及ぼす要因	① ④	中村	講義	教科書の該当箇所を事前に目を通しておくこと。(60分)	教科書およびプリント記載内容を復習すること。記述式テスト用に対策ノートを作ると良い。(90分)
4	薬理学の基礎： 用量反応曲線、作用薬と拮抗薬の作用点・作用機序、薬物の適用方法、副作用、処方箋、新薬開発の流れ、ジェネリック医薬品	①	中村	講義	教科書の該当箇所を事前に目を通しておくこと。(60分)	教科書およびプリント記載内容を復習すること。記述式テスト用に対策ノートを作ると良い。(90分)
5	末梢神経系： 神経とは、静止膜電位、活動電位の発生、神経興奮の伝導、シナプス	② ④	中村	講義	教科書の該当箇所を事前に目を通しておくこと。(60分)	教科書およびプリント記載内容を復習すること。記述式テスト用に対策ノートを作ると良い。(90分)
6	末梢神経系： コリン作動薬、局所麻酔薬の作用機序	② ④	中村	講義	教科書の該当箇所を事前に目を通しておくこと。(60分)	教科書およびプリント記載内容を復習すること。記述式テスト用に対策ノートを作ると良い。(90分)
7	免疫系： 免疫とは、抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬、抗炎症薬、感染症とは、抗感染症薬、抗菌点眼薬	③ ④	中村	講義	教科書の該当箇所を事前に目を通しておくこと。(60分)	教科書およびプリント記載内容を復習すること。記述式テスト用に対策ノートを作ると良い。(90分)
8	免疫系： 感染症とは、抗感染症薬、抗菌点眼薬 眼科用薬について	③ ④ ⑤	中村	講義	教科書の該当箇所を事前に目を通しておくこと。(60分)	教科書およびプリント記載内容を復習すること。記述式テスト用に対策ノートを作ると良い。(90分)
	定期試験 筆記	① ～ ⑤				

評価基準・評価方法	
基本的に期末試験の成績で評価する。ただし、状況に応じて中間試験を課すこともある。その場合は中間試験及び期末試験の成績で評価する。	
使用教科書	
系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学 / 吉岡 ほか. --第15版--医学書院, 2022年, 978-4-260-04716-6	
参考図書	
解剖生理学がわかる 飯島治之著 技術評論社	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	必要に応じて講義あるいはメールで対応する。
実務経験をいかした教育内容	眼科基礎分野における研究歴を基に、眼科分野における基礎研究及び臨床研究や視能訓練士が必要とされる職務について紹介する。
備考	外部講師のため、質問などはメールにて連絡ください。その際は件名に「平成医療短期大学視能訓練学科薬理学について」と記載ください。メールは携帯のメールアドレスではなく、大学のメールアドレスから送信すること。本講義を受講して、薬の作用と副作用の概論、点眼薬の目的と作用・副作用を理解すること。 メールアドレス：nakamuras@gifu-pu.ac.jp

授業科目名		担当教員				
基礎視機能矯正学特論Ⅰ(解剖と生理、視覚生理)		松井康樹・野原尚美・登澤達也 (代表教員 松井康樹)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	2単位(30時間)	講義	RB0808		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		松井康樹(視能訓練士)、野原尚美(視能訓練士)、登澤達也(視能訓練士)				
授業概要						
最終学年となって、視能訓練士に必要な知識と技術をより確実なものにするために、視機能障害に対し、病態を把握し視機能検査、視機能訓練ができることを目指す。双方向で行う。						
学修の到達目標						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 解剖と生理、視器の発達が解る。 2. 視覚生理、視機能検査、薬理学等を関連づけた知識としてある。 3. 3年間の専門知識を結び付けて考えることができる。 4. 何が問題で、必要な検査が何か、治療としてどうすべきかを考えることができる。 						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	視覚系、眼瞼、結膜、涙器、角膜、強膜	① ②	松井	講義	関係することを学習する(60分)	知識を確実にするために理解し覚える(180分)
2	ぶどう膜、水晶体、房水・眼圧、神経細胞の生理	① ②	松井	講義	知識を確実にするために理解し覚える(60分)	知識を確実にするために理解し覚える(180分)
3	網膜	① ②	松井	講義	知識を確実にするために理解し覚える(60分)	知識を確実にするために理解し覚える(180分)
4	網膜	① ②	松井	講義	知識を確実にするために理解し覚える(60分)	知識を確実にするために理解し覚える(180分)
5	神経線維の走行、視路	① ②	松井	講義	知識を確実にするために理解し覚える(60分)	知識を確実にするために理解し覚える(180分)
6	視野、色覚、光覚	① ②	松井	講義	知識を確実にするために理解し覚える(60分)	知識を確実にするために理解し覚える(180分)
7	電気生理	① ②	松井	講義	知識を確実にするために理解し覚える(60分)	知識を確実にするために理解し覚える(180分)
8	眼球運動障害①	② ③	登澤	講義	眼球運動に関連した内容を復習しておく(60分)	講義を振り返り理解を深める(180分)
9	眼球運動障害②	② ③	登澤	講義	眼球運動障害について復習しておく(60分)	講義を振り返り理解を深める(180分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	斜視の症例提示①	③ ④	野原	講義	斜視の分類について復習しておく(60分)	講義を振り返り忘れていた内容は覚え直し、症例の見方を理解する(180分)
11	斜視の症例提示②	③ ④	野原	講義	斜視の分類について復習しておく(60分)	講義を振り返り忘れていた内容は覚え直し、症例の見方を理解する(180分)
12	斜視の症例提示③	③ ④	野原	講義	斜視の分類について復習しておく(60分)	講義を振り返り忘れていた内容は覚え直し、症例の見方を理解する(180分)
13	斜視手術について	③ ④	野原	講義	斜視手術について復習しておく(60分)	講義を振り返り忘れていた内容は覚え直し、斜視手術を理解する(180分)
14	斜視視能訓練について	③ ④	野原	講義	視能訓練について復習しておく(60分)	講義を振り返り忘れていた内容は覚え直し、視能訓練を理解する(180分)
15	弱視の症例提示と弱視訓練	③ ④	野原	講義	弱視の分類と訓練を復習しておく(60分)	講義を振り返り忘れていた内容は覚え直し、視能訓練を理解する(180分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験100%						
使用教科書						
スライドとプリントを用いて講義する						
参考図書						
現代の眼科学 / 所 敬監修. --第13版--金原出版, 2018年, 978-4-307-35168-3 視能学 / 丸尾敏夫他. --第2版--文光堂, 978-4-8306-5539-5						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	授業内でフィードバックする					
実務経験をいかした教育内容	視能訓練士として必要な解剖と生理、視覚生理を講義する					
備考						

授業科目名		担当教員				
基礎視機能矯正学特論Ⅱ (生理光学)		丹沢慶一・國武実里・関戸昌論 (代表教員 丹沢慶一)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	2単位(30時間)	講義	RB0809		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一(視能訓練士)・國武実里(視能訓練士)・関戸昌論(視能訓練士)				
授業概要						
基礎視機能矯正特論Ⅱでは、3年間で学んだ知識と臨床実習Ⅰ,Ⅱで学んだ臨床力を結びつけ、視能訓練士として必要な問題提議、並びに解決能力を高めることを目的とする。						
学修の到達目標						
①3年間の専門知識を結び付けて考えることが出来る ②何が問題で、どうすれば解決できるのかを考えることが出来る						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	視力の概念	① ②	丹沢 國武	講義	小テストを実施するので該当範囲を復習しておくこと :120分	小テストで間違えた箇所を理解しておくこと:120分
2	光の性質、幾何光学	① ②	丹沢 國武	講義	小テストを実施するので該当範囲を復習しておくこと :120分	小テストで間違えた箇所を理解しておくこと:120分
3	プリズムとミラー	① ②	丹沢 國武	講義	小テストを実施するので該当範囲を復習しておくこと :120分	小テストで間違えた箇所を理解しておくこと:120分
4	結像と収差	① ②	丹沢 國武	講義	小テストを実施するので該当範囲を復習しておくこと :120分	小テストで間違えた箇所を理解しておくこと:120分
5	眼球光学系の特徴	① ②	丹沢 國武	講義	小テストを実施するので該当範囲を復習しておくこと :120分	小テストで間違えた箇所を理解しておくこと:120分
6	屈折、調節の光学	① ②	丹沢 國武	講義	小テストを実施するので該当範囲を復習しておくこと :120分	小テストで間違えた箇所を理解しておくこと:120分
7	模型眼とその名称	① ②	丹沢 國武	講義	小テストを実施するので該当範囲を復習しておくこと :120分	小テストで間違えた箇所を理解しておくこと:120分
8	屈折、調節の異常	① ②	丹沢 國武	講義	小テストを実施するので該当範囲を復習しておくこと :120分	小テストで間違えた箇所を理解しておくこと:120分
9	屈折、調節の矯正(眼鏡)	① ②	丹沢 國武	講義	小テストを実施するので該当範囲を復習しておくこと :120分	小テストで間違えた箇所を理解しておくこと:120分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	屈折、調節の矯正（コンタクト、眼内レンズ、手術）	① ②	丹沢 國武	講義	小テストを実施するので該当範囲を復習しておくこと ：120分	小テストで間違えた箇所を理解しておくこと ：120分
11	視力検査	① ②	丹沢 國武	講義	小テストを実施するので該当範囲を復習しておくこと ：120分	小テストで間違えた箇所を理解しておくこと ：120分
12	臨床における眼鏡処方①	① ②	関戸	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：120分	講義の振り返り ：120分
13	臨床における眼鏡処方②	① ②	関戸	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：120分	講義の振り返り ：120分
14	臨床における眼鏡処方③	① ②	関戸	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：120分	講義の振り返り ：120分
15	臨床における眼鏡処方④	① ②	関戸	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：120分	講義の振り返り ：120分
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
筆記試験100%で評価する						
使用教科書						
視能学エキスパート 視能訓練学 / 若山曉美 他.--医学書院, 978-4-260-03223-0 視能学 第3版 / 小林義治 (他) .--文光堂, 978-4-8306-5608-8						
参考図書						
適宜紹介する						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義内で返却或いは解説をしてフィードバックする					
実務経験をいかした教育内容	病院に勤務して重ねた臨床経験を活かし、現場に出た時、自分で考えることができるよう講義を展開する					
備考						

授業科目名		担当教員				
視機能療法学実験研究		丹沢慶一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択必修	2年 通年	1単位(30時間)	演習	RB0610		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一(視能訓練士)				
授業概要						
<p>本科目は、視機能療法学領域の研究テーマを見つけ、データ収集・分析、プレゼンテーション、論文作成に至るまでの過程から論理的科学的思考を学ぶ。 授業にはディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、問題解決型学習および双方向授業の要素を取り入れて進行する。 なお、自主性・主体性を重要視する。</p> <p>履修には、事前に担当教員との面談が必須である。</p>						
学修の到達目標						
<p>①視機能療法学領域の研究テーマを見つけることができる。 ②研究計画を立案することができる。 ③研究計画を基に、実験をおこなうことができる。 ④研究データを分析し、プレゼンテーションすることができる。 ⑤研究を論文としてまとめることができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	研究の意義、倫理、利益相反、インフォームド・コンセント、個人情報の保護、不正行為、守秘義務	① ②	丹沢	演習	倫理、利益相反、インフォームド・コンセント、個人情報の保護、不正行為、守秘義務についての意味を調べる。30分	復習30分
2	研究テーマの選定①、文献検索の手法	①	丹沢	演習	一般的なインターネットの使用方法の予習30分	復習30分
3	研究テーマの選定、文献収集	①	丹沢	演習	検索テーマを考える。30分	復習30分
4	研究計画の立案①、文献抄読①	②	丹沢	演習	抄読論文の検索30分	復習30分
5	研究計画の立案	②	丹沢	演習	研究テーマを考える30分	まとめ30分
6	研究データ収集①	③	丹沢	演習	実験機器の準備30分	データまとめ30分
7	研究データ収集	③	丹沢	演習	実験機器の準備30分	データまとめ30分
8	研究データ統計の概要、研究データ中間分析	④	丹沢	演習	エクセルの使用方法の確認30分	復習30分
9	研究データ収集③	③	丹沢	演習	実験機器の準備30分	復習30分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	研究データ収集④	③	丹沢	演習	実験機器の準備30分	復習30分
11	研究データ分析④, プレゼンテーションの作成方法	④	丹沢	演習	パワーポイントの使用 方法の確認30分	復習30分
12	研究データまとめ, プレゼンテーションでの報告	④	丹沢	演習	報告の練習30分	復習30分
13	研究論文作成 緒言および方法	⑤	丹沢	演習	緒言および方法の下 書き30分	論文加筆修正30分
14	研究論文作成 結果	⑤	丹沢	演習	結果の下書き30分	論文加筆修正30分
15	研究論文作成 考按および結論	⑤	丹沢	演習	考按および結論の下 書き30分	論文の加筆修正30分
	レポート提出					
評価基準・評価方法						
【レポート】40% (論文で評価) 【プレゼンテーション】30% 【受講態度・その他】30% (授業での積極性, 協調性)						
使用教科書						
参考図書						
講義中に適宜示す.						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	正課外時間に適宜対応する.					
実務経験をいかした教育内容	眼科外来で視能訓練士として働いたことで得た、気づきや疑問を課題として用いる。					
備考						

授業科目名		担当教員				
医療情報学		大庭紀雄				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	1単位(15時間)	講義	RB0811		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		大庭紀雄(医師)				
授業概要						
視能訓練士としての業務を実践するため必要な医療情報の獲得の方法、分析の方法、整理の方法と情報の評価の方法、発信の方法に必要な知識と技法を学ぶ。						
学修の到達目標						
①医療情報の一般情報とは異なる側面について説明することが出来る。 ②医の倫理、医学研究の倫理を踏まえた医療情報獲得の方法を理解し、応用することが出来る。 ③診療情報の特殊性を熟知し、情報の獲得、記録、分析、利用に必要な知識と能力を身に付けることが出来る。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	この授業科目のシラバス(目標、計画)、進め方(学習ノート充実度点検、演習講義)、専用ノートの活用を説明する。医の倫理(ヘルシキ宣言、リスボン宣言)患者との情報交換、医療面接、眼疾患主訴の特徴、検査情報	① ②	大庭	講義	パソコン、多機能携帯端末の使用に習熟しておくこと(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する。(120分)
2	診療録Ⅰ. 診療情報の守秘義務、診療録の保存と活用、電子カルテ(診療録に関する医療法規) 診療録Ⅱ. 診療録(電子カルテ)の書き方、読み方、視機能検査所見(視力、屈折、視野、眼位)の標準的記載法	③	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加、パソコン・多機能携帯端末の使用に習熟しておくこと(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する。(120分)
3	視能訓練士と医師、看護師、医療従事者との情報交換	① ③	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する。(120分)
4	医療情報の取得(受信)Ⅰ. 日本視能訓練士協会:日本視能矯正学会。関連学会(弱視斜視学会、神経眼科学会) 医療情報の取得(受信)Ⅱ. 雑誌(視能矯正学、眼科学)、関連国際雑誌、医療情報の国際化(小テスト、ノート点検)	③	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する。(120分)
5	医療情報の受信Ⅲ. データベース:医学中央雑誌、PubMed、Google scientific 医療情報の受信Ⅳ. 医学情報の質的評価:open study、randomized controlled trial(臨床治験、二重盲検試験)	③	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する。(120分)
6	医学、医療情報のデータベース化:情報の検索法、整理法、分析と考察 医療における日本語と英語:文献の検索法、文献の読み方	③	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する。(120分)
7	視能訓練士が必要とする専門用語(和文、英文):視能矯正、視能訓練関連用語集 視能矯正、視能訓練関連 専門英語の語源、略語	③	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する。(120分)
8	情報の発信Ⅰ. 各種報告書の書き方、研究会、学会における発表(プレゼンテーション:展示発表、講演発表) 情報の発信Ⅱ. 学術論文(日本語、英語)のまとめ方と書き方、出版の方法。(小テスト、ノート点検)	③	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する。(120分)
	授業計画終了直後:ノートの充実度評価、テイク試験(筆記試験、客観試験、選択5肢、ノート持ち込み可)					

評価基準・評価方法	
<p>授業形態が講義主体だから、知識と理解の到達度の測定を評価基準とする。授業計画中に3回の小テスト、2回のノート点検を行うが、いずれも授業改善の参考にするための形成的意義を持つものである。科目の成績は、授業計画終了後の「定期試験結果評価点：60%配分」および「学修ノートの充実度評価点（40%配分）」を総合評価した結果とする。</p>	
使用教科書	
特になし	
参考図書	
特になし	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	授業内でフィードバックする。
実務経験をいかした教育内容	
備考	<p>視能訓練士としての業務の現場に必要な医学・医療の情報の取得（受信）、分析と解釈、報告（発信）について説明する。</p> <p>授業形態は講義とし、具体的事例を提示する。板書とハンドアウト（配布印刷物）を活用する。</p>

授業科目名		担当教員				
視覚生理学演習Ⅰ（視野検査他）		國武実里・丹沢慶一・野原尚美・松井康樹・羽賀弥生（代表教員 國武実里）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	演習	ROP201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		國武実里（視能訓練士）、丹沢慶一（視能訓練士）、野原尚美（視能訓練士）、松井康樹（視能訓練士）、羽賀弥生（視能訓練士）				
授業概要						
本講義では、各検査項目について講義で学んだ知識をもとに、演習形式で実際に診療で使用される検査機器を用いて、具体的な使用方法を確認しながら検査を実施し、講義内で得られた結果の分析と解釈を行う。さらに、演習内で明らかになった疑問点や改善点については、プレゼンテーションや質疑応答を行うことで意見を発信する力や問題解決能力を高めることを目指す。また、グループ学習を通じて、臨地実習に向けた身だしなみや態度、状況に応じた適切なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。						
学修の到達目標						
①各検査の原理を理解し、説明することができる。 ②各検査の方法を理解し、実施することができる。 ③検査の目的を理解し、常に考えながら実施することができる。 ④礼儀・礼節を備え、専攻内における互いの立場に応じた適切な言葉遣いと態度で演習に取り組むことができる。 ⑤各検査の正常値を理解し、実施した検査結果の分析を行うことができる。 ⑥演習実施内容のプレゼンテーション、質疑応答への積極的な参加ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ゴールドマン視野計Ⅰ	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
2	ゴールドマン視野計Ⅰ	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
3	ゴールドマン視野計Ⅰ	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
4	ハンフリー視野計Ⅰ	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
5	ハンフリー視野計Ⅰ	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
6	ハンフリー視野計Ⅰ	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
7	ERG	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
8	ERG	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
9	ERG	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	色覚検査	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
11	色覚検査	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
12	色覚検査	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
13	遠見・近見自覚的視力屈折検査	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
14	遠見・近見自覚的視力屈折検査	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
15	遠見・近見自覚的視力屈折検査	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
	実技試験		全員			
評価基準・評価方法						
課題40%、演習態度30%、実技試験30%で総合判定する。						
使用教科書						
眼科検査ガイド / 根木 昭.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5609-5 視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 視能学エキスパート 視能検査学 / 公益財団法人日本視能訓練士協会--医学書院, 978-4-260-05043-2						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出されたレポートに記載する。 随時質問を受け付け、授業外も対応をする。					
実務経験をいかした教育内容	眼科の勤務経験がある教員が、その経験を活かし、学生に検査の手技および臨床において必要な事項を指導する。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・全回の出席を原則とする。欠席や遅刻をする場合には、授業開始前に担当教員まで電話連絡をして指示を仰ぐこと。無断欠席・遅刻はもとより、正当な理由と認められない欠席・遅刻も厳禁とする。正当な理由を認める欠席・遅刻には、公共交通機関が発行する証明書や医師による診断書等の提出が必要である。 ・出席には当専攻が指定するユニフォームの正しい着用が必須である。 ・教員から注意を受けたことは改善すること。 ・質問は各教員に対し随時積極的に行うこと。 ・演習の自習・課題を行う際は教員に申し出ること。 					

授業科目名		担当教員				
視覚生理学演習Ⅱ（電気生理）		國武実里・四之宮佑馬・丹沢慶一・野原尚美・松井康樹・羽賀弥生（代表教員 國武実里）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	2年 前学期	1単位(30時間)	演習	ROP402		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学デザインポリシー(2)(3) 視機能デザインポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		國武実里（視能訓練士）、四之宮佑馬（視能訓練士）丹沢慶一（視能訓練士）、野原尚美（視能訓練士）、松井康樹（視能訓練士）、羽賀弥生（視能訓練士）				
授業概要						
本講義では、各検査項目について講義で学んだ知識をもとに、演習形式で実際に診療で使用される検査機器を用いて、具体的な使用方法を確認しながら検査を実施し、講義内で得られた結果の分析と解釈を行う。さらに、演習内で明らかになった疑問点や改善点については、プレゼンテーションや質疑応答を行うことで意見を発信する力や問題解決能力を高めることを目指す。また、グループ学習を通じて、臨地実習に向けた身だしなみや態度、状況に応じた適切なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。						
学修の到達目標						
①各検査の原理を理解し、説明することができる。 ②各検査の方法を理解し、実施することができる。 ③各検査の正常値を理解し、実施した検査結果の分析を行うことができる。 ④検査の目的を理解し、常に考えながら実施することができる。 ⑤臨地実習を視野に入れた手技、誠実な態度、コミュニケーション能力が身についている。 ⑥演習実施内容のプレゼンテーション、質疑応答への積極的な参加ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ゴールドマン視野計（正常視野）／オクルージョンテスト	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
2	ゴールドマン視野計（正常視野）／オクルージョンテスト	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
3	ゴールドマン視野計（正常視野）／オクルージョンテスト	⑤ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
4	ハンフリー視野計Ⅱ	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
5	ハンフリー視野計Ⅱ	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
6	ハンフリー視野計Ⅱ	⑤ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
7	AC/A比	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
8	AC/A比	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
9	AC/A比	⑤ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	眼位・眼球運動Ⅱ（正切尺法・maddox正切尺法・red filter test・PAT）	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
11	眼位・眼球運動Ⅱ（正切尺法・maddox正切尺法・red filter test・PAT）	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
12	眼位・眼球運動Ⅱ（正切尺法・maddox正切尺法・red filter test・PAT）	⑤ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
13	VEP	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
14	VEP	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
15	VEP	⑤ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
	実技試験					
評価基準・評価方法						
課題40%、演習態度30%、実技試験30%で総合判定する。						
使用教科書						
眼科検査ガイド第3版 根木昭 文光堂 ISBN978-4-8306-5609-5						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	提出されたレポートに記載する。 随時質問を受け付け、授業外も対応をする。					
実務経験をいかした教育内容	眼科の勤務経験がある教員が、その経験を活かし、学生に検査の手技および臨床において必要な事項を指導する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
生理光学演習Ⅰ（屈折検査）		國武実里・四之宮佑馬・丹沢慶一・野原尚美・松井康樹・羽賀弥生（代表教員 國武実里）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	演習	ROP103		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5)の達成に寄与している。		國武実里（視能訓練士）、四之宮佑馬（視能訓練士）、丹沢慶一（視能訓練士）、野原尚美（視能訓練士）、松井康樹（視能訓練士）、羽賀弥生（視能訓練士）				
授業概要						
本講義では、各検査項目について講義で学んだ知識をもとに、演習形式で実際に診療で使用される検査機器を用いて、具体的な使用方法を確認しながら検査を実施し、講義内で得られた結果の分析と解釈を行う。さらに、演習内で明らかになった疑問点や改善点については、プレゼンテーションや質疑応答を行うことで意見を発信する力や問題解決能力を高めることを目指す。また、グループ学習を通じて、臨地実習に向けた身だしなみや態度、状況に応じた適切なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。						
学修の到達目標						
①各検査の原理を理解し、説明することができる。 ②各検査の方法を理解し、実施することができる。 ③検査の目的を理解し、常に考えながら実施することができる。 ④礼儀・礼節を備え、専攻内における互いの立場に応じた適切な言葉遣いと態度で演習に取り組むことができる。 ⑤各検査の正常値を理解し、実施した検査結果の分析を行うことができる。 ⑥演習実施内容のプレゼンテーション、質疑応答への積極的な参加ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	自覚的屈折検査 雲霧法	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
2	自覚的屈折検査 雲霧法	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
3	自覚的屈折検査 雲霧法	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
4	検影法	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
5	検影法	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
6	検影法	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
7	自覚的屈折検査 クロスシリンダー法	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
8	自覚的屈折検査 クロスシリンダー法	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
9	自覚的屈折検査 クロスシリンダー法	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	自覚的調節検査	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
11	自覚的調節検査	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
12	自覚的調節検査	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
13	レンズメーター (単焦点)	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
14	レンズメーター (単焦点)	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
15	レンズメーター (単焦点)	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
	実技試験		全員			
評価基準・評価方法						
課題40%、演習態度30%、実技試験30%で総合判定する。						
使用教科書						
眼科検査ガイド 第3版 / 根木昭 (監修) .--飯田知弘, 他--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5609-5 視能学エキスパート 視能検査学 第2版 / 公益財団法人日本視能訓練士協会--医学書院, 2023年, 978-4-260-05043-2 視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出されたレポートに記載する。 随時質問を受け付け、授業外も対応をする。					
実務経験をいかした教育内容	眼科の勤務経験がある教員が、その経験を活かし、学生に検査の手技および臨床において必要な事項を指導する。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・全回の出席を原則とする。欠席や遅刻をする場合には、授業開始前に担当教員まで電話連絡をして指示を仰ぐこと。無断欠席・遅刻はもとより、正当な理由と認められない欠席・遅刻も厳禁とする。正当な理由を認める欠席・遅刻には、公共交通機関が発行する証明書や医師による診断書等の提出が必要である。 ・出席には当専攻が指定するユニフォームの正しい着用が必須である。 ・教員から注意を受けたことは改善すること。 ・質問は各教員に対し随時積極的に行うこと。 ・演習の自習・課題を行う際は教員に申し出ること。 					

授業科目名		担当教員				
生理光学演習Ⅱ（屈折矯正）		野原尚美・國武実里・丹沢慶一・松井康樹・羽賀弥生（代表教員 野原尚美）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習	ROP504		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5)の達成に寄与している。		野原尚美（視能訓練士）、國武実里（視能訓練士）、丹沢慶一（視能訓練士）、松井康樹（視能訓練士）、羽賀弥生（視能訓練士）				
授業概要						
課題として示される症例の主訴をもとに、診断に結びつけるために必要な視機能検査を論理的に組み立てた後、各検査を実施、各検査結果の評価から明らかになった症例の病態をレポートとしてまとめる。主訴に応じた疾患の想起、論理的な鑑別方法の習得とともに、症例レポートの作成方法を学ぶ。また、各症例に対応するコミュニケーション手法についても学ぶ。						
学修の到達目標						
①主訴に応じた疾患の想起ができる。 ②疾患の鑑別に必要な検査を論理的に組み立てることができる。 ③各症例に対する適切なコミュニケーションをもって正確な視機能検査が実施できる。 ④検査結果から症例の病態を把握できる。 ⑤症例レポートとしてまとめることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	課題 症例1 検査の組み立て	① ②	全員	演習	これまでの講義・演習で学んだ視機能検査の目的・検査原理、疾患の病態をまとめる。：50分	主訴から想起される疾患の病態と診断に必要な検査をまとめる。：10分
2	課題 症例1 検査の実施	③ ④	全員	演習	各疾患の診断・病態評価に必要な検査の手法をまとめる。：50分	症例の検査結果をまとめる。：10分
3	レポート作成の説明	⑤	全員	演習	レポートの書き方について見直す。：10分	レポートの書き方についてまとめておく。：50分
4	課題 症例1 症例レポート作成①	⑤	全員	演習	症例レポートの記載方法の確認。：10分	文献検索をしてレポートを作成する。：50分
5	課題 症例1 症例レポート作成②	⑤	全員	演習	症例レポートの記載方法の確認。：10分	レポートを完成させ期限までに提出する。：50分
6	課題 症例2 検査の組み立て	① ②	全員	演習	これまでの講義・演習で学んだ視機能検査の目的・検査原理、疾患の病態をまとめる。：50分	主訴から想起される疾患の病態と診断に必要な検査をまとめる。：10分
7	課題 症例2 検査の実施	③ ④	全員	演習	各疾患の診断・病態評価に必要な検査の手法をまとめる。：50分	症例の検査結果をまとめる。：10分
8	課題 症例2 症例レポート作成①	⑤	全員	演習	症例レポートの記載方法の確認。：10分	文献検索をしてレポートを作成する。：50分
9	課題 症例2 症例レポート作成②	⑤	全員	演習	症例レポートの記載方法の確認。：10分	レポートを完成させ期限までに提出する。：50分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	課題 症例3 検査の組み立て	① ②	全員	演習	これまでの講義・演習で学んだ視機能検査の目的・検査原理と、疾患の病態をまとめる。 : 50分	主訴から想起される疾患の病態と診断に必要な検査をまとめる。 : 10分
11	課題 症例3 検査の実施	③ ④	全員	演習	各疾患の診断・病態評価に必要な検査の手法をまとめる。 : 50分	症例の検査結果をまとめる。 : 10分
12	課題 症例3 症例レポート作成①	⑤	全員	演習	症例レポートの記載方法の確認。 : 10分	文献検索をしてレポートを作成する : 50分
13	課題 症例3 症例レポート作成②	⑤	全員	演習	症例レポートの記載方法の確認。 : 10分	レポートを完成させ期限までに提出する : 50分
14	症例4 ロービジョン患者の日常生活体験	③ ④	全員	演習	視覚障害リハビリテーション学での講義内容を見直しておく。 : 50分	ロービジョン患者の困りごととは何かまたそれに対して何ができるかまとめる : 10分
15	症例4 ロービジョン患者の日常生活体験	③ ④	全員	演習	視覚障害リハビリテーション学での講義内容を見直しておく。 : 50分	ロービジョン患者の困りごととは何かまたそれに対して何ができるかまとめる : 10分
	試験の実施はしない。					
評価基準・評価方法						
症例レポート70%, Progress note30%.						
使用教科書						
眼科検査ガイド / 根木 昭 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5609-5 視能学 第3版 / 丸尾敏夫, 他--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 視能学エキスパート 視能検査学 / 公益財団法人日本視能訓練士協会--医学書院, 978-4-260-03258-2 視能学エキスパート 視能訓練学 / 公益財団法人日本視能訓練士協会--医学書院, 978-4-260-03223-0 現代の眼科学 改訂第13版 / 所敬 (監修) .--谷原秀信, 他--金原出版, 978-4-307-35168-3						
参考図書						
	提出されたレポートに記載する。					
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出されたレポートに記載する。					
実務経験をいかした教育内容	大学病院や総合病院で臨床経験を重ねた教員により、実際の臨床の現場を想定して患者への説明や検査ができるよう演習を展開する。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・全回の出席を原則とする。欠席や遅刻をする場合には、授業開始前に担当教員まで電話連絡をして指示を仰ぐこと。無断欠席・遅刻はもとより、正当な理由と認められない欠席・遅刻も厳禁とする。正当な理由を認める欠席・遅刻には、公共交通機関が発行する証明書や医師による診断書等の提出が必要である。 ・出席には当専攻が指定するユニフォームの正しい着用が必須である。 ・教員から注意を受けたことは改善すること。 ・質問は各教員に対し随時積極的に行うこと。 ・演習の自習・課題を行う際は教員に申し出ること。 					

授業科目名		担当教員				
眼薬理学		大庭紀雄				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	ROP405		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		大庭紀雄(医師)、丹沢慶一(視能訓練士)				
授業概要						
視能矯正や視能訓練の対象となるさまざまな疾病や病態の検査・診断・治療のために用いられる薬剤、薬物のあらましを学習する。具体的には、各種点眼薬、内服薬、注射薬に加えて各種検査に用いられる薬剤の薬理や薬効、投与方法、副作用について講義する。						
学修の到達目標						
①点眼薬の作用、使用法の特徴について説明することができる。 ②散瞳薬、調節麻痺薬の代表的薬剤の作用機序、点眼方法、薬効、適応疾患、副作用を述べることができる。 ③点眼、結膜下注射、眼内注射、球後注射による薬剤投与方法の調書・短所、適応疾患を説明することができる。 ④点眼麻酔薬の代表的薬剤、適応を述べることができる。 ⑤検査薬を理解し、その適応について述べることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	シラバスの説明。 眼疾患における薬剤投与Ⅰ. 局所投与(点眼、局所注射) 眼疾患における薬剤投与Ⅱ. 全身投与	①	大庭	講義	授業の開始時に「学習ノート」を配布する	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(240分)
2	瞳孔薬(自律神経薬): 眼底検査と散瞳薬: トロピカミド、エピネフリン 屈折・調節検査と薬剤(自律神経薬): 塩酸シクロペントラート、硫酸アトロピン: 副作用	②	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの整理・加筆・修正、書物などで得た知識についてノートに追加するとともに考察を加える(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
3	眼圧下降薬: ベータブロッカー: プロスタグランディン製剤: 炭酸脱水酵素阻害薬: 高浸透薬 抗菌薬、抗ウイルス薬(アシクロビル)。抗アレルギー薬、副腎皮質ステロイド薬、非ステロイド系抗炎症薬	③	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの整理・加筆・修正、書物などで得た知識についてノートに追加するとともに考察を加える(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
4	代謝拮抗薬、免疫抑制薬、抗血管因子増殖薬 麻酔薬: 塩酸オキシプロカイン、生体染色用 薬剤: フロレセイン染色、ローズベンガル染色	③ ④	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの整理・加筆・修正、書物などで得た知識についてノートに追加するとともに考察を加える(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
5	蛍光眼底造影検査: フルオレセインナトリウム、インドシアニングリーン 演習講義: 瞳孔薬、調節麻痺薬	④ ⑤	丹沢	講義	前回学習事項の確認、ノートの整理・加筆・修正、書物などで得た知識についてノートに追加するとともに考察を加える(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
6	演習講義: 眼圧降下薬、抗菌薬、抗ウイルス薬	④	丹沢	講義	前回学習事項の確認、ノートの整理・加筆・修正、書物などで得た知識についてノートに追加するとともに考察を加える(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
7	薬効評価、臨床試験、薬剤の副作用、有害効果 薬剤の処方、投薬のコンプライアンス	④	丹沢	講義	前回学習事項の確認、ノートの整理・加筆・修正、書物などで得た知識についてノートに追加するとともに考察を加える(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
8	環境汚染物質と眼薬物の副作用について	④	丹沢	講義	前回学習事項の確認、ノートの整理・加筆・修正、書物などで得た知識についてノートに追加するとともに考察を加える(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
	授業終了時に「学習ノート」の点検評価、定期試験(筆記)を行う。					

評価基準・評価方法	
折にふれて形成的評価（国家試験問題準拠、ミニテスト）を行って学習成果の向上をはかる。講義終了時には、単位認定試験として眼の薬理学や主要な薬剤について十分に理解しているかどうかを評価する。試験はノート持ち込み可能で、客観式問題を出題する。試験の範囲は講義で扱った部分に限る。「学習ノート」の評価・（40%）定期試験の成績（60%）	
使用教科書	
特別の指定はない	
参考図書	
特に指定しない。講義内容に基づいて作成したノートを、自身が自発的に作成した文書を最も有益な参考書として活用したいものである。	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	講義終了後に適宜応じる。
実務経験をいかした教育内容	臨床で得た知見を交えて講義する。
備考	上記の授業計画に基づいて、薬剤の効果、作用機序、適応となる検査や病態、副作用を学習する。講義のキーとなる内容は板書する。この科目の「学習ノート」に講義内容をノートすることが大切である。箇条書きではなく、独自の文章を作成すること。自分だけのノートを創作したいものである。

授業科目名		担当教員				
視機能検査学演習Ⅰ（眼科一般検査）		國武実里・丹沢慶一・野原尚美・松井康樹・羽賀弥生（代表教員 國武実里）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	演習	ROP206		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		國武実里（視能訓練士）、丹沢慶一（視能訓練士）、野原尚美（視能訓練士）、松井康樹（視能訓練士）、羽賀弥生（視能訓練士）				
授業概要						
本講義では、各検査項目について講義で学んだ知識をもとに、演習形式で実際に診療で使用される検査機器を用いて、具体的な使用方法を確認しながら検査を実施し、講義内で得られた結果の分析と解釈を行う。さらに、演習内で明らかになった疑問点や改善点については、プレゼンテーションや質疑応答を行うことで意見を発信する力や問題解決能力を高めることを目指す。また、グループ学習を通じて、臨地実習に向けた身だしなみや態度、状況に応じた適切なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。						
学修の到達目標						
①各検査の原理を理解し、説明することができる。 ②各検査の方法を理解し、実施することができる。 ③検査の目的を理解し、常に考えながら実施することができる。 ④礼儀・礼節を備え、専攻内における互いの立場に応じた適切な言葉遣いと態度で演習に取り組むことができる。 ⑤各検査の正常値を理解し、実施した検査結果の分析を行うことができる。 ⑥演習実施内容のプレゼンテーション、質疑応答への積極的な参加ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	外眼部検査（瞼裂幅・眼瞼挙筋機能・眼球突出度）・眼圧検査	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）
2	外眼部検査（瞼裂幅・眼瞼挙筋機能・眼球突出度）・眼圧検査	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）
3	外眼部検査（瞼裂幅・眼瞼挙筋機能・眼球突出度）・眼圧検査	④～⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
4	細隙灯顕微鏡検査、涙液検査	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）
5	細隙灯顕微鏡検査、涙液検査	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）
6	細隙灯顕微鏡検査、涙液検査	④～⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
7	眼底カメラ（無散瞳）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）
8	眼底カメラ（無散瞳）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）
9	眼底カメラ（無散瞳）	④～⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	光干渉断層計 (OCT)、Amslerチャート、M-CHARTS、臨界融合頻度検査	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)
11	光干渉断層計 (OCT)、Amslerチャート、M-CHARTS、臨界融合頻度検査	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)
12	光干渉断層計 (OCT)、Amslerチャート、M-CHARTS、臨界融合頻度検査	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
13	超音波検査 (Aモード、Bモード)、光学式眼軸長検査、角膜内皮検査、ケラトメーター	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)
14	超音波検査 (Aモード、Bモード)、光学式眼軸長検査、角膜内皮検査、ケラトメーター	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)
15	超音波検査 (Aモード、Bモード)、光学式眼軸長検査、角膜内皮検査、ケラトメーター	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
	実技試験		全員			
評価基準・評価方法						
課題40%、演習態度30%、実技試験30%で総合判定する。						
使用教科書						
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 眼科検査ガイド 第3版 / 根木昭監修.--飯田知弘、近藤峰生、中村誠、山田昌和--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5609-5						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出されたレポートに記載する。 随時質問を受け付け、授業外も対応をする。					
実務経験をいかした教育内容	眼科の勤務経験がある教員が、その経験を活かし、学生に検査の手技および臨床において必要な事項を指導する。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・全回の出席を原則とする。欠席や遅刻をする場合には、授業開始前に担当教員まで電話連絡をして指示を仰ぐこと。無断欠席・遅刻はもとより、正当な理由と認められない欠席・遅刻も厳禁とする。正当な理由を認める欠席・遅刻には、公共交通機関が発行する証明書や医師による診断書等の提出が必要である。 ・出席には当専攻が指定するユニフォームの正しい着用が必須である。 ・教員から注意を受けたことは改善すること。 ・質問は各教員に対し随時積極的に行うこと。 ・演習の自習・課題を行う際は教員に申し出ること。 					

授業科目名		担当教員				
視機能検査学演習Ⅱ（両眼視機能検査）		國武実里・丹沢慶一・野原尚美・松井康樹・羽賀弥生（代表教員 國武実里）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	演習	ROP207		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5)の達成に寄与している。		國武実里（視能訓練士）、丹沢慶一（視能訓練士）、野原尚美（視能訓練士）、松井康樹（視能訓練士）、羽賀弥生（視能訓練士）				
授業概要						
本講義では、各検査項目について講義で学んだ知識をもとに、演習形式で実際に診療で使用される検査機器を用いて、具体的な使用方法を確認しながら検査を実施し、講義内で得られた結果の分析と解釈を行う。さらに、演習内で明らかになった疑問点や改善点については、プレゼンテーションや質疑応答を行うことで意見を発信する力や問題解決能力を高めることを目指す。また、グループ学習を通じて、臨地実習に向けた身だしなみや態度、状況に応じた適切なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。						
学修の到達目標						
①各検査の原理を理解し、説明することができる。 ②各検査の方法を理解し、実施することができる。 ③検査の目的を理解し、常に考えながら実施することができる。 ④礼儀・礼節を備え、専攻内における互いの立場に応じた適切な言葉遣いと態度で演習に取り組むことができる。 ⑤各検査の正常値を理解し、実施した検査結果の分析を行うことができる。 ⑥演習実施内容のプレゼンテーション、質疑応答への積極的な参加ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	眼位・眼球運動Ⅰ（角膜反射・定性検査・定量検査）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
2	眼位・眼球運動Ⅰ（角膜反射・定性検査・定量検査）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
3	眼位・眼球運動Ⅰ（角膜反射・定性検査・定量検査）	④～⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
4	両眼視機能検査（網膜対応・立体視）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
5	両眼視機能検査（網膜対応・立体視）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
6	両眼視機能検査（網膜対応・立体視）	④～⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
7	大型弱視鏡（同時視・融像・立体視）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
8	大型弱視鏡（同時視・融像・立体視）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
9	大型弱視鏡（同時視・融像・立体視）	④～⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	HESS赤緑試験・大型弱視鏡9方向・眼球運動検査	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
11	HESS赤緑試験・大型弱視鏡9方向・眼球運動検査	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
12	HESS赤緑試験・大型弱視鏡9方向・眼球運動検査	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
13	注視野検査(単眼・両眼)	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
14	注視野検査(単眼・両眼)	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
15	注視野検査(単眼・両眼)	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
	実技試験		全員			
評価基準・評価方法						
課題40%、演習態度30%、実技試験30%で総合判定する。						
使用教科書						
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 眼科検査ガイド 第3版 / 根木昭監修.--飯田知弘、近藤峰生、中村誠、山田昌和--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5609-5 視能学エキスパート 視能検査学 第2版 / 公益財団法人日本視能訓練士協会--医学書院, 2023年, 978-4-260-05043-2 視能学エキスパート 視能訓練学 第2版 / 公益財団法人日本視能訓練士協会--医学書院, 2023年, 978-4-260-05040-1						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出されたレポートに記載する。 随時質問を受け付け、授業外も対応をする。					
実務経験をいかした教育内容	眼科の勤務経験がある教員が、その経験を活かし、学生に検査の手技および臨床において必要な事項を指導する。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・全回の出席を原則とする。欠席や遅刻をする場合には、授業開始前に担当教員まで電話連絡をして指示を仰ぐこと。無断欠席・遅刻はもとより、正当な理由と認められない欠席・遅刻も厳禁とする。正当な理由を認める欠席・遅刻には、公共交通機関が発行する証明書や医師による診断書等の提出が必要である。 ・出席には当専攻が指定するユニフォームの正しい着用が必須である。 ・教員から注意を受けたことは改善すること。 ・質問は各教員に対し随時積極的に行うこと。 ・演習の自習・課題を行う際は教員に申し出ること。 					

授業科目名		担当教員				
視機能検査学演習Ⅲ（眼位検査）		國武実里・四之宮佑馬・丹沢慶一・野原尚美・松井康樹・羽賀弥生（代表教員 國武実里）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	演習	ROP408		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5)の達成に寄与している。		國武実里（視能訓練士）、四之宮佑馬（視能訓練士）、丹沢慶一（視能訓練士）、野原尚美（視能訓練士）、松井康樹（視能訓練士）、羽賀弥生（視能訓練士）				
授業概要						
本講義では、各検査項目について講義で学んだ知識をもとに、演習形式で実際に診療で使用される検査機器を用いて、具体的な使用方法を確認しながら検査を実施し、講義内で得られた結果の分析と解釈を行う。さらに、演習内で明らかになった疑問点や改善点については、プレゼンテーションや質疑応答を行うことで意見を発信する力や問題解決能力を高めることを目指す。また、グループ学習を通じて、臨地実習に向けた身だしなみや態度、状況に応じた適切なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。						
学修の到達目標						
①各検査の原理を理解し、説明することができる。 ②各検査の方法を理解し、実施することができる。 ③検査の目的を理解し、常に考えながら実施することができる。 ④礼儀・礼節を備え、専攻内における互いの立場に応じた適切な言葉遣いと態度で演習に取り組むことができる。 ⑤各検査の正常値を理解し、実施した検査結果の分析を行うことができる。 ⑥演習実施内容のプレゼンテーション、質疑応答への積極的な参加ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	眼位・眼球運動Ⅲ（向き眼位定量・BHIT）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
2	眼位・眼球運動Ⅲ（向き眼位定量・BHIT）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
3	眼位・眼球運動Ⅲ（向き眼位定量・BHIT）	④～⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
4	眼鏡処方（遠見）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
5	眼鏡処方（遠見）	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
6	眼鏡処方（遠見）	④～⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
7	回旋偏位定量（シノプト・Maddox double rod test・new cyclo test）・γ角定量	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
8	回旋偏位定量（シノプト・Maddox double rod test・new cyclo test）・γ角定量	①～④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
9	回旋偏位定量（シノプト・Maddox double rod test・new cyclo test）・γ角定量	④～⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	眼鏡処方 (近見)	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
11	眼鏡処方 (近見)	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
12	眼鏡処方 (近見)	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
13	縞視力・乳幼児の視力検査・対数視力・コントラスト	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
14	縞視力・乳幼児の視力検査・対数視力・コントラスト	① ～ ④	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
15	縞視力・乳幼児の視力検査・対数視力・コントラスト	④ ～ ⑥	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
	実技試験		全員			
評価基準・評価方法						
課題40%、演習態度30%、実技試験30%で総合判定する。						
使用教科書						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出されたレポートに記載する。 随時質問を受け付け、授業外も対応をする。					
実務経験をいかした教育内容	眼科の勤務経験がある教員が、その経験を活かし、学生に検査の手技および臨床において必要な事項を指導する。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・全回の出席を原則とする。欠席や遅刻をする場合には、授業開始前に担当教員まで電話連絡をして指示を仰ぐこと。無断欠席・遅刻はもとより、正当な理由と認められない欠席・遅刻も厳禁とする。正当な理由を認める欠席・遅刻には、公共交通機関が発行する証明書や医師による診断書等の提出が必要である。 ・出席には当専攻が指定するユニフォームの正しい着用が必須である。 ・教員から注意を受けたことは改善すること。 ・質問は各教員に対し随時積極的に行うこと。 ・演習の自習・課題を行う際は教員に申し出ること。 					

授業科目名		担当教員				
視機能検査学演習Ⅳ（眼運動系検査）		野原尚美・丹沢慶一・國武実里・松井康樹・羽賀弥生（代表教員 野原尚美）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習	ROP509		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美（視能訓練士）、丹沢慶一（視能訓練士）、國武実里（視能訓練士）、松井康樹（視能訓練士）、羽賀弥生（視能訓練士）				
授業概要						
<p>第1回から9回までは、これまでの各講義で学んだ内容を元に、演習形式によって診療で実際に使用される検査機器を用いて、各種視機能検査についての理解を深める。各機械の使用法、検査結果の分析と解釈を習得することを目的とする。</p> <p>第10回から12回は平野総合病院眼科において、視能訓練士実務の見学と患者に対する検査の実施から、視能訓練士業務の実践を学ぶ。</p> <p>第13回から15回車椅子を使用する患者の誘導や検査の方法について学ぶ。</p>						
学修の到達目標						
<p>①各検査の原理を理解し、説明することができる。</p> <p>②各検査の方法を理解し、実施することができる。</p> <p>③検査の目的を理解し、常に考えながら実施することができる。</p> <p>④礼儀・礼節を備え、専攻内における互いの立場に応じた適切な言葉遣いと態度で演習に取り組むことができる。</p> <p>⑤各検査の正常値を理解し、実施した検査結果の分析を行うことができる。</p> <p>⑥視能訓練士の業務の実際を知り、自身に不足する能力を挙げることができる。</p> <p>⑦車いす利用者の誘導介助を実施することができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ゴールドマン視野計（異常視野）	①～⑤	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
2	ゴールドマン視野計（異常視野）	①～⑤	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
3	自覚的視力・屈折検査の臨床的手法	①～⑤	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
4	自覚的視力・屈折検査の臨床的手法	①～⑤	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
5	大型弱視鏡訓練	①～⑤	全員	演習	授業計画にある検査項目について、関連講義の復習と教科書を用いた事前学習を行い、演習当日にスムーズに演習に取りかかることができるよう、知識をまとめておくこと。（55分）	検査結果をまとめておくこと。（5分）
6	大型弱視鏡訓練	①～⑤	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。（5分）	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。（55分）
7	平野総合病院眼科見学実習に対する心得（目的・身だしなみ・実習態度など）	④	野原	演習	これまでに学習した検査理論と手技をまとめておくこと。（30分）	心得をまとめておくこと。（30分）
8	平野総合病院眼科見学実習	①～⑥	野原	演習	心得をしっかりと見直すこと。（30分）	見学・実習によって学んだ事柄をまとめておくこと。（30分）
9	平野総合病院眼科見学実習	④～⑥	野原	演習	これまでに学習した検査理論と手技をまとめておくこと。（30分）	見学・実習によって学んだ事柄をまとめておくこと。（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	車いす利用者の誘導・介助方法	⑦	全員	演習	車いす利用者の誘導・介助方法を図書館の成書等を用いて予習しておくこと。(30分)	見学・実習によって学んだ事柄をまとめておくこと。(30分)
11	車いす利用者の誘導・介助方法	⑦	全員	演習	車いす利用者の誘導・介助方法を図書館の成書等を用いて予習しておくこと。(30分)	車いす利用者の誘導・介助方法の演習から学んだことをまとめておくこと。(30分)
12	課題演習1	①～⑥	全員	演習	課題の内容を把握する事。(30分)	課題を通して学んだ事柄をまとめておくこと。(30分)
13	課題演習1	①～⑥	全員	演習	課題の内容を把握する事。(30分)	課題を通して学んだ事柄をまとめておくこと。(30分)
14	課題演習2	①～⑥	全員	演習	課題の内容を把握する事。(30分)	課題を通して学んだ事柄をまとめておくこと。(30分)
15	課題演習2	①～⑥	全員	演習	課題の内容を把握する事。(30分)	課題を通して学んだ事柄をまとめておくこと。(30分)
	実技試験		全員			

評価基準・評価方法

課題40%、演習態度30%（身だしなみ・積極性）、実技試験30%で総合判定する。

使用教科書

視能学 第3版 / 丸尾敏夫, 他--文光堂, 978-4-8306-5608-8
 視能学エキスパート 視能検査学 / 公益財団法人日本視能訓練士協会--医学書院, 978-4-260-03258-2
 視能学エキスパート 視能訓練学 / 公益財団法人日本視能訓練士協会--医学書院, 978-4-260-03223-0
 眼科検査ガイド 第3版 / 根木昭 (監修) .--飯田知弘, 他--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5609-5
 適宜配布。

参考図書

課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	演習内にて実施。
実務経験をいかした教育内容	大学病院・総合病院で臨床経験を重ねた教員により、実際の臨床の現場を想定して患者への説明や検査ができるよう演習を展開する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・全回の出席を原則とする。欠席や遅刻をする場合には、授業開始前に担当教員まで電話連絡をして指示を仰ぐこと。無断欠席・遅刻はもとより、正当な理由と認められない欠席・遅刻も厳禁とする。正当な理由を認める欠席・遅刻には、公共交通機関が発行する証明書や医師による診断書等の提出が必要である。 ・出席には当専攻が指定するユニフォームの正しい着用が必須である。 ・教員から注意を受けたことは改善すること。 ・質問は各教員に対し随時積極的に行うこと。 ・演習の自習・課題を行う際は教員に申し出ること。 ・第10から第12回までの平野総合病院眼科の出席には、臨地実習ⅠおよびⅡと同様の身だしなみが必須である。

授業科目名		担当教員				
画像診断学		四之宮佑馬・田中健司 (代表教員 四之宮佑馬)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	2単位(30時間)	講義	ROP410		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5)の達成に寄与している。		四之宮佑馬(視能訓練士) 田中健司(視能訓練士)				
授業概要						
<p>最近の眼科検査機器の進歩は目覚ましく、種々の機器を駆使して眼球を隈なく見ることができ、診断や経過観察に重要な役割を果たしている。本講義では、種々の機器の検査結果から疾患を読み取る能力を身につけることを目的とする。疾患の診断は医師によって行われるが、疾患により測定箇所や測定方法が異なることがあり、各種疾患の検査結果の特徴を知ることで正確で適切な検査につながると考える。また、画像診断で発見される構造的異常と視力や視野などの機能的異常の関連性についても解説する。必要に応じて検査手技を実践しながら習得する。本講義では、「思考力」、「判断力」、「表現力」を育成するために、グループワークやディスカッション形式の講義も取り入れる。</p>						
学修の到達目標						
<p>①検査の目的、原理、限界、方法を理解し、説明することができる。 ②正常検査データを理解し、説明することができる。 ③疾患別の検査結果の特徴を理解し、説明することができる。 ④疾患別の測定上の注意点を理解し、応用することができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	光干渉断層計の結果の見方Ⅰ：眼科検査ガイドP500-592	① ② ③ ④	田中	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
2	光干渉断層計の結果の見方Ⅱ：眼科検査ガイドP500-592	① ② ③ ④	田中	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
3	光干渉断層計の結果の見方Ⅲ：眼科検査ガイドP500-592	① ② ③ ④	田中	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
4	異常視野の測定方法と結果の見方Ⅰ：眼科検査ガイドP238-328	① ② ③ ④	田中	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
5	異常視野の測定方法と結果の見方Ⅱ：眼科検査ガイドP238-328	① ② ③ ④	田中	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
6	異常視野の測定方法と結果の見方Ⅲ：眼科検査ガイドP238-328	① ② ③ ④	田中	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
7	眼底写真と蛍光眼底造影の結果の見方Ⅰ：眼科検査ガイドP594-644	① ② ③ ④	四之宮	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
8	眼底写真と蛍光眼底造影の結果の見方Ⅱ：眼科検査ガイドP594-644	① ② ③ ④	四之宮	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
9	角膜形状解析と前眼部OCTの結果の見方Ⅰ：眼科検査ガイドP380-398	① ② ③ ④	四之宮	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	角膜形状解析と前眼部OCTの結果の見方Ⅱ：眼科検査ガイドP380-398	① ② ③ ④	四之宮	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
11	前眼部写真の撮影方法と結果の見方Ⅰ（眼位）：視能検査学P253-255	① ② ③ ④	四之宮	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
12	前眼部写真の撮影方法と結果の見方Ⅱ（眼位）：視能検査学P253-255	① ② ③ ④	四之宮	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
13	前眼部写真の撮影方法と結果の見方Ⅲ（眼位）：視能検査学P253-255	① ② ③ ④	四之宮	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
14	前眼部写真の撮影方法と結果の見方Ⅳ（眼位）：視能検査学P253-255	① ② ③ ④	四之宮	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
15	眼窩画像検査：P678-698	① ② ③ ④	四之宮	講義	視機能検査学Ⅰ・Ⅱで修得した該当項目の基礎知識について復習しておくこと。(120分)	修得した知識を実践に活用できるように復習しておくこと。(120分)
16	定期試験					

評価基準・評価方法

【定期試験】100%、小テストの結果に基づき最大±10点を加減する。

使用教科書

眼科検査ガイド第3版 / 根本 昭、--飯田知弘、近藤峰生、中村誠、山田昌和--文光堂，978-4-8306-5609-5
 視能学第3版 / 小林義治 他、--文光堂，978-4-8306-5608-8
 視能学エキスパート 視能検査学第2版 / 和田直子、小林昭子、中川真紀、若山暁美--医学書院，978-4-260-05043-5

参考図書

課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストの実施後に解答・解説をおこなう。
実務経験をいかした教育内容	担当教員は視能訓練士として眼科臨床業務経験を有し、眼科臨床での重要度に基づき効率的に専門性の高い講義を展開する。
備考	2024年度入学生以降対象

授業科目名		担当教員				
眼疾病学Ⅰ（眼球、眼球付属器他）		松井康樹・内田英哉・望月清文（代表教員 松井康樹）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	RV1401		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		松井康樹（視能訓練士）、内田英哉（医師）、望月清文（医師）				
授業概要						
1年次の「視器の解剖と生理で修得した知識に基づいて、視能訓練士としての業務に必要な多種多様の眼疾患の原因、病態検査、診断の全般を学ぶ。特に視機能矯正学や視機能訓練学に直結する疾病を重点的にとりあげる。						
学修の到達目標						
①視力をはじめ視機能の障害をきたす重要な疾病を列挙し、原因、病態、症候、検査、診断、治療を説明することができる。 ②小児期に起こりやすい疾病の検査法や訓練法の特殊性を理解し、検査や訓練の実際を説明することができる。 ③加齢に伴う眼疾患の臨床像、検査、治療を説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	結膜・角膜疾患	① ② ③	望月	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解すること(30分)
2	結膜・角膜疾患	① ② ③	望月	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解すること(30分)
3	眼瞼・涙器	① ② ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解すること(30分)
4	結膜疾患	① ② ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解すること(30分)
5	結膜疾患	① ② ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解すること(30分)
6	角膜疾患	① ② ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解すること(30分)
7	角膜疾患	① ② ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解すること(30分)
8	眼感染症	① ② ③	内田	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解すること(30分)
9	眼感染症	① ② ③	内田	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解すること(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	眼感染症	① ② ③	内田	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解すること (30分)
11	眼感染症	① ② ③	内田	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解すること (30分)
12	水晶体疾患	① ② ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解すること (30分)
13	水晶体疾患	②	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解すること (30分)
14	問診と検査	②	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解すること (30分)
15	問診と検査	②	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解すること (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験 (筆記試験) 100%						
使用教科書						
現代の眼科学 第13版 / 所 敬.--吉田晃敏、谷原秀信--金原出版, 978-4-307-35168-3						
参考図書						
プリントを配布する場合あり						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	全体の総評コメントを口頭または掲示にて公開する。					
実務経験をいかした教育内容	視能訓練士として必要な眼疾患について講義する					
備考						

授業科目名		担当教員				
眼疾病学Ⅱ（遺伝性眼疾患、小児眼疾患他）		松井康樹・内田英哉・澤田 明（代表教員 松井康樹）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義		RV1502	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		松井康樹（視能訓練士）、内田英哉（医師）、澤田明（医師）				
授業概要						
1年次の「視器の解剖と生理で修得した知識に基づいて、視能訓練士としての業務に必要な多種多様な眼疾患の原因、病態検査、診断の全般を学ぶ。特に視機能矯正学や視機能訓練学に直結する疾病を重点的にとりあげる。						
学修の到達目標						
①視力をはじめ視機能の障害をきたす重要な疾病を列挙し、原因、病態、症候、検査、診断、治療を説明することができる。 ②小児期に起こりやすい疾病の検査法や訓練法の特殊性を理解し、検査や訓練の実際を説明することができる。 ③加齢に伴う眼疾患の臨床像、検査、治療を説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	問診と眼疾患	① ② ③	内田	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解する(30分)
2	問診と眼疾患	① ② ③	内田	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解する(30分)
3	ぶどう膜疾患	① ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解する(30分)
4	ぶどう膜疾患	① ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解する(30分)
5	ぶどう膜疾患	① ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解する(30分)
6	網膜疾患	① ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解する(30分)
7	網膜疾患	① ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解する(30分)
8	網膜疾患	① ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解する(30分)
9	眼圧・緑内障	① ③	澤田	講義	教科書の該当ページに目を通す(30分)	教授された内容を覚え理解する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	眼圧・緑内障	① ③	澤田	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解する (30分)
11	眼圧・緑内障	① ③	澤田	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解する (30分)
12	網膜疾患	① ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解する (30分)
13	視神経、視路の疾患	① ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解する (30分)
14	外傷・眼窩疾患	① ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解する (30分)
15	全身疾患と眼	① ② ③	松井	講義	教科書の該当ページに目を通す (30分)	教授された内容を覚え理解する (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験 (筆記試験) 100%						
使用教科書						
現代の眼科学 第13版 / 所 敬.--吉田晃敏、谷原秀信--金原出版, 978-4-307-35168-3						
参考図書						
プリントを配布する場合あり						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	全体の総評コメントを口頭または掲示にて公開する。					
実務経験をいかした教育内容	視能訓練士として必要な眼疾患について講義する					
備考						

授業科目名		担当教員				
神経眼科学		大庭紀雄				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(15時間)	講義	RV1503		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		大庭紀雄(医師)、丹沢慶一(視能訓練士)				
授業概要						
視能矯正や視能訓練の実践に必要な神経眼科学の知識を学習する。網膜、視神経から視路、第1次視覚野、視覚連合野までの感覚知覚系、眼球運動系、瞳孔調節系の疾病に関わる解剖と生理と病理と検査法と治療法を学ぶ。1年次後学期「解剖(神経系)」に基礎をおいて、2年次「眼疾病学」に繋がる専門科目である。						
学修の到達目標						
①視覚刺激の入力と応答にかかわる視神経、視路、視覚野の構造と機能を説明することができる。 ②眼球運動の発現制御機構、脳神経や外眼筋の構造と機能を説明することができる。 ③瞳孔、調節に関わる自律神経の構造と機能、虹彩や毛様体の構造と機能を説明することができる。 ④眼瞼の運動に関わる神経、筋およびその病態を説明することができる。 ⑤神経眼科疾患の病態、臨床事項について視能訓練士が直面する問題を説明することができる。 ⑥神経眼科学の領域、眼科学における位置を説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	授業計画(シラバス)の説明、学習目標、到達目標、当該科目の医療、特に眼科における位置を説明する。 瞳孔の解剖と生理；虹彩の平滑筋、自律神経、対光、近見、精神の各反射経路、Edinger-Westphal核	③ ⑥	丹沢	講義	授業の開始時に「学習ノート」を配布する	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(240分)
2	瞳孔の検査法と瞳孔異常：相対的求心性瞳孔反応異常(RAPD)；瞳孔不同；Horner症候群；瞳孔緊張症 視神経の解剖・生理・病理：視神経炎、虚血性視神経症；レーベル遺伝性視神経症、多発性硬化症、視神経脊髄炎	① ③	丹沢	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
3	視交叉部の解剖・生理・病理：両耳側半盲(脳下垂体腺腫) 視路の解剖・生理・病理：視野検査(同名半盲)、黄斑回避	①	丹沢	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
4	第1次視覚野、連合野の解剖・生理・病理：視覚情報処理の背側経路と腹側経路。 演習講義：視覚系異常：視力、視野、色覚、瞳孔、電気生理学(網膜電図、視覚誘発脳波)、神経画像検査	①	丹沢	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
5	演習講義：眼球運動系の解剖・生理・病理：脳神経(動眼神経、滑車神経、外転神経)、外眼筋 演習講義：眼球運動異常 1.末梢神経障害(核下性麻痺)、麻痺性斜視、大型弱視鏡、Hess赤緑試験	②	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
6	演習講義：眼球運動異常 2.核上性眼球運動障害：注視麻痺(共同運動異常)、Parinaud症候群 機械的 eyeball 運動障害：強度近視性固定斜視、甲状腺眼症、Brown症候群、眼窩底骨折	②	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
7	眼瞼の運動に関わる神経、筋 全身疾患と神経眼科：多発性硬化症、脳血管障害、脳腫瘍、心因性視覚障害	⑤	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
8	神経眼科疾患の診断と治療 総括	⑤	大庭	講義	前回学習事項の確認、ノートの点検・整理・加筆・修正、新知識追加(120分)	今回授業において作成したノートを読み返して、文章形式で分かりやすい形式で整理する(120分)
	授業終了直後：ノート充実度点検評価、定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
<p>授業形態は講義である。知識獲得の到達度測定値を評価基準とする。随時行う「演習講義」においては、国試準拠客観試験問題10題ほどを提示、回答を求めてから解説する。いずれも形成的意義をもつものである。単位認定と成績判定には、授業計画終了直後の「学習ノート内容充実度評価点」（40%配分）および「定期試験結果評価点」（60%配分）を総合して行う。</p>	
使用教科書	
<p>教科書は使用しない。今回の講義録そのものが教科書とみなして、独自の教科書を作成する意欲をもって毎回の授業に臨むべきである。</p>	
参考図書	
<p>参考図書は指定しない。講義資料、および自己作成のノートを座右の参考書として活用したい。配布印刷物を参考書とする。国試準拠演習問題（ ）などはB5サイズで配布する。</p>	
<p>課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法</p>	<p>講義終了後に適宜応じる。</p>
<p>実務経験をいかした教育内容</p>	<p>臨床で得た知見を交えて講義する。</p>
<p>備考</p>	<p>「学習ノート」の記述は、単なる項目の羅列ではいけない。授業中に書ききれない部分は加筆、訂正、考察、資料補充を付け加えて文章形式で書き改めて内容の充実を図ることが大切である。レポート作成などは課さない。</p>

授業科目名		担当教員				
視機能障害学Ⅰ（神経疾患、前眼部疾患他）		松井康樹				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	RVI204		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		松井康樹（視能訓練士）				
授業概要						
<p>視機能障害を起こす疾患は多種多様である。視能療法を行う視能訓練士は、主訴、現病歴、既往歴、症状や所見から原因を考え、鑑別するための検査の選択し、その結果の判定ができることが必要である。その結果から診断がつき、治療をすることになるので、その治療方法についても知る必要がある。視機能障害をきたす疾患について学ぶ。講義は基本的に視能学で行いますので、該当ページを事前学習してください。現代の眼科学は補助として使いますので持参してください。</p>						
学修の到達目標						
<p>①各組織の代表的な疾患が判る ②各疾患の概念、原因、自覚症状、眼症状、全身症状、治療が判る ③眼科の主な点眼薬と使用目的が判る</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	眼瞼、涙器 P272-275	① ②	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
2	結膜 P275-276	① ②	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
3	角膜、強膜、水晶体 P276-279	① ②	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
4	緑内障 P279-281	① ②	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
5	ぶどう膜 P281-282	① ②	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
6	網膜 P282-284	① ②	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
7	網膜、P284-287	① ②	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
8	硝子体、眼窩、眼外傷、全身疾患と眼、加齢と眼 P287-291	③	松井	講義	熟読すること (120分)	必要事項を覚え理解すること (120分)
	筆記試験					

評価基準・評価方法	
筆記試験60%、小テスト40%	
使用教科書	
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 現代の眼科学 改定第13版 / 所 敬.--金原出版, 2018年, 978-4-307-35168-3	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストはフィードバックする
実務経験をいかした教育内容	視能訓練士としての実務経験を生かした眼疾病学について講義する
備考	

授業科目名		担当教員				
視機能障害学Ⅱ(網脈絡膜疾患、視路疾患他)		丹沢慶一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	RV1205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一(視能訓練士)				
授業概要						
<p>瞳孔の異常、核上性眼球運動障害 および 視神経・視路の疾患 の 原因、症状、評価 および 治療 について学ぶ。得た知識は、後発して開講される 視機能療法 分野の科目の学習に必要である。</p> <p>授業は講義形式で、教科書に沿って進行する。講義中は重要なポイントを解説し、必要だと思われる情報を適宜加える。</p> <p>また、聴講のみで知識を定着させることはできないので、講義後に教科書を読み、関連する事柄について成書等で調べ、その中から情報を拾い上げ整理するといった復習が必要である。復習による知識の定着度合いを測るために、小試験を適宜行う。</p>						
学修の到達目標						
<p>①瞳孔異常の原因、症状、評価 および 治療 について述べることができる。</p> <p>②核上性眼球運動異常の原因、症状、評価 および 治療 について述べることができる。</p> <p>③視神経・視路疾患の原因、症状、評価 および 治療 について述べることができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	瞳孔偏位、多瞳孔、病的散瞳 【教科書pp292-297】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
2	病的縮瞳 【教科書pp298-300】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
3	対光反射および近見反射異常 【教科書pp300】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
4	相対的瞳孔反射障害の検出 【教科書pp300】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
5	固視の異常、共同運動の異常 【教科書pp302-306】	②	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
6	非共同運動の異常、回旋、耳石器管経路の異常 【教科書pp307-308】	②	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
7	視神経炎、視神経症、うっ血乳頭、遺伝性視神経症 【教科書pp309-314】	③	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
8	視交叉とその近傍、外側膝状体、視放線、後頭葉の疾患 【pp314-318】	③	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：30分	復習：195分
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
<p>【定期試験】60%：科目全般の内容の定着度と理解度を多肢選択式試験で評価する。 【小試験】40%：前回までの講義内容の復習確認，定着度と理解度を記述式試験で評価する。</p>	
使用教科書	
<p>視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂，2022年，978-4-8306-5608-8</p>	
参考図書	
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の眼科学 改訂第13版 ・図書館で最適な成書を探し，それを参考書として用いること。 	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	各小試験の実施後に解答・解説をおこなう。
実務経験をいかした教育内容	それぞれの知識が、視能訓練士として眼科外来でどのように役立つのかといった事柄を含めて説明する。
備考	

授業科目名		担当教員				
視機能障害学特論		田中健司				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	1単位(15時間)	講義	RV1806		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		田中健司(視能訓練士)				
授業概要						
視機能障害学特論として、3年間の知識を結び、より理解を深め国家試験及び実臨床に対応できる事を目的とする。ここでは、眼疾病、診断に必要な検査、検査結果解析や治療法に関する知識を深める。特に、臨床実習で習得した知識を生かし、患者の主訴や状態から導き出せる疾患や必要な検査、治療を関連づけて理解する。						
学修の到達目標						
①眼疾病について必要な知識を整理し、特徴ある所見を列挙することができる。 ②個々の疾患に必要な検査は何か、またその検査結果、治療法はどうなるのかを導き出すことができる。 ③国家試験及び実臨床に求められる知識を身につけることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	前眼部疾患①	① ② ③	田中	講義	該当疾患の関連項目について復習しておく(120分)	授業に関連する国家試験の問題を解き、理解する(120分)
2	前眼部疾患②	① ② ③	田中	講義	該当疾患の関連項目について復習しておく(120分)	授業に関連する国家試験の問題を解き、理解する(120分)
3	水晶体疾患	① ② ③	田中	講義	該当疾患の関連項目について復習しておく(120分)	授業に関連する国家試験の問題を解き、理解する(120分)
4	緑内障①	① ② ③	田中	講義	該当疾患の関連項目について復習しておく(120分)	授業に関連する国家試験の問題を解き、理解する(120分)
5	緑内障②	① ② ③	田中	講義	該当疾患の関連項目について復習しておく(120分)	授業に関連する国家試験の問題を解き、理解する(120分)
6	ぶどう膜疾患	① ② ③	田中	講義	該当疾患の関連項目について復習しておく(120分)	授業に関連する国家試験の問題を解き、理解する(180分)
7	網膜・硝子体疾患①	① ② ③	田中	講義	該当疾患の関連項目について復習しておく(120分)	授業に関連する国家試験の問題を解き、理解する(120分)
8	網膜・硝子体疾患②	① ② ③	田中	講義	該当疾患の関連項目について復習しておく(120分)	授業に関連する国家試験の問題を解き、理解する(120分)
9	定期試験					

評価基準・評価方法	
【定期試験】（100%）、小テストの結果に基づき最大±10点を加減する。	
使用教科書	
視能学第3版 / 小林義治他. --文光堂, 978-4-8306-5608-8 現代の眼科学第13版 / 所敬監修. --金原出版, 978-4-307-35168-3 眼科検査ガイド第3版 / 根木昭監修. --文光堂, 978-4-8306-5609-5 視能学エキスパート 視機能検査学第2版 / 公益社団法人 日本視能訓練士協会監修. --医学書院, 978-4-260-05043-2	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストの実施後に解答・解説を行う。
実務経験をいかした教育内容	担当教員は視能訓練士として眼科臨床業務経験を有し、眼科臨床での重要度に基づき効率的に専門性の高い講義を展開する。
備考	

授業科目名		担当教員				
視機能療法関係法規		大庭紀雄				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	ROR401		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		大庭紀雄(医師)				
授業概要						
この授業では、視能訓練士として業務を行う上で、把握しておくべき法規について学ぶ。また、種々の関連法規を学ぶことにより、医療の中で視能訓練士が担っている役割を理解する。法規および関連事項は広範囲に及ぶので、視能訓練士と関連付けて、必要なことを調べ読んで理解していくことを望む。						
学修の到達目標						
知識：①視能訓練士法に定められている視能訓練士の業務を具体的に説明できる。 知識：②視機能療法に関連する他の職種の業務や役割の概要を説明することが出来る。 技術：③医療従事者として必要な医療や福祉についての法規を検索して情報を集めることができる。 知識：④視機能療法を行う上で必要な診療録、医療記録の記載の仕方や保存方法について説明できる。 知識：⑤医療情報の収集と応用の方法と注意点のあらましを説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	シラバスの説明。講義の進め方。 視機能療法関係法規概要。 ノートを配布する。	① ② ③ ④ ⑤	大庭	講義	視能訓練士の業務に係る検査、訓練の復習および練習問題の回答。(120分)	視能訓練士の業務に係る検査、訓練の復習および練習問題の回答。(120分)
2	医療法、医師法、看護師保健師助産師法：日本の医療がどのように発展してきたかを学ぶ。	②	大庭	講義	教科書・授業資料を基に日本の医療の発展について理解する。練習問題への回答(120分)	課題提出：評価10%分(120分)
3	視能訓練士法で定められている視能訓練士の資格や業務を理解する。	①	大庭	講義	個々の視能訓練士の検査や訓練の内容を復習しておく。練習問題に回答する。(120分)	課題提出：評価10%分(120分)
4	眼科に係る種々の職種の概要を学ぶ。 看護師、臨床検査技師、診療放射線技師などとの関係を学ぶ。	① ②	大庭	講義	資料で授業内容を学習する。練習問題に回答する。(120分)	課題提出：評価10%分(120分)
5	感染症、臓器の移植に関する法律、薬事法、母子保健法、高齢者の医療に関する法律	③	大庭	講義	資料で授業内容を学習する。練習問題に回答する。(120分)	課題提出：評価10%分(120分)
6	学校保健安全法、労働安全衛生法、生活保護法、児童福祉法、身体障害者福祉法	③	大庭	講義	資料で授業内容を学習する。練習問題に回答する。(120分)	課題提出：評価10%分(120分)
7	診療録、医療記録、医療情報	④ ⑤	大庭	講義	資料で授業内容を学習する。練習問題に回答する。(120分)	課題提出：評価10%分(120分)
8	社会における視能訓練士の役割	① ②	大庭	講義	資料で授業内容を学習する。練習問題に回答する。(120分)	課題提出：評価10%分(120分)
定期試験						

評価基準・評価方法	
1 回目の課題は、練習も兼ねて、評価には含めない。2回目から8回目までの課題10%×7 (70%)、最終テスト (30%)	
使用教科書	
教科書は使用しない	
参考図書	
参考書は指定しない	
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	
実務経験をいかした教育内容	
備考	原則として毎回、関連する課題について形成的ミニテストを行う。 授業終了時にノート提出を求める。 授業終了時には本格的なテスト (形式は国試準拠) を行う。 (テストにはノートのみ持ち込みを許可する) 科目としての評価は、ノートの評価および最終時点のテストの評価を総合して行う。

授業科目名		担当教員				
視機能訓練学概論		野原尚美				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	ROR202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美(視能訓練士)				
授業概要						
斜視の診断は、主訴、現病歴、既往歴を患者に聞くこと(問診)から推測できることが多い。その問診からどのような斜視かを考え、その斜視の原因は何か、そしてどのような検査をすることが必要であるかを考えなければならない。この視機能訓練学概論では斜視の定義・原因・分類などの基本的知識を学び、斜視を診断するために必要な問診ならびに検査についても解説する。						
学修の到達目標						
①斜視とは何かを理解できる。 ②斜視の原因が理解できる。 ③斜視の分類について言葉の意味が理解できる。 ④斜視を診断するための検査項目が理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	斜視の定義・病因論 視能学P320-322	① ②	野原	講義	教科書の該当ページを読んで内容をまとめること120分	講義内容を復習しまとめ、分からないことは次回までに解決しておくこと120分
2	斜視の分類① 視能学P322-324	③	野原	講義	教科書の該当ページを読んで内容をまとめること120分	講義内容を復習しまとめ、分からないことは次回までに解決しておくこと120分
3	斜視の分類② 視能学P322-324	③	野原	講義	教科書の該当ページを読んで内容をまとめること120分	講義内容を復習しまとめ、分からないことは次回までに解決しておくこと120分
4	斜視の診断① 問診・固視検査 大型弱視鏡 視能学P325-326 P347~354	④	野原	講義	教科書の該当ページを読んで内容をまとめること120分	講義内容を復習しまとめ、分からないことは次回までに解決しておくこと120分
5	斜視の診断② 眼位定性検査(角膜反射・カバーテスト) 視能学P327(P330-333)	④	野原	講義	教科書の該当ページを読んで内容をまとめること120分	講義内容を復習しまとめ、分からないことは次回までに解決しておくこと120分
6	斜視の診断③ 眼位定量検査 視能学P326(P328-334)	④	野原	講義	教科書の該当ページを読んで内容をまとめること120分	講義内容を復習しまとめ、分からないことは次回までに解決しておくこと120分
7	斜視の診断④ 眼球運動検査 視能学P326(P334-346)	④	野原	講義	教科書の該当ページを読んで内容をまとめること120分	講義内容を復習しまとめ、分からないことは次回までに解決しておくこと120分
8	斜視の診断⑤ 両眼視検査 屈折検査 眼底検査 P326(P355~367, P264, P329, P126)	④	野原	講義	教科書の該当ページを読んで内容をまとめること120分	講義内容を復習しまとめ、分からないことは次回までに解決しておくこと120分
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
定期試験80%、小試験20%にて総合評価する。	
使用教科書	
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8	
参考図書	
講義内容が深められる専門書を図書館で探し、参考にすること	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義開始時に、課題の解説を加えてフィードバックする。
実務経験をいかした教育内容	大学病院、総合病院での弱視斜視外来での経験をいかして、弱視・斜視について必要な基礎的内容を教科書に沿って授業を展開する。
備考	事後学習でノートを作成する際は、講義中に書き取ったノートの写しだけでなく、調べ学習を取り入れたノートにすること。例えば、講義で出てきた内容に関係することや、分からなかったところなどを図書室を利用して専門書で調べ、その内容を加えて書くと授業内容がさらに深められる。

授業科目名		担当教員				
視機能訓練学Ⅰ（視機能訓練学，基礎）		野原尚美				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	ROR203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美（視能訓練士）				
授業概要						
斜視・弱視を診断するための検査法について学ぶ。この講義では眼位・眼球運動・両眼視機能の検査を詳細に解説する。本科目は、演習と密接に関わり、得た知識は実技を習得するうえで必ず必要となる。そのため、演習の前には必ず本科目の内容を再確認することが大切である。						
学修の到達目標						
①眼位検査（定性・定量検査）の方法が説明でき、眼位を判定することができる。 ②眼球運動検査の原理・方法が説明でき、眼球運動検査結果が理解できる。 ③両眼視機能検査の原理・方法が説明でき、両眼視機能を判定することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	眼位定性検査 P329-332	①	野原	講義	視機能訓練学概論で学んだことを振り返る事120分	講義終了後に課題をだすため次回までに実施し提出すること120分
2	眼位定量検査（角膜反射とプリズムを用いる方法） P328-329, P332	①	野原	講義	指定教科書の該当するページを読み、検査の内容についてまとめる事120分	講義終了後に課題をだすため次回までに実施し提出すること120分
3	眼位定量検査（カバーとプリズムを用いる方法） P328-329, P332	① ②	野原	講義	指定教科書の該当するページを読み、検査の内容についてまとめる事120分	講義終了後に課題をだすため次回までに実施し提出すること120分
4	眼球運動検査・頭位異常の検査 P337-341網	②	野原	講義	指定教科書の該当するページを読み、検査の内容についてまとめる事120分	講義終了後に課題をだすため次回までに実施し提出すること120分
5	Hess赤緑試験・複像検査 P341-344	②	野原	講義	指定教科書の該当するページを読み、検査の内容についてまとめる事120分	講義終了後に課題をだすため次回までに実施し提出すること120分
6	注視野・ひっぱり試験 P344-346	②	野原	講義	指定教科書の該当するページを読み、検査の内容についてまとめる事120分	講義終了後に課題をだすため次回までに実施し提出すること120分
7	網膜対応検査 P359-364	③	野原	講義	指定教科書の該当するページを読み、検査の内容についてまとめる事120分	講義終了後に課題をだすため次回までに実施し提出すること120分
8	立体視検査 P355-359	③	野原	講義	指定教科書の該当するページを読み、検査の内容についてまとめる事120分	講義終了後に課題をだすため次回までに実施し提出すること120分
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
定期試験80%、小試験20%にて総合評価する。	
使用教科書	
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8	
参考図書	
講義内容が深められる専門書を図書館で探し、参考にすること	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義の中で課題の解説を加えフィードバックする。
実務経験をいかした教育内容	大学病院、総合病院での弱視斜視外来での経験をいかして、斜視や眼球運動障害の患者に必要な検査について、検査上の注意点やコツなども含めて授業を展開する。
備考	視機能訓練学概論の学習を基に、さらに知識を深める科目です。受講の際は必ず概論の内容を見直すこと。また、事後学習の際は、講義中に書き取ったノートだけを参考にするのではなく、図書館を利用して講義で出てきた内容に関係することや、疑問点などを専門書で調べ、その内容を加えて整理すると授業内容がさらに深められる。

授業科目名		担当教員				
視機能訓練学Ⅱ（視機能訓練学，斜視）		丹沢慶一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	ROR404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一（視能訓練士）				
授業概要						
<p>眼球運動異常各型，斜視の手術，斜視の光学的矯正，斜視のボツリヌス治療の原因，症状，評価および治療について学ぶ。本科目で学習した知識は，後発して開講される視機能療法学分野の科目の理解に必要である。</p> <p>授業は講義形式で，教科書に沿って進行する。講義中は重要なポイントを図説・解説し，必要だと思われる情報を適宜加える。</p> <p>授業後は自身でも教科書を精読し，関連する事柄について成書等で調べ，その中から情報を拾い上げ整理するといった復習が必須である。この復習のプロセスは，知識の定着とともに，論理的思考力の向上を目的としている。復習実施の程度を測るために，小試験を適宜行う。</p>						
学修の到達目標						
<p>①眼球運動異常の各型の原因，症状，評価および治療について論理的に述べることができる。</p> <p>②斜視の手術の評価および治療について論理的に述べることができる。</p> <p>③斜視の光学的矯正の評価および治療について論理的に述べることができる。</p> <p>④斜視のボツリヌス治療の評価について論理的に述べることができる。</p> <p>⑤斜視視能矯正の評価について論理的に述べることができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	内斜視，外斜視【教科書pp355-362】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して，不明な熟語，漢字，英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
2	交代性上斜位，その他の斜視【教科書pp362-366】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して，不明な熟語，漢字，英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
3	各眼球運動神経の解剖生理，動眼神経麻痺，滑車神経麻痺，外転神経麻痺，全眼筋神経麻痺【教科書pp367-373】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して，不明な熟語，漢字，英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
4	重症筋無力症，外眼筋ミオパチー，（ミトコンドリアミオパチー）【教科書pp373-375】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して，不明な熟語，漢字，英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
5	甲状腺眼症【教科書pp376-378】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して，不明な熟語，漢字，英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
6	外眼筋炎，固定斜視【教科書pp379-381】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して，不明な熟語，漢字，英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
7	上斜筋腱鞘症候群（Brown症候群），general fibrosis syndrome，眼窩吹き抜け骨折【教科書pp382-384】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して，不明な熟語，漢字，英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
8	Duane症候群【教科書pp385-386】	①	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して，不明な熟語，漢字，英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
9	斜視手術の適応と禁忌，時期，目標原理【教科書pp387-389】	②	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して，不明な熟語，漢字，英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	斜視の術式 【教科書pp389-392】	②	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
11	斜視手術の方針、定量と「まつわり距離」 【教科書pp392-393】	②	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
12	斜視型別（眼振を含む）の手術，術前術後検査，合併症 【教科書pp394-397】	②	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
13	斜視と屈折異常，屈折矯正 【教科書pp398-399】	③	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
14	屈折矯正後の管理，プリズム治療，ボツリヌス治療 【教科書pp400-407】	③ ④	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
15	斜視視能矯正 【教科書pp407-409】	⑤	丹沢	講義	授業計画に記載された教科書のページを一読して、不明な熟語、漢字、英単語等の意味や読みを調べること：10分	復習：50分
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
【定期試験】60% 【小試験】40%						
使用教科書						
視能学 / 丸尾敏夫他--文光堂，2022年，978-4-8306-5608-8						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・視能学エキスパート視能訓練学 ・図書館で最適な成書を探し，参考書として用いること。 						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	各小試験の実施後に解答・解説をおこなう。					
実務経験をいかした教育内容	それぞれの知識が、視能訓練士として眼科外来でどのように役立つのかといった事柄を含めて説明する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
視機能訓練学Ⅲ（視機能訓練学，弱視）		野原尚美				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	ROR405		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美（視能訓練士）				
授業概要						
<p>本科目は 視機能療法学 の学問体系において、基礎医学大要、基礎視能矯正学、視能障害学 の分野を基礎とした視能訓練学に属し、弱視、心因性視能障害、眼振 の原因、症状、評価および治療について学ぶ。本科目で得た知識は、後発して開講される 視機能検査学Ⅲや、視機能訓練学特論Ⅰの科目の学修に必要である。</p>						
学修の到達目標						
<p>①弱視の原因、症状、評価および治療について述べるができる。 ②心因性視能障害の原因、症状、評価および治療について述べるができる。 ③眼振の原因、症状、評価および治療について述べるができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	弱視の定義、原因、病態、分類 【教科書p427-432】	①	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み、内容をまとめておく120分	講義内容を復習し分からないことを解決しておく120分
2	斜視弱視、微小斜視弱視、不同視弱視、屈折異常弱視、経線弱視、 【教科書p433-436】	①	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み、内容をまとめておく120分	事前学習の内容に講義内容を追加しまとめる120分
3	弱視の診断、検査 【教科書p437-442】	①	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み内容をまとめておく120分	講義内容を復習し分からないことを解決しておく120分
4	弱視の治療方針、治療方法 【教科書p443-450】	①	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み内容をまとめておく120分	講義内容を復習し分からないことを解決しておく120分
5	その他の弱視の治療の方法 【教科書p451-452】	①	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み内容をまとめておく120分	講義内容を復習し分からないことを解決しておく120分
6	心因性視覚障害の定義、臨床的特徴、原因、診断、治療 【教科書p453-455】	②	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み内容をまとめておく120分	講義内容を復習し分からないことを解決しておく120分
7	眼振の定義、病因論、分類、種類 【教科書p456-461】	③	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み内容をまとめておく120分	講義内容を復習し分からないことを解決しておく120分
8	眼振の非観血療法、観血療法 【教科書p461-462】	③	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み内容をまとめておく120分	講義内容を復習し分からないことを解決しておく120分
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法	
定期試験80%、小試験20%で総合評価する。	
使用教科書	
視能学 / 小林義治 他.--第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8	
参考図書	
図書館で最適な成書を探し, それを参考書として用いること。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義の中で課題の解説を加える。
実務経験をいかした教育内容	大学病院、総合病院での弱視斜視外来での経験をいかして、弱視について基礎的な内容を実際の症例を紹介しながら授業を展開する。
備考	講義中には重要なポイントを解説し、必要だと思われる情報を適宜加える。しかし、聴講のみで知識を定着させることはできないので、講義後科に教書を読み、内容について関連する成書等で調べ、その中から情報を拾い上げ整理し、復習することが望ましい。

授業科目名		担当教員				
視機能訓練学Ⅳ（視機能訓練学，ロービジョン）		野原尚美				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	ROR406		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美（視能訓練士）				
授業概要						
医療安全の確保が重要な課題となっている中、視能訓練士においても医療従事者の一員として適切な対応が求められる。また、高齢化の進展に伴い、視覚に障害を持った患者が増加しており、患者のQOL維持・向上のために視覚補助具の選定や、患者心理に配慮した対応、行動が求められる。本講義では、医療安全対策、ロービジョンケア、視能心理学、眼科に関連する基礎医学を学び、医療従事者の一員として適切な行動がとれることを目的とする。						
学修の到達目標						
①視能訓練士法と関係法規を理解することができる ②医療安全対策が理解でき、説明することができる。 ③ロービジョンの定義と範囲について理解し、説明することができる。 ④視覚補助具の選定について理解し、説明することができる。 ⑤視能心理学について理解し、説明することができる。 ⑥眼科と基礎医学について理解し、説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	社会と医療：視能学P464～P472	①	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み、理解できない用語の意味を調べておくこと。(120分)	学んだ内容を説明できるようにまとめておくこと。(120分)
2	医療安全対策1：視能学P473～P478	②	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み、理解できない用語の意味を調べておくこと。(120分)	学んだ内容を説明できるようにまとめておくこと。(120分)
3	医療安全対策2：視能学P478～P485	②	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み、理解できない用語の意味を調べておくこと。(120分)	学んだ内容を説明できるようにまとめておくこと。(120分)
4	ロービジョンの定義と範囲：視能学P486～P492	③	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み、理解できない用語の意味を調べておくこと。(120分)	学んだ内容を説明できるようにまとめておくこと。(120分)
5	視覚補助具について：視能学P492～P503	④	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み、理解できない用語の意味を調べておくこと。(120分)	学んだ内容を説明できるようにまとめておくこと。(120分)
6	視能心理学：視能学P504～P512	⑤	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み、理解できない用語の意味を調べておくこと。(120分)	学んだ内容を説明できるようにまとめておくこと。(120分)
7	眼科と基礎医学1：視能学P513～P515	⑥	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み、理解できない用語の意味を調べておくこと。(120分)	学んだ内容を説明できるようにまとめておくこと。(120分)
8	眼科と基礎医学2：視能学P516～P524	⑥	野原	講義	指定教科書の該当ページを読み、理解できない用語の意味を調べておくこと。(120分)	学んだ内容を説明できるようにまとめておくこと。(120分)
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法	
定期試験80%、小テスト20%にて総合評価とする。	
使用教科書	
視能学 第3版 / 小林義治 他.--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8	
参考図書	
適宜紹介する。 必要時にはプリントを配布する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義内で課題の解説を加える。
実務経験をいかした教育内容	大学病院での経験を活かして医療安全対策について講義を展開する。また、盲学校の非常勤講師の経験からロービジョンについて必要な基礎知識を講義する。
備考	講義主体で行う。毎回の講義の復習を欠かすことなく着実に自分の知識にしていくこと。 質問は、オフィスアワーを活用し、自主的に学ぶこと。

授業科目名		担当教員				
視機能訓練学Ⅴ（視機能訓練学，総括）		丹沢慶一・國武実里・羽賀弥生（代表教員 丹沢慶一）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	1単位(30時間)	講義	ROR807		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一（視能訓練士），國武実里（視能訓練士），羽賀弥生（視能訓練士）				
授業概要						
本科目は，3年次後期までに学習した視機能療法学関連の基礎医学大要，生理光学，視覚生理学，基礎視能矯正学，視能障害学，視能検査学および視機能訓練学の知識を用いて，視機能療法学の横断的・統合的な応用知識を必要とする課題（課題Ⅰ～Ⅷ．各課題は75問で構成され，難易度は等しい）に解答して，視機能療法学の系統的理解を深める。						
学修の到達目標						
① これまでに学習した視機能療法の横断的・統合的知識から，基礎医学大要，生理光学，視覚生理学，基礎視能矯正学，視能障害学，視能検査学および視機能訓練学の応用課題に正しく答えることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	基礎医学大要，生理光学，視覚生理学，基礎視能矯正学，視能障害学，視能検査学および視機能訓練学の横断的・統合的な応用知識を必要とする課題Ⅰ（40問）の解答	①	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ：10分
2	基礎医学大要，生理光学，視覚生理学，基礎視能矯正学，視能障害学，視能検査学および視機能訓練学の横断的・統合的な応用知識を必要とする課題Ⅰ（35問）の解答	①	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ：10分
3	基礎医学大要，生理光学，視覚生理学，基礎視能矯正学，視能障害学，視能検査学および視機能訓練学の横断的・統合的な応用知識を必要とする課題Ⅱ（40問）の解答	①	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	問題正答のまとめ：10分
4	基礎医学大要，生理光学，視覚生理学，基礎視能矯正学，視能障害学，視能検査学および視機能訓練学の横断的・統合的な応用知識を必要とする課題Ⅱ（35問）の解答	①	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	問題正答のまとめ：10分
5	基礎医学大要，生理光学，視覚生理学，基礎視能矯正学，視能障害学，視能検査学および視機能訓練学の横断的・統合的な応用知識を必要とする課題Ⅲ（40問）の解答	①	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	問題正答のまとめ：10分
6	基礎医学大要，生理光学，視覚生理学，基礎視能矯正学，視能障害学，視能検査学および視機能訓練学の横断的・統合的な応用知識を必要とする課題Ⅲ（35問）の解答	①	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ：10分
7	基礎医学大要，生理光学，視覚生理学，基礎視能矯正学，視能障害学，視能検査学および視機能訓練学の横断的・統合的な応用知識を必要とする課題Ⅳ（40問）の解答	①	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ：10分
8	基礎医学大要，生理光学，視覚生理学，基礎視能矯正学，視能障害学，視能検査学および視機能訓練学の横断的・統合的な応用知識を必要とする課題Ⅳ（35問）の解答	①	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	問題正答のまとめ：10分
9	基礎医学大要，生理光学，視覚生理学，基礎視能矯正学，視能障害学，視能検査学および視機能訓練学の横断的・統合的な応用知識を必要とする課題Ⅴ（40問）の解答	①	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	問題正答のまとめ：10分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	基礎医学大要, 生理光学, 視覚生理学, 基礎視能矯正学, 視能障害学, 視能検査学および視機能訓練学の 横断的・統合的な応用知識を必要とする課題V (35問) の解答	①	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	問題正答のまとめ: 10分
11	基礎医学大要, 生理光学, 視覚生理学, 基礎視能矯正学, 視能障害学, 視能検査学および視機能訓練学の 横断的・統合的な応用知識を必要とする課題VI (40問) の解答	①	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ: 10分
12	基礎医学大要, 生理光学, 視覚生理学, 基礎視能矯正学, 視能障害学, 視能検査学および視機能訓練学の 横断的・統合的な応用知識を必要とする課題VI (35問) の解答	①	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ: 10分
13	基礎医学大要, 生理光学, 視覚生理学, 基礎視能矯正学, 視能障害学, 視能検査学および視機能訓練学の 横断的・統合的な応用知識を必要とする課題VII (40問) の解答	①	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	問題正答のまとめ: 10分
14	基礎医学大要, 生理光学, 視覚生理学, 基礎視能矯正学, 視能障害学, 視能検査学および視機能訓練学の 横断的・統合的な応用知識を必要とする課題VII (35問) の解答	①	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	問題正答のまとめ: 10分
15	基礎医学大要, 生理光学, 視覚生理学, 基礎視能矯正学, 視能障害学, 視能検査学および視機能訓練学の 横断的・統合的な応用知識を必要とする課題VIII (75問) の解答	①	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	問題正答のまとめ: 10分
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
【定期試験】25%: 多肢選択式試験で評価する。 【課題】75%: 課題解答の正答率で評価する。						
使用教科書						
視能学 / 第3版--文光堂, 2022年, 978-4-8306-5608-8 視能訓練士国家試験合格ノート第2版 / 小林義治, 松岡久美子--文光堂, 978-4-8306-5618-7						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	正課外時間に適宜対応する。					
実務経験をいかした教育内容	眼科外来において視能訓練士として得た知識を含めて、課題を作成する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
視機能訓練学演習		野原尚美・丹沢慶一・四之宮佑馬・國武実里・松井康樹・羽賀弥生 (代表教員 野原尚美)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	演習	ROR708		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美(視能訓練士)、丹沢慶一(視能訓練士)、四之宮佑馬(視能訓練士)、國武実里(視能訓練士)、松井康樹(視能訓練士)、羽賀弥生(視能訓練士)				
授業概要						
眼科臨床現場における各視機能検査の実践的な手法を、臨地実習Iまでの講義・演習を通して学んだ、疾患の知識と視機能検査の理論を基に、演習形式で習得すること、各視機能検査の実施によって、指導を受けたこと、明らかになった疑問点、改善点等を記録し次の課題を立てて実施することを目的とする。						
学修の到達目標						
①各検査の理論、疾患の病態の知識を基とした実践的な手法を実施することができる。 ②各検査の実践的手法の妥当性を、検査の理論と疾患の病態の知識を基に論理的に説明することができる。 ③礼儀・礼節を備え、専攻内における互いの立場に応じた適切な言葉遣いと態度で演習に取り組むことができる。 ④指導を受けたこと、疑問点、改善点を記録し、次の課題を立てることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実践的自覚的視力屈折検査	① - ③	全員	演習	これまでに学習した専門知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
2	実践的自覚的視力屈折検査	① - ③	全員	演習	これまでに学習した専門知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
3	実践的自覚的視力屈折検査	④	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
4	実践的画像診断学的検査	① - ③	全員	演習	これまでに学習した専門知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
5	実践的画像診断学的検査	① - ③	全員	演習	これまでに学習した専門知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
6	実践的画像診断学的検査	④	全員	演習	これまでに学習した専門知識をまとめておくこと。(55分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
7	実践的視野検査	① - ③	全員	演習	これまでに学習した専門知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
8	実践的視野検査	① - ③	全員	演習	これまでに学習した専門知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
9	実践的視野検査	④	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること。 ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	実践的弱視斜視検査	① - ③	全員	演習	これまでに学習した専門知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
11	実践的弱視斜視検査	① - ③	全員	演習	これまでに学習した専門知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
12	実践的弱視斜視検査	④	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
13	実践的神経眼科学検査, その他	① - ③	全員	演習	これまでに学習した専門知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
14	実践的神経眼科学検査, その他	① - ③	全員	演習	これまでに学習した専門知識をまとめておくこと。(55分)	検査結果をまとめておくこと。(5分)
15	実践的神経眼科学検査, その他	④	全員	演習	検査結果から質問事項をまとめておくこと。(5分)	演習内で新たに学んだことをまとめ、理解すること ・検査対象・方法・注意点 ・結果の分析・記載方法について振り返ること。(55分)
	試験の実施はしない					
評価基準・評価方法						
課題50%、演習態度50%で総合判定する。						
使用教科書						
視能学 / 小林義治 他。—第3版—文光堂, 978-4-8306-5608-8 視能学エキスパート 視能検査学 / 公益財団法人日本視能訓練士協会—医学書院, 978-4-260-03258-2 視能学エキスパート 視能訓練学 / 公益財団法人日本視能訓練士協会—医学書院, 978-4-260-03223-0 眼科検査ガイド 第2版 / 根木昭 (監修)。—飯田知弘, 他—文光堂, 978-4-8306-5547-0 現代の眼科学 改訂第13版 / 所敏 (監修)。—谷原秀信, 他—金原出版, 978-4-307-35168-3 なし						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	演習内にて実施。					
実務経験をいかした教育内容	大学病院や総合病院で臨床経験を重ねた教員により、実際の臨床の現場を想定して患者への説明や検査ができるよう演習を展開する。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・全回の出席を原則とする。欠席や遅刻をする場合には、授業開始前に担当教員まで電話連絡をして指示を仰ぐこと。無断欠席・遅刻はもとより、正当な理由と認められない欠席・遅刻も厳禁とする。正当な理由を認める欠席・遅刻には、公共交通機関が発行する証明書や医師による診断書等の提出が必要である。 ・出席には当専攻が指定するユニフォームの正しい着用が必須である。 ・教員から注意を受けたことは改善すること。 ・質問は各教員に対し随時積極的に行うこと。 ・演習の自習・課題を行う際は教員に申し出ること。 					

授業科目名		担当教員				
視機能訓練学特論Ⅰ（基礎）		丹沢慶一・國武実里・羽賀弥生（代表教員 丹沢慶一）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義	ROR509		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		丹沢慶一（視能訓練士）、國武美里（視能訓練士）、羽賀弥生（視能訓練士）				
授業概要						
本科目は、2年次後期までに学習した視機能療法学関連の基礎医学大要、生理光学、視覚生理学、基礎視能矯正学、視能障害学、視能検査学および視機能訓練学の知識を用いて、視機能療法学の横断的・統合的な基礎知識を必要とする課題（各課題は75問で構成される）に回答し、視機能療法学の系統的理解を深める。						
学修の到達目標						
①これまでに学習した視機能療法の横断的・統合的知識から、基礎医学大要および視覚生理学分野の課題に正しく答えることができる。 ②文献検索等の手法を用いて、基礎医学大要および視覚生理学分野の課題の正答を導き出すことができる。 ③基礎医学大要および視覚生理学分野の課題の正答を論理的に説明することができる。 ④これまでに学習した視機能療法の横断的・統合的知識から、生理光学、視能矯正学および視能検査学分野の課題に正しく答えることができる。 ⑤文献検索等の手法を用いて、生理光学、視能矯正学および視能検査学分野の課題の正答を導き出すことができる。 ⑥生理光学、視能矯正学および視能検査学分野の課題の正答を論理的に説明することができる。 ⑦これまでに学習した視機能療法の横断的・統合的知識から、視能障害学および視能訓練学分野の課題に正しく答えることができる。 ⑧文献検索等の手法を用いて、視能障害学および視能訓練学分野の課題の正答を導き出すことができる。 ⑨視能障害学および視能訓練学分野の課題の正答を論理的に説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	基礎医学大要および視覚生理学分野の課題40問の回答	①	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ：10分
2	基礎医学大要および視覚生理学分野の課題35問の回答	①	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ：10分
3	基礎医学大要および視覚生理学分野の課題40問の解答、解説の作成	②	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	問題正答のまとめ：10分
4	基礎医学大要および視覚生理学分野の課題35問の解答、解説の作成	②	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	問題正答のまとめ：10分
5	基礎医学大要および視覚生理学分野の課題解答、解説の発表	③	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	問題正答のまとめ：10分
6	生理光学、視能矯正学および視能検査学分野課題40問の回答	④	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ：10分
7	生理光学、視能矯正学および視能検査学分野課題35問の回答	④	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ：10分
8	生理光学、視能矯正学および視能検査学分野課題40問の解答・解説の作成	⑤	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	問題正答のまとめ：10分
9	生理光学、視能矯正学および視能検査学分野課題40問の解答・解説の作成	⑤	丹沢 國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習：50分	問題正答のまとめ：10分

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	生理光学, 視能矯正学および視能検査学分野課題解答・解説の発表	⑥	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	問題正答のまとめ: 10分
11	視能障害学および視能訓練学分野の課題40問の回答	⑦	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ: 10分
12	視能障害学および視能訓練学分野の課題35問の回答	⑦	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	適切な回答ができなかった問題のまとめ: 10分
13	視能障害学および視能訓練学分野の課題40問の解答・解説の作成	⑧	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	問題正答のまとめ: 10分
14	視能障害学および視能訓練学分野の課題35問の解答・解説の作成	⑧	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	問題正答のまとめ: 10分
15	視能障害学および視能訓練学分野の課題解答・解説の発表	⑨	丹沢國武	講義	これまでに視機能療法分野で学習した内容の復習: 50分	問題正答のまとめ: 10分
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
【定期試験】60%: 多肢選択式試験で評価する。 【課題】30%: 課題回答の正答率で評価する。 10%: 作成した解答・解説の内容および解答・解説の発表態度						
使用教科書						
視能学 第3版 / 丸尾敏夫, 他--文光堂, 978-4-8306-5608-8 視能訓練士国家試験合格ノート第2版 / 小林義治, 松岡久美子--文光堂, 978-4-8306-5618-7						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	各課題の解答解説時に実施する。					
実務経験をいかした教育内容	眼科外来において視能訓練士として得た知識を含めて、課題を作成する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
視機能訓練学特論Ⅱ（応用）		野原尚美				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	1単位(15時間)	講義	ROR710		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美（視能訓練士）				
授業概要						
最終学年となって、視能訓練士に必要な知識と技術をより確実なものとするために、視機能障害に対し、病態を把握し、視機能検査、視機能訓練ができることを目指す。 この科目では、斜視・弱視を主とし、解剖と生理、視器の発達、視覚生理、視機能検査、眼薬理学、視能矯正等を関連づけた知識を修得することを目標とする。到達目標は臨地実習Ⅱを実施するために必要な知識習得と国家試験合格レベルを目指す。						
学修の到達目標						
①視力・両眼視の発達の特徴を述べることができる ②入力系・統合系・出力系に分けて考えることができる ③弱視・斜視について必要な検査項目や検査結果を関連付けて考えることができる ④視機能療法学の各分野の学習内容の知識を深め、正しく判断することができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	視覚発達（視力の発達・両眼視の発達）（視能訓練学pp23～pp46）	①	野原	講義	視能訓練学のページ数に該当する内容について視能学で復習しておくこと ：120分	講義の振り返り 120分
2	視覚生理学（入力系・統合系・出力系）（視能訓練学pp47～84）	②	野原	講義	視能訓練学のページ数に該当する内容について視能学で復習しておくこと ：120分	講義の振り返り 120分
3	検査（問診・入力系・視統合系・出力系）（視能訓練学106～178）	②	野原	講義	視能訓練学のページ数に該当する内容について視能学で復習しておくこと ：120分	講義の振り返り 120分
4	弱視の視能訓練（視能訓練学180～230）	③ ④	野原	講義	視能訓練学のページ数に該当する内容について視能学で復習しておくこと ：120分	講義の振り返り 120分
5	斜視の視能訓練（視能訓練学pp232～pp278）	③ ④	野原	講義	視能訓練学のページ数に該当する内容について視能学で復習しておくこと ：120分	講義の振り返り 120分
6	内斜視の視能訓練（視能訓練学pp279～297）	③ ④	野原	講義	視能訓練学のページ数に該当する内容について視能学で復習しておくこと ：120分	講義の振り返り 120分
7	間欠性外斜視の視能訓練（視能訓練学pp298～341）	③ ④	野原	講義	視能訓練学のページ数に該当する内容について視能学で復習しておくこと ：120分	講義の振り返り 120分
8	後天眼球運動障害の視能訓練（視能訓練学pp342～pp373）	③ ④	野原	講義	視能訓練学のページ数に該当する内容について視能学で復習しておくこと ：120分	講義の振り返り 120分
9	試験					

評価基準・評価方法	
定期試験 100%	
使用教科書	
視能学エキスパート 視能訓練学 第2版 / 公益財団法人日本視能訓練士協会.--医学書院, 978-4-260-03223-0 視能学 第3版 / 小林義治 他.--文光堂, 978-4-8306-5608-8	
参考図書	
適宜紹介する また、必要時にはプリントを配布する	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	課題は予習とし、講義内で質問等によりフィードバックする。
実務経験をいかした教育内容	眼科の実務経験を生かして実際の現場がイメージできるように検査方法や検査結果の見方、訓練方法について、模擬症例を提示しながら講義を展開する
備考	国家試験に向けて知識を整理し確実に覚えるようにすること。講義だけでなく、自ら積極的に学び、自主学習をおこなうこと。臨地実習Ⅱに向けた準備となる。

授業科目名		担当教員				
臨地実習 I		野原尚美・丹沢慶一・國武実里・松井康樹・羽賀弥生 (代表教員 野原尚美)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	4単位(180時間)	実習	RCT501		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美(視能訓練士)、丹沢慶一(視能訓練士)、國武実里(視能訓練士)、松井康樹(視能訓練士)、羽賀弥生(視能訓練士)				
授業概要						
<p>「臨地実習 I」は2年次後期(例年2月)に4週間の臨地実習を行う。臨地実習の事前にはオリエンテーションを行う。実習後には振り返りを行い報告会にて発表する。目的は、眼科医療チームにおける視能訓練士の役割の理解と視機能療法の実践方法の見学である。今まで学んできた知識が診療現場でどう生かされているかを体験学習して、3年次に策定される臨地実習IIが充実したものとなるよう準備することも目的とする。</p>						
学修の到達目標						
<p>①臨地実習の目的と実習内容を理解する。 ②眼科医療チームにおける視能訓練士の役割を見学する。 ③眼科疾患の治療への取り組みについて見学する。 ④実習生としての責任ある態度(服装、整容、言葉遣いを含む)や積極的な行動・言動をとることができる。 ⑤実習指導者からの助言や指導を適切な態度で受け入れることができる。 ⑥臨床現場のスタッフと適切な人間関係を構築することができる。 ⑦専攻が定めた規則に従うことができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	臨地実習施設概要の説明	①	野原	講義	実習施設について調べる	内容をまとめておく
2	実習前オリエンテーション(臨地実習 I の目的、手順、心得、マナー、個人情報などの指導を行う)	① ⑦	野原	講義	実習要項を熟読する	
3	指導者との打ち合わせ	① ④ ⑤ ⑦	全員	講義	配布資料を読んで理解する	デイリーノート作成(毎日)と必要に応じた自己学習
4	実習前課題	④ ⑤ ⑦	全員	演習	自己練習	指導された内容をまとめ自己練習に繋げる
5	4週間の学外実習を実施する(見学実習)	① ⑦	実習指導者	実習	翌日の実習目的を確認する	デイリーノート作成並びに自己学習
6	お礼状の作成と実習後の振り返り		野原		お礼状の下書きをする	実習後の振り返りで反省点をまとめる
7	実習後課題(実習後の実技確認)		全員	演習		
8	実習報告会に向けての準備		全員		報告会に向けてレジュメとプレゼンテーションを作成する	臨地実習 II の目標を立てる
9	1, 2年生合同での実習報告会		全員			

評価基準・評価方法	
臨地実習先の評価表を用いる。規定時間数を満たした上で、担当実習指導者の判定結果を（10%）、デイリーノート（80%）、学内での報告会（10%）を併せて学内で認定する。	
使用教科書	
これまでに使用した全てのテキスト、臨地実習要項、	
参考図書	
図書館に多くの専門書が揃えてあるため、所持している教科書で調べても分からない場合は、実習のない日などに図書館を利用し、関連する専門図書で調べて解決していくこと。	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	実習後の振り返りと実習報告会にてフィードバックする。
実務経験をいかした教育内容	臨地実習指導者と視能訓練士教員が担当する
備考	原則として全出席とする。病気で欠席する場合は診断書を提出すること。また実習中に身だしなみ、実習態度（積極性、言葉遣い、声の大きさ、真剣さ、丁寧さ、医療ミスなど）について、注意を受けた事は必ず改善すること。改善されない場合は実習を停止することもある。

授業科目名		担当教員				
臨地実習Ⅱ		野原尚美・丹沢慶一・四之宮佑馬・國武実里・松井康樹・羽賀弥生 (代表教員 野原尚美)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 通年	12単位(540時間)	実習	RCT902		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 視機能ディプロマポリシー(2)(3)(4)(5) の達成に寄与している。		野原尚美(視能訓練士)、丹沢慶一(視能訓練士)、四之宮佑馬(視能訓練士)、國武実里(視能訓練士)、松井康樹(視能訓練士)、羽賀弥生(視能訓練士)				
授業概要						
「臨地実習Ⅱ」においては、2年次の「臨地実習Ⅰ」で学んだことに基づき、指導者の下、現場にさらに接近して診療の実践に参画する。そして視能訓練士の在り方の了知と視機能療法の初歩の実践方法を習得する。						
学修の到達目標						
①診療対象が「ひとであること」を認識し、適切な人間関係を構築できる。 ②診療対象に適切な方法での検査・矯正を実施する。 ③問診や視診の方法、診療録の作成方法を学ぶ。 ④実習指導者や臨床現場のスタッフを観察し、視能訓練士と視機能療法の在り方を学ぶ。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実習前オリエンテーション(学内) 臨地実習Ⅰの反省のもと、臨地実習Ⅱの目的、手順、心得、マナー、個人情報		全員	講義	実習要項を熟読すること	自身の到達度をチェックし到達度の低い項目に対して自己学習する
2	実習前課題①		全員	演習		
3	実習前課題②		全員	演習	自己練習	指導された内容をまとめ自己練習に繋げる
4	11週間の学外実習を実施する	① ② ③ ④			翌日の目標をたてる	デイリーノートの作成と必要に応じた自己学習(毎日)
5	実習後の振り返り①		野原			
6	実習後の振り返り②		野原			
7	実習後課題		全員			
8	実習報告会の準備		全員		報告会に向けてレジユメを作成する	
9	2, 3年生の合同報告会		全員			

評価基準・評価方法	
<p>臨地実習先の評価表を用いる。規定時間数を満たした上で、担当実習指導者の判定結果を30%、デイリーノート60%学内での口頭試問と報告会で10%をもとに学内で認定する。</p>	
使用教科書	
<p>これまで使用した全てのテキスト 臨地実習要項</p>	
参考図書	
<p>図書館に多くの専門書が揃えてある。所持している教科書で調べても分からない場合は、実習のない日などに図書館を利用し、関連する専門図書で調べて解決していくこと。</p>	
<p>課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法</p>	<p>1 施設終了ごとに本学へ登校し報告を受けた際にフィードバックする。 報告会でフィードバックする。</p>
<p>実務経験をいかした教育内容</p>	<p>臨地実習指導者と視能訓練士教員が担当する</p>
<p>備考</p>	<p>原則として全出席とする。病気で欠席する場合は診断書を提出すること。また、実習中に身だしなみ、実習態度(積極性、言葉遣い、声の大きさ、真剣さ、丁寧さ、医療ミスなど)について、注意を受けた事は必ず改善すること。改善されない場合は実習を停止することもある。</p>

リハビリテーション学科視機能療法専攻 授業担当者索引

…あ行…

東 華岳	理学療法専攻特任教授
安藤 彰浩	非常勤講師
池谷 尚剛	非常勤講師
磯谷 尚輝	非常勤講師
伊原 亮司	非常勤講師
今村 光章	非常勤講師
内田 英哉	非常勤講師
枝川 宏	非常勤講師
大野 陽哉	非常勤講師
大庭 紀雄	視機能療法専攻特任教授
大森 周太郎	非常勤講師
大藪 千穂	非常勤講師

…か行…

亀山 咲子	理学療法専攻助教
川瀬 和秀	非常勤講師
木村 暁夫	非常勤講師
國武 実里	視機能療法専攻助教
熊田 ますみ	看護学科教授
後藤 誠一	非常勤講師
古桧山 建吾	作業療法専攻準教授

…さ行…

佐竹 裕孝	非常勤講師
澤田 明	非常勤講師
四之宮 佑馬	視機能療法専攻講師
下郷 雅也	非常勤講師
下畑 享良	非常勤講師
鷺見 真里	非常勤講師
関戸 昌諭	非常勤講師

…た行…

高橋 晋也	非常勤講師
田口 正芳	非常勤講師
竹内 章郎	非常勤講師
竹腰 顕	非常勤講師
田中 健司	非常勤講師
田中 季果	看護学科助教
棚橋 公郎	非常勤講師
田辺 久美子	非常勤講師
谷口 泰弘	非常勤講師
丹沢 慶一	視機能療法専攻教授
登澤 達也	非常勤講師

…な行…

仲澤 和馬	非常勤講師
中村 信介	非常勤講師
中村 琢	非常勤講師
野原 尚美	視機能療法専攻教授

…は行…

羽賀 弥生	視機能療法専攻助教
早川 佳穂	非常勤講師
林 将大	非常勤講師
林 宗典	看護学科講師
福岡 大輔	非常勤講師
藤崎 和彦	非常勤講師
武内 康雄	学長
舟橋 和宏	非常勤講師
古田 弥生	看護学科准教授

…ま行…

益川 浩一	非常勤講師
益川 優子	非常勤講師
松井 永子	非常勤講師
松井 康樹	視機能療法専攻教授
三品 弘司	看護学科教授
宮地 幸雄	非常勤講師
シホト・セイト・マルト	非常勤講師
三輪 陽子	看護学科講師
武藤 吉徳	非常勤講師
望月 清文	非常勤講師
森 泰子	非常勤講師
森岡 菜穂子	看護学科講師

…や行…

山田 宏尚	非常勤講師
山田 雅博	非常勤講師
山田 恵	非常勤講師
山原 直紀	非常勤講師
山本 眞由美	非常勤講師
横井 達夫	非常勤講師
吉倉 延亮	非常勤講師